

南陽市字限図調査報告書 (2)

— 沖郷 —

2022年3月

南陽市教育委員会

南陽市字限区調査報告書（2）

— 沖郷 —

令和4年3月

南陽市教育委員会

凡 例

1 本報告書は、埋蔵文化財分布調査基礎調査として平成 25 年度から実施してきた南陽市内の地名と字限図調査のうち沖郷分をまとめた南陽市字限図調査報告書である。

2 調査は、南陽市教育委員会が実施した。

3 事務局体制は次のとおりである。

主 管 課 スポーツ文化課（平成 25、26 年度）

社会教育課（平成 27 年度～）

事 務 局 スポーツ文化課長 江口和浩（平成 25、26 年度）

社会教育課長 田中吉弘（平成 27 年度）

〃 佐藤賢一（平成 28～30 年度）、

〃 板垣幸広（令和元～2 年度）

〃 山口広昭（令和 3～）

社会教育課長補佐 角田朋行（平成 25 年度～）

社会教育課嘱託・会計年度任用職員 齊藤紘輝（令和元年～）

4 本報告書の執筆、編集は角田朋行が行った。

5 字限図のデジタル化は、これまで主に下記の分担により行った。

角田朋行：赤湯、金沢、長岡、櫛塚、俎柳、松沢、三間通、上野、二色根、大橋、郡山、島貫、中ノ目、中落合、西落合、萩生田、若狭郷屋、鍋田、長瀬、蒲生田、高梨、関根、露橋、沖田、坂井、法師柳、宮崎、宮内、金山、梨郷、和田、竹原、砂塚、羽付、池黒、漆山、川樋、小岩沢

齊藤紘輝：漆山、川樋、小岩沢

6 土地利用図の地目毎の塗り分けは下記によった。

 道	 墳墓地
 水路・川・湖沼	 畑
 橋	 水田
 宅地	 草地・原野・茅場・荒地・堤塘
 寺・神社	 林

7 小字名の漢字は、明治期の字限図の記載によった。

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の経緯等	1
2 字限図について	1
3 調査範囲	1
4 作図	1
(1) 字限図のデジタル化と土地利用図の作成	1
(2) 土地利用図等を作成する際の修正について	3
5 字限図及び土地利用図の活用法	3
第2章 土地利用図調査（地区別調査）	4
1 沖郷地区	4
(1) 沖郷地区の概要と特色	4
(2) 沖郷条里制	4
①条里制と古代の遺跡	4
②沖郷条里制の条と里について	6
③周辺の条里制について	8
(3) 沖郷地区の集落、屋敷・館等	10
(4) 明治期の土地利用図（沖郷）	18
①郡山	18
②島貫	20
③高梨	22
④沖田	24
⑤宮崎	26
⑥露橋	28
⑦萩生田	30
⑧坂井	32
⑨関根	34
⑩若狭郷屋	36
⑪蒲生田	38
⑫中落合	40
⑬西落合	42
⑭長瀨	44
⑮法師柳	46
⑯中ノ目	48
⑰鍋田	50

第3章 南陽市（沖郷）の小字名及び地名	52
1 沖郷（1）郡山の小字名・地名	53
（2）島貫の小字名・地名	54
（3）高梨の小字名・地名	55
（4）沖田の小字名・地名	56
（5）宮崎の小字名・地名	57
（6）露橋の小字名・地名	59
（7）萩生田の小字名・地名	60
（8）坂井の小字名・地名	62
（9）関根の小字名・地名	63
（10）若狭郷屋の小字名・地名	64
（11）蒲生田の小字名・地名	65
（12）中落合の小字名・地名	67
（13）西落合の小字名・地名	68
（14）長瀨の小字名・地名	69
（15）法師柳の小字名・地名	70
（16）中ノ目の小字名・地名	71
（17）鍋田の小字名・地名	73
（18）その他の地名等	76

表 目 次

表 1 字限図の保管場所	2
表 2 南陽市内の条里・郡衙関連小字名	5
表 3 小字名、地名の出典	52

挿図目次

第 1 図	南陽市内の地区境	1	第 41 図	土地利用図 法師柳	46
第 2 図	沖郷地区の土地利用図	5	第 42 図	法師柳の小字名	47
第 3 図	蒲生田地区の方形区画の水田 (条里水田跡)	5	第 43 図	土地利用図 中ノ目	48
第 4 図	宮内扇状地 109m メッシュ図	7	第 44 図	中ノ目の小字名	49
第 5 図	条里型地割の坪境線と遺構	7	第 45 図	土地利用図 鍋田	50
第 6 図	類型 B・C の場合の条里メッシュ図 と条里関連地名の分布状況	9	第 46 図	鍋田の小字名	51
第 7 図	沖郷の集落、屋敷、館跡 1	12			
第 8 図	沖郷の集落、屋敷、館跡 2	13			
第 9 図	沖郷の集落、屋敷、館跡 3	14			
第 10 図	沖郷の集落、屋敷、館跡 4	15			
第 11 図	沖郷の集落、屋敷、館跡 5	16			
第 12 図	沖郷の集落、屋敷、館跡 6	17			
第 13 図	土地利用図 郡山	18			
第 14 図	郡山の小字名	19			
第 15 図	土地利用図 島貫	20			
第 16 図	島貫の小字名	21			
第 17 図	土地利用図 高梨	22			
第 18 図	高梨の小字名	23			
第 19 図	土地利用図 沖田	24			
第 20 図	沖田の小字名	25			
第 21 図	土地利用図 宮崎	26			
第 22 図	宮崎の小字名	27			
第 23 図	土地利用図 露橋	28			
第 24 図	露橋の小字名	29			
第 25 図	土地利用図 萩生田	30			
第 26 図	萩生田の小字名	31			
第 27 図	土地利用図 坂井	32			
第 28 図	坂井の小字名	33			
第 29 図	土地利用図 関根	34			
第 30 図	関根の小字名	35			
第 31 図	土地利用図 若狭郷屋	36			
第 32 図	若狭郷屋の小字名	37			
第 33 図	土地利用図 蒲生田	38			
第 34 図	蒲生田の小字名	39			
第 35 図	土地利用図 中落合	40			
第 36 図	中落合の小字名	41			
第 37 図	土地利用図 西落合	42			
第 38 図	西落合の小字名	43			
第 39 図	土地利用図 長瀨	44			
第 40 図	長瀨の小字名	45			

第1章 調査の概要

1. 調査の経緯等

市教育委員会では、平成3～5年度に市内遺跡分布調査の基礎となる内部資料を作成するため市内平野部の字限図調査を実施した（角田）。各地区の小字の字限図から字寄図を作成し、それを基本図として土地利用図、旧地形推定図、館跡や条里制等の分布参考図等を作成し、分布調査等の諸調査に活用してきたが、平成25年度から新たにこの字限図調査のデジタル化に取り組んだ。

今次調査では字限図をデジタル化したうえで土地利用図を作成し、小字名・地名を採録した。これまで赤湯・宮内・金山地区分が報告済みとなっており、本報告書では沖郷地区分について報告する。



第1図 南陽市内の地区境

2. 字限図について

表題は、明治7年調製のものは地租御改正精絵図、明治8年調製のものは国、郡、村名に続いて字限図、全地字限絵図、字限全地絵図、全地絵図、精絵図、明治25年及び26年調製のものは単に地図、字切図となっている。様々な名称が用いられているが、本報告書では字限図の呼称を用いる。

南陽市内の明治時代の字限図は、市教育委員会、市税務課、各地区に保管されている。市が保管する字限図は、表1のとおりである。今次調査では、主として明治7年（1874）、8年（1875）、26年（1893）の字限図を主に使用した。

3. 調査範囲

調査範囲は、南陽市域のうち山間部を除いた範囲とし、主に宮内扇状地の地域を対象とした。今次報告地域は、沖郷である。

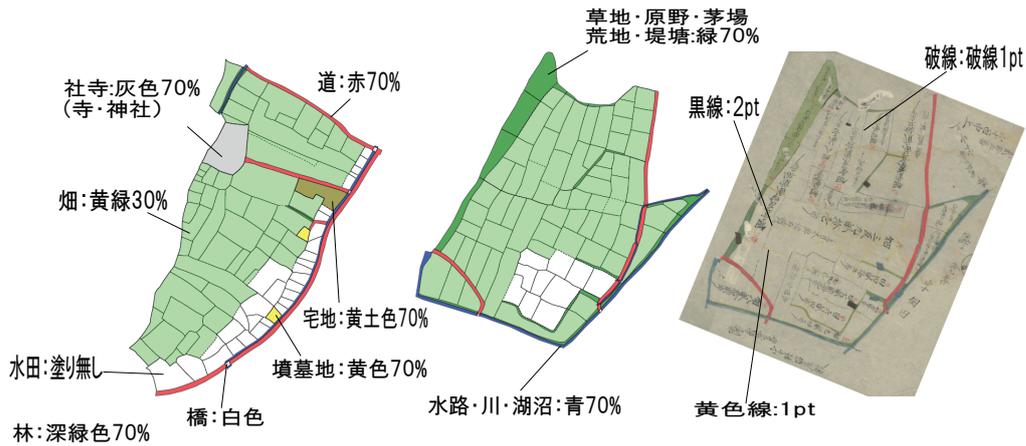
4. 作図

(1) 字限図のデジタル化と土地利用図の作成

スキャナーで読み込んだ字限図を1葉ごとデジタルトレースし、作成した小字単位の土地利用図を張り合わせ、地区毎の土地利用図を作成した。

土地利用図を作成するために、小字の輪郭をデジタルトレースし、地目毎に次のような配色で色分けを行った。なお、地目変更がある場合及び畦線等の変更・追加があった場合は古い方を優先とした。ソフトはInkscapeを使用した。

水田は白抜き、畑は黄緑色、草地・原野・萱場・芦場・高岸・砂地は緑色、水路・湖沼・溜池・川は青色、道路は赤色、宅地、公共用地は茶色、墓地は黄色、神社・寺は灰色、山林は濃緑色に塗り分け、土地利用図を作成した。



<区割りレイヤーに記載>	<土地利用図レイヤーに記載>
区割り線	畑・宅地
道、水路（湖沼）	草地・原野・茅場等で面積のあるもの
草地・原野で水路沿いのものや雨季水路	社寺、墳墓地、その他

デジタル図化方法

地区	デジタル化数	明治7年	明治8年	明治25年	明治26年	明治27年	明治31年	年不明・昭和
赤湯	赤湯	118		○		○	○	
	金沢	36		○		○		
	長岡	31				○		
	桐塚	80				○	○	
	俎柳	32				○		
	松沢	32		○	○			
	三間通	59		地				
	上野	19						□
	二色根	32				地		
	大橋	43					□	
沖郷	郡山	39		○		□		
	島貫	17		○		□		
	中ノ目	55				□		
	中落合	29		○		□		
	西落合	16		○		□		
	萩生田	40		○		□		
	若狭郷屋	24		○		□		
	鍋田	81		○		□		
	長湊	14		○		□		
	蒲生田	54				□		
	高梨	48		○		□		
	関根	42		○		□		
	露橋	40					□	
	沖田	16		○		□		
	坂井	17		○		□		
法師柳	25		○		□			
宮崎	127		○		○・□			
宮内	宮内	201			○			
金山	金山	150		○		□		
梨郷	梨郷	90		○				
	和田	45				○・□		
	竹原	49		○		□		
	砂塚	88				□		
漆山	羽付	32				○		
	漆山	81		○		○		
	池黒	67	○		○			
吉野	萩			○		□		
	下萩			○		□		
	小滝					□		
中川	川樋							□
	小岩沢							□
	新田							□
	元中山							?
	日影							?
	釜渡戸							?
※全ての小字が揃っていないものを含む。								
○：市史編さん室、地：地区保管、□：税務課保管								

表1 字限図の保管場所

(2) 土地利用図等を作成する際の修正について

個々の字限図は、歪みや計測時の不正確さがあり、隣同士であっても境界の形状が合わないことは珍しくない。地区毎の土地利用図の作成にあたって、その修正については概ね次の方法によった。また、作成した小字単位のデータとそれを集合させた地区毎の土地利用図は別に管理し境界線の修正状況を追認できるように図った。

- ・地形図に重ね合わせて正誤が判断できる個所は地形図に沿って修正する。
- ・周辺の図との整合性から、明らかに変形している図のみを修正する。
- ・どうしても齟齬を生じる境界については、相互の境界線を近づけるように互いの境界線を変形させて擦り合わせる。

なお、中世城館等の埋没遺構等、詳細な検討を要する範囲については、ベースとなる地形図の上に小字単位の土地利用図を重ね、必要に応じて昭和 20 年代等の空撮写真とも照合した。

5. 字限図及び土地利用図の活用法

明治期の字限図を元に作成した土地利用図では、重機による大規模な開発が行われる以前の微高地や旧河道といった自然地形、溝跡のような人為的地形が判読可能である。現在は使われていないが明治時代まで使用されていた道や水路の位置も発掘調査前に把握できる。

小字名・地名から古墓地、寺跡、神社跡、古墳等が推測される場合や、小字名・地名が土地の成因や環境を示していることも多い。地名については、古語（やまと言葉）による経験則的な地名研究やアイヌ語地名の研究の例も知られており、字名一覧の備考欄には参考としてカナで記載した。また、方位や位置を示す「東西南北」、「前後」、「裏」を冠する地名からは、人々がどの方向からその土地を見ていたかが推測できる。なかでも「前田」等、「前」が付く地名の場合、宮内扇状地内では屋敷や墓地の南側を意味する割合が 70%であった。

土地利用図では、地目（土地利用法）及び地割から得られる情報がある。

地目からは、土地の高低が推測できる。一般に水田は低地である。宅地や畑地は微高地である場合が多い。草地は営農に適さない土地であることが多く、河川沿いの低湿地帯や斜面、崖、水路の肩、塚等に見られる。水田（畑地）の中にぽつりと畑地（草地）が残る場合は古墳、塚、古墓地の可能性があり、さらに当該地目内に交点を持つ地境が見られる場合は高塚である可能性がある。

地割からは、館跡、道路跡、水路跡、旧河道、条里水田跡、河川氾濫跡等を読み取ることができる。河川氾濫跡では新旧の切り合い関係をもみることができる。館跡ではしばしば周囲に堀跡が水田化した地割を見ることができる。最上川等の河川沿いでは開墾に伴う長割りの地割が見られ、その長軸方向は排水方向に一致する傾向がある。湿地性の水田では、堅田に比べ一区画が小さく密になる傾向がある。

なお、土地利用図は明治初期の状況を示すものである。地名や地割りが年代的にどこまで遡りえるのか、地割りの性格や成因には、発掘調査や文献等の様々な手法による検証が必要である。

第2章 土地利用図調査（地区別調査）

1. 沖郷地区

（1）沖郷地区の概要と特色（第2図）

沖郷地区は、宮内扇状地の扇中央部から扇端に位置する。地形的に宮内の関口付近から南西方向に見られる旧河道（堤群）を流れていた吉野川の影響が大きい。旧河道はさらに丸堤付近で東西に振れ、あたかも丸堤を扇頂とするような小扇状地状の景観を呈し、旧吉野川本流となる宮崎方面の他に高梨、沖田、鍋田、中ノ目及び赤湯の俎柳方面にかけて自然堤防を発達させている。また沖郷地区の西側では織機川おりはたと上無川かみなしの自然堤防が見られる。集落は主にこれら自然堤防上や河間低地中の微高地に立地している。赤湯や宮内に比べ沖郷地区では明治期の各集落は小規模で分散しているが、概ね各地区の中央付近に中心集落が立地し、屋敷や館の地名も見られる。

沖郷地区の南端は西流する吉野川、最上川が境となる。河川改修前は蛇行が著しく、川に近い土地は洪水氾濫地や荒地が多かったとみられ草地や新しい開拓地が多い。

当地区は弥生時代の石包丁を出土するなど古くから本市を代表する水田地帯である。郡山地区を中心に古代の遺跡が集中しており、付近に古代の置賜郡衙が所在していたと推定されているが、郡庁は未だ確認されていない。また、条里制が広がっていたとされ、方形地割や一ノ坪等の条里関連地名が残る。

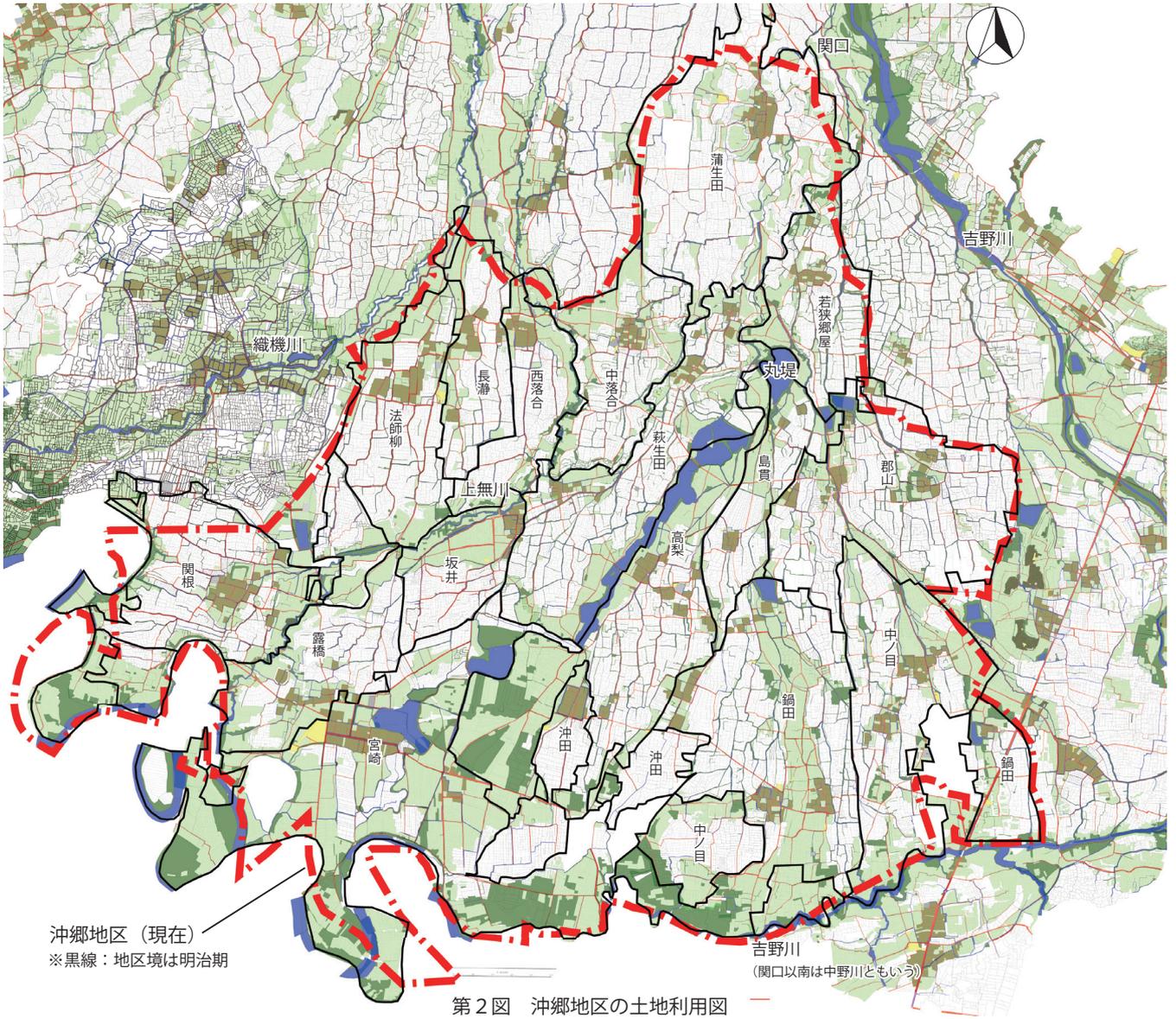
（2）沖郷条里制

①条里制と古代の遺跡

市内の条里制は、昭和36年に柏倉亮吉によって宮内条里として報告され、市史上巻で佐藤庄一が宮内の条里遺構として紹介した。さらに佐藤鎮雄は東西6条、南北7条の条里制を推定し沖郷条里制と呼称した（佐藤鎮雄2010）。

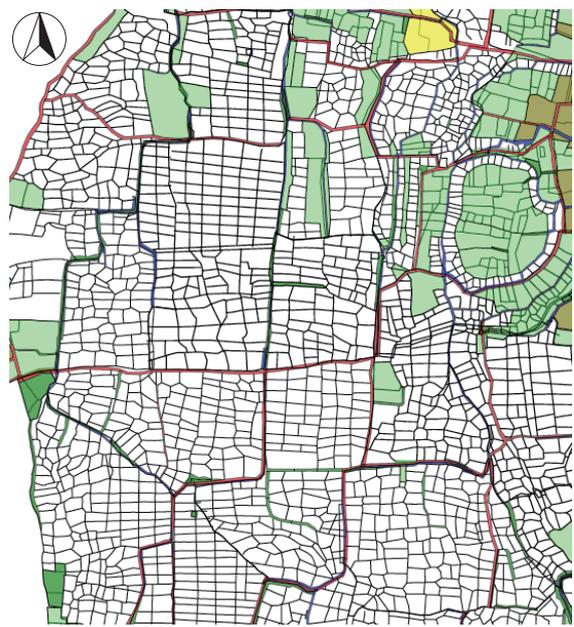
条里制の痕跡とみられる方形区画の水田は、土地利用図において宮内地区から蒲生田地区（第3図）の一帯で明瞭に確認される。これを基に109mの方眼メッシュを作成し、地図上に展開し精査した。その結果、このメッシュに整合する水路や道路、方形区画の存在等から、条里制の痕跡は、北は宮内の大清水神社付近、西は織機川（境川）を越えた付近（一部は関根・砂塚付近）、南は最上川、東は柵塚の吉野川付近までの広範囲に及ぶと見られる。その範囲は佐藤鎮雄が推定した沖郷条里制とほぼ一致するが、地名等も考慮すると条里制の範囲はさらに広がる可能性もある。また、今回は言及しないが、梨郷～池黒地区の山際に近い範囲では方位が異なる方形区割が見られる。これは明治に北条郷に編入されるまで梨郷が下長井に属していたことと関連するのであろうか。

この宮内と蒲生田の方形区画水田に合わせた109m方眼メッシュをそのまま南へ展開した場合、沖郷の若狭郷屋や中落合地区から南部では主要な水路や道路等の地割と横線の南北で概ね20mの差が生じた。そこで109mメッシュを南にずらして地図上に展開し、唐越遺跡からこし南側の古道に横線を合わせると沖郷、赤湯地区の地割と整合性が高くなった。これは横軸が異なる条里型地割が存在する可能性を示す。このような差は道路等を挟む例が知られるが、属する郷の違いを示す可能性についても検討が必要である。



沖郷地区（現在）
※黒線：地区境は明治期

第2図 沖郷地区の土地利用図



第3図 蒲生田地区の方形区画の水田（条里水田跡）

地区名	条里・郡衙関連小字名
宮内	中坪
金山	中里
小滝	中里
池黒	大坪
梨郷	宮城
	上西郡
	北・西・南・上六丁目
砂塚	下西郡
竹原	宮城
三間通	中坪
長岡	中野坪
郡山	中ノ坪
島貫	元八ノ一、元八ノ二
高梨	中坪
	中里
沖田	中坪
西落合	中之坪
法師柳	中坪
鍋田	中之坪
	三條院
	一ノ坪
中ノ目	郡山前
	東中里、西中里
中落合	(中ノ坪) ※位置不明
	桑木会
長瀨	(中坪) ※位置不明

第2表 南陽市内の条里・郡衙関連小字名

この横軸が異なる 109m メッシュ範囲について、若狭郷屋・中落合から北側の地割を条里型地割 1、南側の地割を条里型地割 2 と仮称する（第 4 図）。

この第 4 図の方眼メッシュをこれまで発掘調査で得られた古代の遺構と照合すると、条里型地割 1 では、清水上遺跡の東西溝（SD4）や 2015 年度旭町高梨線道路側溝立会調査の東西溝（SD1、SD2）等がメッシュ線に概ね一致する。条里型地割 2 では、唐越遺跡の南北溝（SD2648）、同南端 B 地区の南に位置する東西方位の古道、沢見遺跡の南北大溝（SD1）、中落合遺跡の圍繞された建物群南端の東西方位の柵列跡（SA26）がこのメッシュに整合する。唐越遺跡の古道から中落合遺跡の建物群の正面までは、南北方向で 4 坪分（436 m）離れた位置関係にある。本地域では郡庁は未発見であり、郡衙に関連するとされる遺跡は自然堤防上に分散しているが、この両遺跡の状況から古代の郡衙関連施設が条里制に関連する地割を意識して立地していた可能性が考えられる。この他に、矢ノ目館跡西端の南北大溝（KY3）は坪区画を東西に三分の一にした地点に、唐越遺跡の SD1 は坪区画を南北に二分した地点に位置する（第 5 図）。

また、第 4 図の方眼メッシュと土地利用図を比較した場合、宮内、赤湯、沖郷では水路や河川、古道等が条里型地割 1、2 のメッシュ線に一致するか、すぐ近くを平行するような位置関係にある状況が所々で確認された。本地域では中近世に大規模な耕地整理が行われなかったため、条里制の影響を受けた地割りが残り易かったとも考えられる。

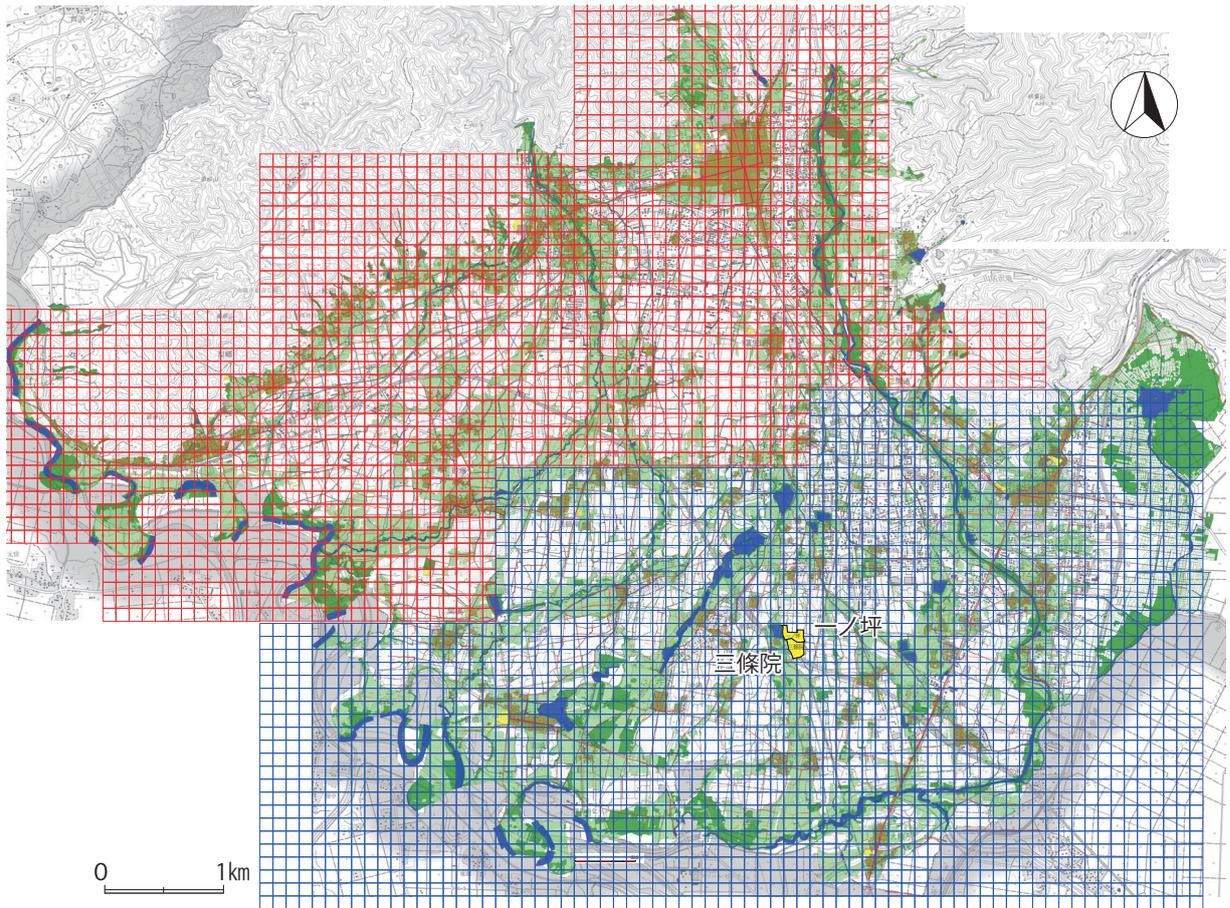
次に地名をみていくと、市内の条里・郡衙関連地名と思われる小字名（第 2 表）は、中ノ坪（11ヶ所）、大坪、中里（4ヶ所）、一ノ坪、宮城（2ヶ所）、上・下西郡、三條院、郡山前がある。また、関連の可能性のある小字名は、北・西・南・上六丁目、元八 1・2、^{どじょうめ}鱈面、桑木会、地名では萩生田の「中さと在家」や「君殿」、郡山の「ヒョンノメ（兵衛の目）」、鍋田の「くりけ」、川・堰名で「厨川（吉野川）」「厨川堰」がある。

②沖郷条里制の条と里について

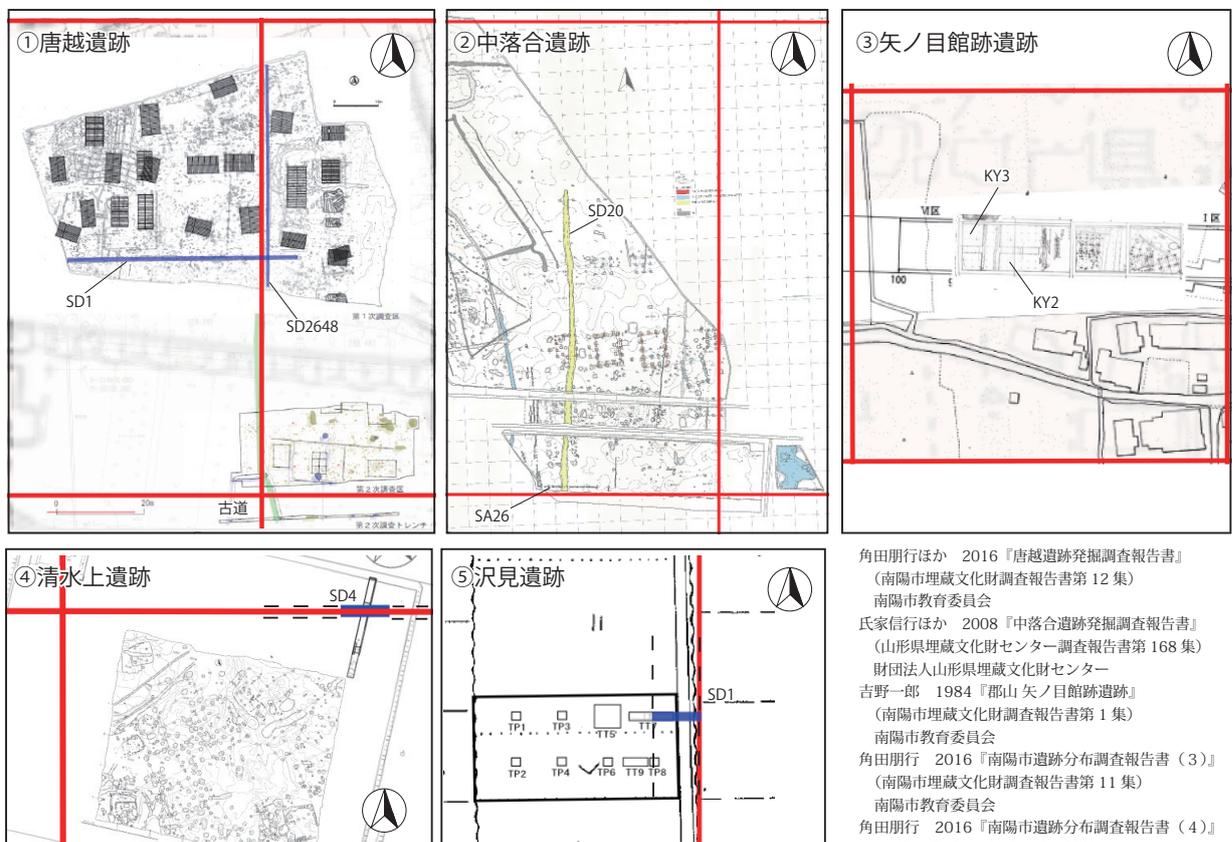
「条」と「里」については、関連地名として「条（條）」「里」、その転化として「丁」「丁目」「城」「縄」「森」等が知られる。市内の小字名では、鍋田地区の「三條院」、梨郷地区の「上・北・西・南六丁目」が関連地名と考えられる。この他、宮崎地区の「八丁巻」は面積を示す「町」の転化とみられ、三間通地区の「一～三丁場」は近世開拓地である。宮内地区の「三番縄」も近世地名と思われる。また、ジョウと読めるものに、鍋田地区「内城」、^{どじょうめ}「まないじょう」、若狭郷屋地区「浦城」、蒲生田地区「鱈目（五条目カ）」、漆山地区^{いちじょうぼたけ}「一上畠」等の小字名や地名がある。

沖郷条里制の条と里を復元するうえで、この「三條院」が属する里が三条に位置すると考えれば、次にその里内での坪の配置として参考になるのは、「三條院」の北に接する小字名「一ノ坪」である。一の坪は、条里制の六十間四方を縦に六つ、横に六つに三十六等分した最初の坪の呼称に由来することが多い。但し、十一の坪、二十一の坪、三十一の坪の 10 の位が欠落した名称の場合もある。

この一ノ坪が里内のどの角に位置するかによって、条が南北どちらから始まるか、里が東西どちらから始まるかが決まってくる。そこで三十六等分した坪からなる里の枠を里の方眼メッシュとして作成し、先に地図上に展開していた 109m の方眼メッシュに



第4図 宮内扇状地 109 mメッシュ図 (青メッシュは唐越遺跡南の古道を基準とした場合)
 ※赤 (条里型地割1)・青 (条里型地割2) ※各メッシュの境目や広がりには未確定



第5図 条里型地割の坪境線 (赤線) と遺構

角田朋行ほか 2016『唐越遺跡発掘調査報告書』
 (南陽市埋蔵文化財調査報告書第12集)
 南陽市教育委員会
 氏家信行ほか 2008『中落合遺跡発掘調査報告書』
 (山形県埋蔵文化財センター調査報告書第168集)
 財団法人山形県埋蔵文化財センター
 吉野一郎 1984『郡山 矢ノ目館跡遺跡』
 (南陽市埋蔵文化財調査報告書第1集)
 南陽市教育委員会
 角田朋行 2016『南陽市遺跡分布調査報告書(3)』
 (南陽市埋蔵文化財調査報告書第11集)
 南陽市教育委員会
 角田朋行 2016『南陽市遺跡分布調査報告書(4)』
 (南陽市埋蔵文化財調査報告書第13集)
 南陽市教育委員会

重ねて精査した。里境は単なる坪境よりもしっかりと区画され、地割がより明確に残存する可能性が高いと仮定しつつ、一ノ坪を四隅等に配置し平行式・千鳥式の計8つの組合せでその妥当性を検討した。その結果一ノ坪が南東角か北東角付近に位置するか、或は里の中央の二十一の坪に位置した場合に数値地名や重要な古道・水路等に整合する率が高いと判断された。これにより里は東から始まっていると仮定した。一ノ坪が南東角にあたる場合を類型A、北東角にあたる場合を類型B、二十一の坪にあたる場合を類型Cとして、「三條院」を三条と仮定し検討を進めた。なお従来¹の沖郷条里制（佐藤鎮雄2010）は類型Bで一条通りを境に北・南何条と付番する案を示すが、掲載されている図では一ノ坪と三條院の文字が一条分だけ南に誤植されているため注意が必要である。

類型Aに依った場合、南から北への付番になるため、大橋地区付近が一条となる。梨郷の「六丁目」は五条と六条に跨る位置となり概ね地名での整合性はあるが、条里型地割1・2のような差異のある地域をまたがって付番が連続するのかが不明である。

類型Bに依った場合、北から南への付番になるため、赤湯駅や沢田遺跡のある条が一条めとなり、ここから大橋までが五条である。その北は熊野大社のある条を一条とすると梨郷の「六丁目」は五条と六条に跨る位置となる（第6図）。これは条里型地割1・2の違いのある地域と概ね整合する。

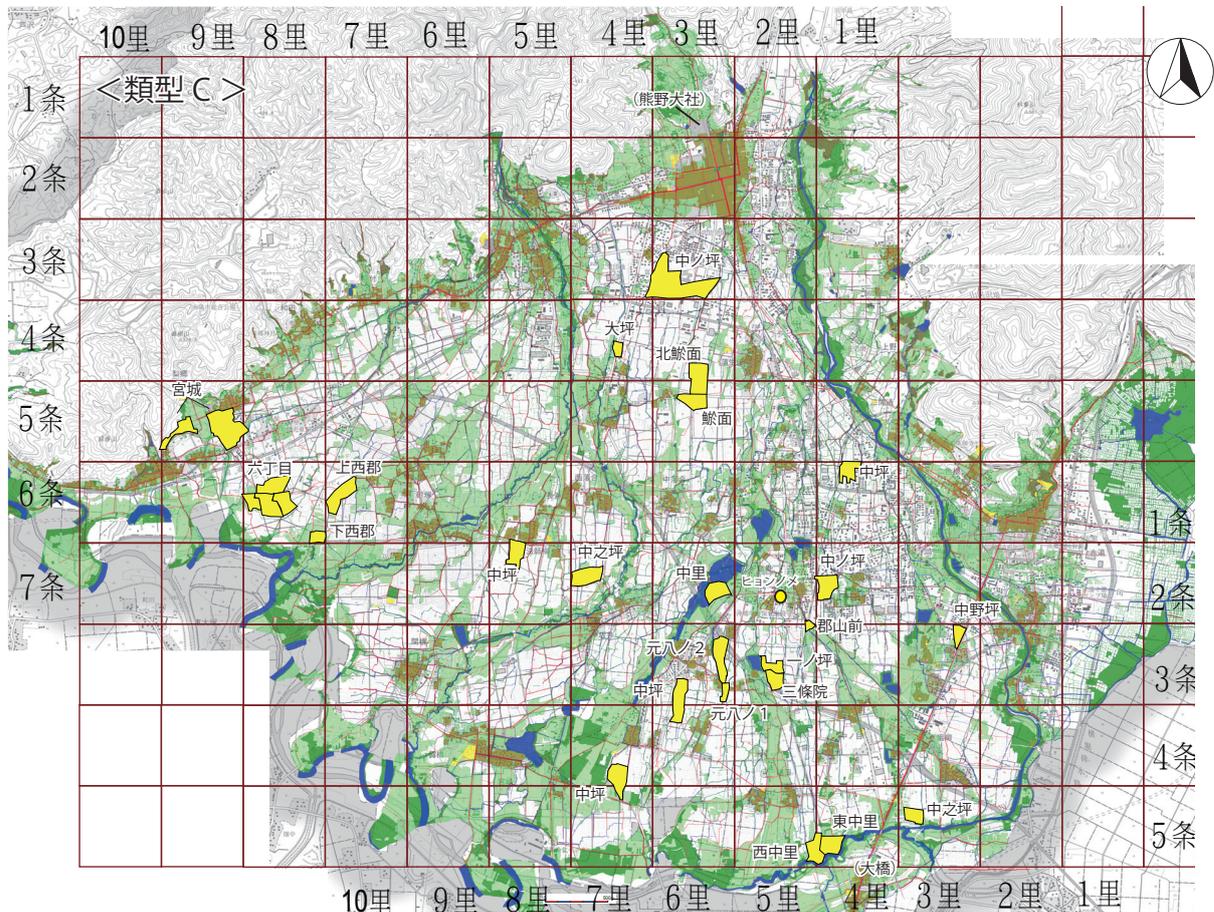
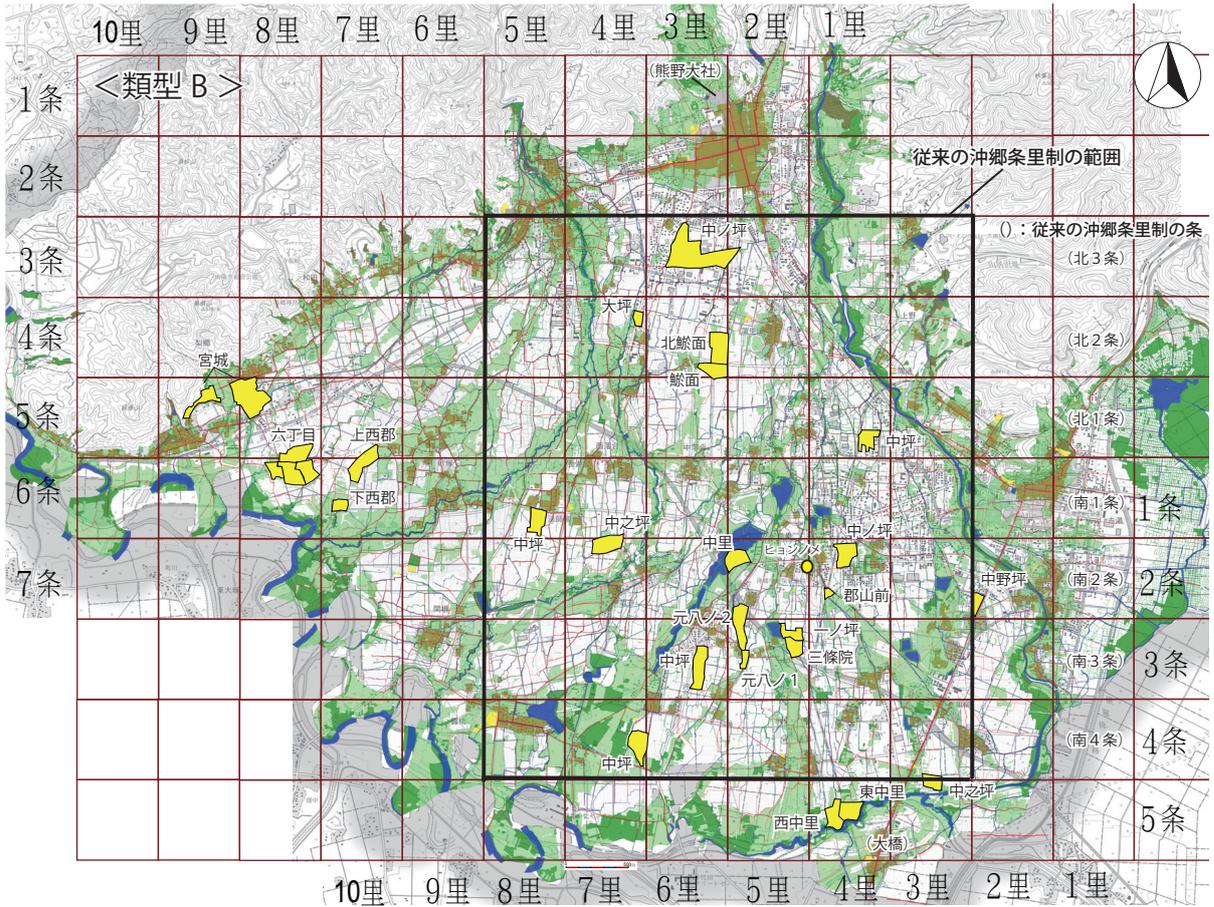
類型Cに依った場合、始まりが南東角でも北東角でも二十一の坪はほぼ同じ位置にくる。類型Bに準じ北東角から始まると仮定すると、条里型地割2の範囲では中落合遺跡を含む条が一条となり、大橋までが六条である。条里型地割1の範囲では熊野大社がある条を一条とすると梨郷の「六丁目」は六条に、蒲生田の「^{どじょうめ}鯰目」は五条に収まる。条里型地割1・2の違いのある地域と概ね整合する。さらに里境の南北線が織機川（境川）や宮内地区の吉野川に整合し、若狭郷屋と三間通の境となる水路や鍋田と中ノ目境となる水路に整合するなど、重要な地割に良く整合する（第6図）。さらにこの類型Cでは熊野大社を含む里の東辺となる里境の線を北へ延すと大高山の山頂を通過する。山と条里の基線に何か関係があるのか類例等も調べる必要がある。

なお、今次調査による沖郷条里制の修正案は今回示していない。その範囲は従前の沖郷条里制の範囲に加え、類型B、Cで、なおかつ条里型地割1、2に整合する地割や地名、遺構が確認される範囲についてさらに調査を続ける必要があると考える。地名からすれば一条通りを境に北・南何条と付番するよりも、北から付番する二つの条里制と考えたほうが整合性が高いように思われる。

③周辺の条里制について

置賜地域では、東置賜郡史において高畠町の条里制が推定されている。小字名「三条目」を基に屋代川付近を一条とした北から南への十条を想定し、「飯森」「二森」を一里、二里の転化として東から西への6里の範囲を想定している。また、川西町には「一条」や「三丁目」と言った小字名が残る。米沢市では条里制に関連する小字名は確認できない。

このうち東置賜郡史の高畠町の条里と図6を比較すると類型Cの里境との整合性が見られ、大橋地区で六条となる条が高畠町の条里として推定されている一条に一致し、東西方向でも西にわずかにずれるだけである。今後さらに検証が求められる。



第6図 類型B・Cの場合の条里メッシュ図と条里関連地名の分布状況

※条・里は機械的に付番したもの。当該範囲全域に条里制が施行されていたことを示すものではない。

(3) 沖郷地区の集落、屋敷・館等

字限図から作成した土地利用図から判読可能な主な集落、屋敷・館跡等として 36 地点を第 7 図～第 12 図に示す。

- ①矢ノ目館跡は水堀と土塁で囲われた館跡である。近年まで館の南東部に堀跡が残っていたが字限図では表現されていない。周辺の方形地割は条里制に関連すると思われる。
- ②関根館跡は方形の輪郭式の館跡「館ノ内」とその南に広がる集落「屋敷」が見られる。
- ③中落合館跡は方形の館跡で、その北と東に大きな運河跡が見られる。この運河が造られた時期等はまだわかっていない。中落合遺跡では慈眼寺の南西に^{いによろ}圍繞された古代の建物群が検出されている。布目瓦も表採されている郡衙関連遺跡である。
- ④^{かもうだ}蒲生田館跡は旧吉野川右岸に帆立貝状の主郭とその北に二つの曲輪がある。主郭の西と東南にも曲輪が見られ、それぞれ西門口、南館の地名が残る。平地にあり現在は要害性をあまり感じないが、元々は東は吉野川、西はその派流の低湿地に挟まれ、地名からも谷状の高低差の多い土地に囲まれていたことがうかがわれる。
- ⑤鶉ノ木館跡は方形の館であったと思われ、西に鶉ノ木堤があった。内城館跡は小字名「内城」から館跡とされるが字限図では形は不明確である。熊の前館跡(みよう)は熊野神社の南に位置し堀も残っていた。「みよう」は「名田」の名残ではないかとされる。
- ⑥沖田館跡は南北方向に長い方形で周囲を水堀で囲んでいる。
- ⑦野添館跡は吉野川右岸に位置し、方形館の堀跡を示す水田が見られた。享保年間の絵図にも畑の中に方形の堀だけが描かれている。その西側にも類似した草地のコの字型の地割が見られる。現在は堤防になっており館跡は河川改修で消滅したと思われる。
- ⑧露橋 A 館跡は県の城館遺跡調査で確認された。周囲に水堀(水田)をめぐらす。露橋 B 館は平成 7 年度県分布調査で露橋遺跡に改名されている。
- ⑨宮崎館跡(御殿跡)は米沢藩主が鷹狩等を行う際に利用されたとされ、方形地割に水路をめぐらし内側に土塁跡(草地)が見られる。東は旧吉野川旧河道で蓮池があった。
- ⑩^{しょうげん}将監屋敷跡は旧吉野川左岸の自然堤防上に立地し、釣鐘型地割の周囲に水路をめぐらせ、一部土塁(草地)も残っていたとみられる。古代から中世の遺物が表採される。
- ⑪郡山字長巻・十二ノ前は「長巻」の屋敷とその北側の「十二の前」の畑地にやや東西に長い方形の堀跡(水田)が見られる。館跡或は寺や神社があった可能性もある。
- ⑫郡山字杉の上は郡山堤の南に位置し、南北に長い方形の地割で、屋敷周囲は堀や水路がめぐっていたと思われる。平成の土地区画整理事業の際に多くの須恵器が出土した。
- ⑬高梨字西屋敷周辺には屋敷が集まっている。条里の一坪につき一つの屋敷があるような分散した立地状況になっている。
- ⑭高梨字下屋敷では方形の屋敷が北と南に見られる。集落の傾きや南北の長さ等、西隣りに位置する沖田館との関連性があると思われる。
- ⑮坂井字屋敷・北屋敷は上無川の左岸の自然堤防に位置し、水路と道で囲まれた方形の屋敷とその周囲に集まった屋敷から成る。
- ⑯若狭郷屋字中屋敷は旧吉野川左岸に位置し、集落をめぐる道や周辺地割には歪んだ形をしたものや蛇行したものが多くみられ、旧吉野川の氾濫影響を受けている。
- ⑰若狭郷屋字内ノ方は打方在家に関連する屋敷と思われ、旧吉野川左岸や中洲状の土地

に立地していると思われる。

⑱郡山字沢口は通称「ヒョンノメ（兵司の目）」と呼ばれ、屋敷の地割はやや東に振れる。沢口遺跡として知られ郡衙との関連が指摘される。古代の遺構や遺物が出土している。

⑲西落合の字屋敷は集落を道路が方形に囲み、その北辺の道は条里制の坪境に一致している。北辺の道に沿って水田が東西に並ぶことから、中落合の北側の運河が西落合の北側にも続いている可能性がある。

⑳中ノ目字亀屋敷は水田に浮かぶ亀のような形状の微高地である。方形の屋敷跡とみられ、堀跡と思われる草地が北から西辺に見られたが現在は耕地整理で消滅した。

㉑中ノ目字松田屋敷は堀跡と思われる水田跡が周囲を囲む方形館跡であるが、一帯は耕地整理で水田化され現在は確認できない。

㉒中ノ目字南屋敷は、字「南屋敷」の南西角に沖田館に似た長方形の屋敷跡がみられ、堀跡と思われる水田跡が周囲を囲んでいる。

㉓中ノ目字西屋敷・東屋敷は道の東と西に屋敷が集まって集落を成しており、西屋敷側では屋敷の周囲を草地が取り囲む堀状の地割が見られる。

㉔長瀨字下在家では方形の屋敷がみられる。長瀨村「下在家」は明和四年北條之内長瀨村御検地帳にも記されている。

㉕長瀨館跡は周りを水堀で囲み土塁を備えていたと言いつの一部分が残る。水堀も土塁も字限図上からは読み取れない。沖郷村史で伊達時代の佐藤與惣左衛門屋敷と記す。

㉖島貫字下屋敷は水田の中に屋敷が集まって集落を形成し、周囲を水路がめぐる。

㉗島貫字六角・阿弥陀前には寺があったと伝わり、周囲を堀が囲んでいたと思われる二つの屋敷が確認できる。

㉘鍋田字^{せんやしき}千屋敷^{ほしやしき}（干屋敷とも。※千か干か文書上からは判断がつかない）は方形の屋敷である。

㉙鍋田字前小屋は概ね条里制地割の一坪に収まる方形地割内に二つの屋敷が見られる。

㉚大野原館跡は、草地の中に堀で囲まれた長方形の地割が見られ、県中世城館遺跡調査で報告されている。館跡は耕地整理で消滅したと思われる。

㉛鍋田字東屋敷・西屋敷は屋敷が自然堤防の東西に集まって集落を成している。西屋敷では周囲を水堀で囲んだ屋敷が見られる。

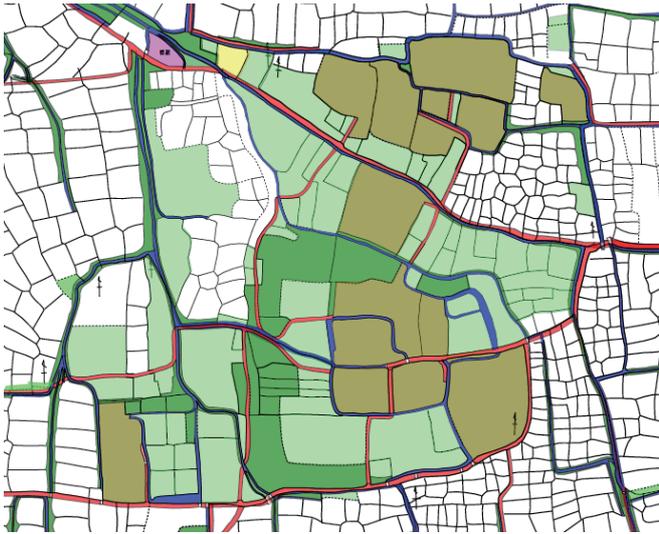
㉜郡山字塚田では堀跡と思われる水田で区画された地割が見られる。中心に位置する畑地は範囲が狭く小さいことから屋敷跡というよりは、寺か神社の跡のように思われる。なお、市内では「塚」地名のある土地には古墳があることが多い。

㉝萩生田字観音田・白山では、旧吉野川右岸の自然堤防上に屋敷が見られる。観音田では周囲を水路に囲まれた屋敷が見られる。白山は白山神社のあった所である。

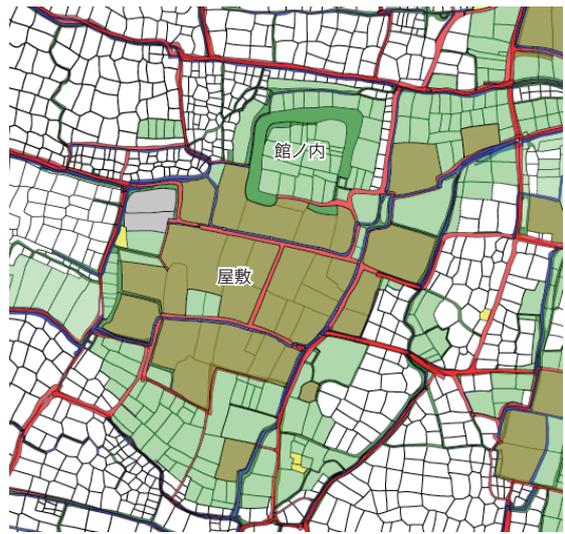
㉞萩生田字宮之内は屋敷が集まって集落を成している。上無川の左岸にあたり、旧吉野川の派流が上無川に合流していた地点の南側にあたる。

㉟萩生田字八景は旧吉野川右岸の微高地上の集落である。集落の西辺中央付近に中落合地区からの運河跡が接する。東辺に東西方位の細い水田があり運河に関連した水路であった可能性がある。

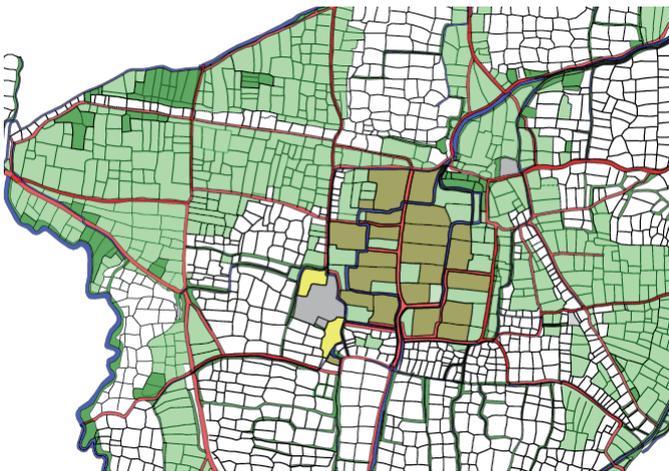
㊱法師柳字福地・漆房^{うるしばう}は、織機川の左岸の古い自然堤防上に屋敷が集まって集落を成している。



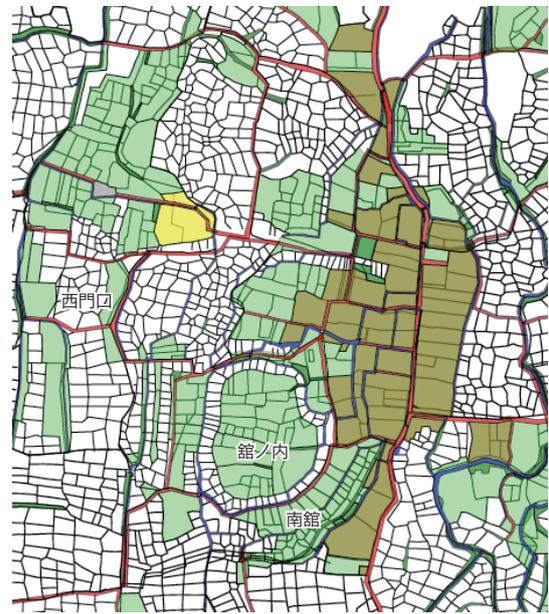
①矢ノ目館跡



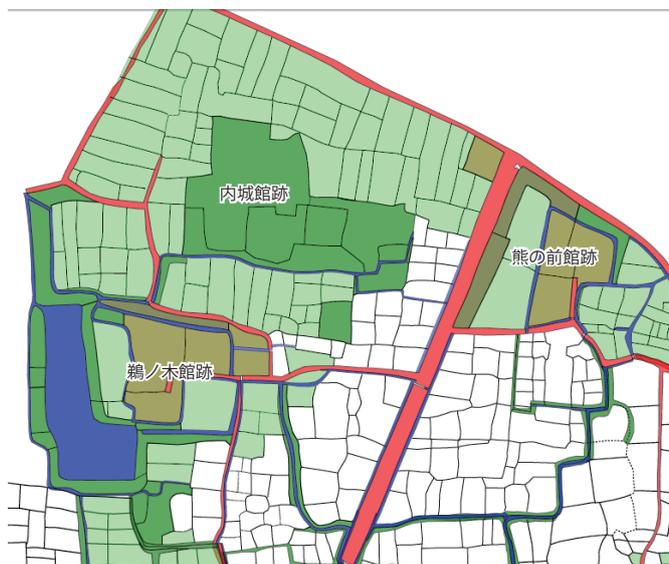
②関根館跡



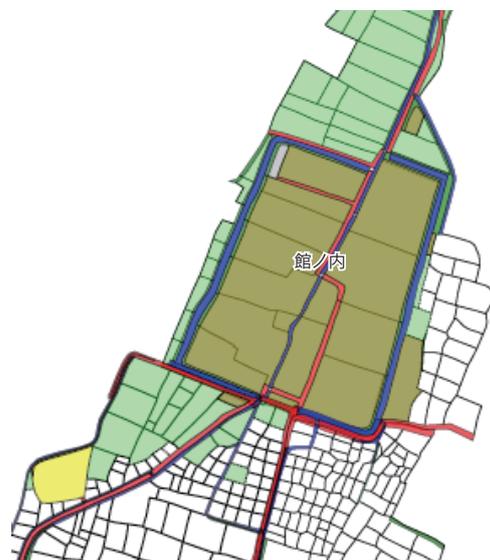
③中落合館跡



④蒲生田館跡



⑤鶉ノ木館跡・内城館跡・熊の前館跡 (みょう)



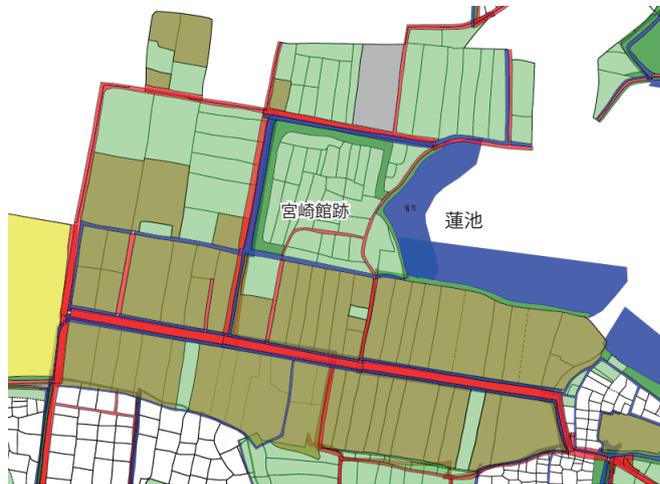
⑥沖田館跡



⑦野添館跡



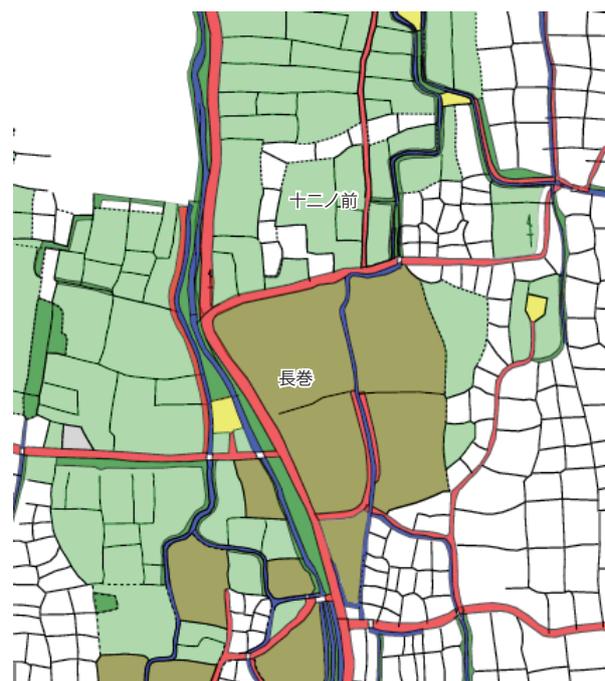
⑧露橋A館跡・露橋遺跡



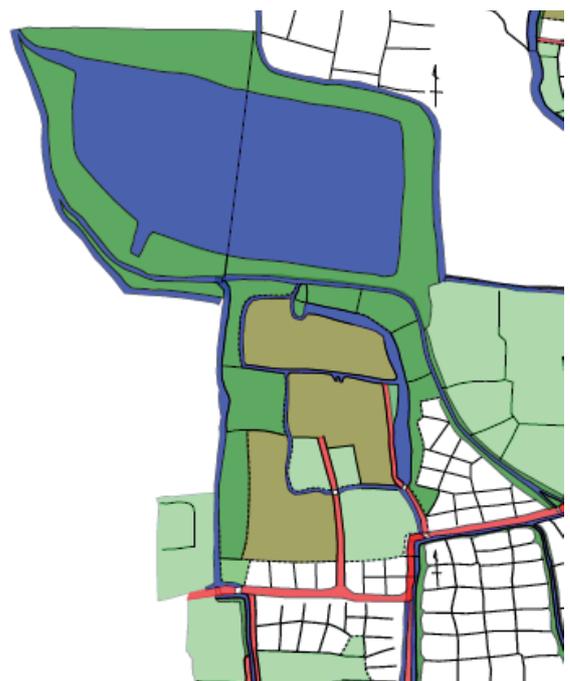
⑨宮崎館跡と宮崎集落



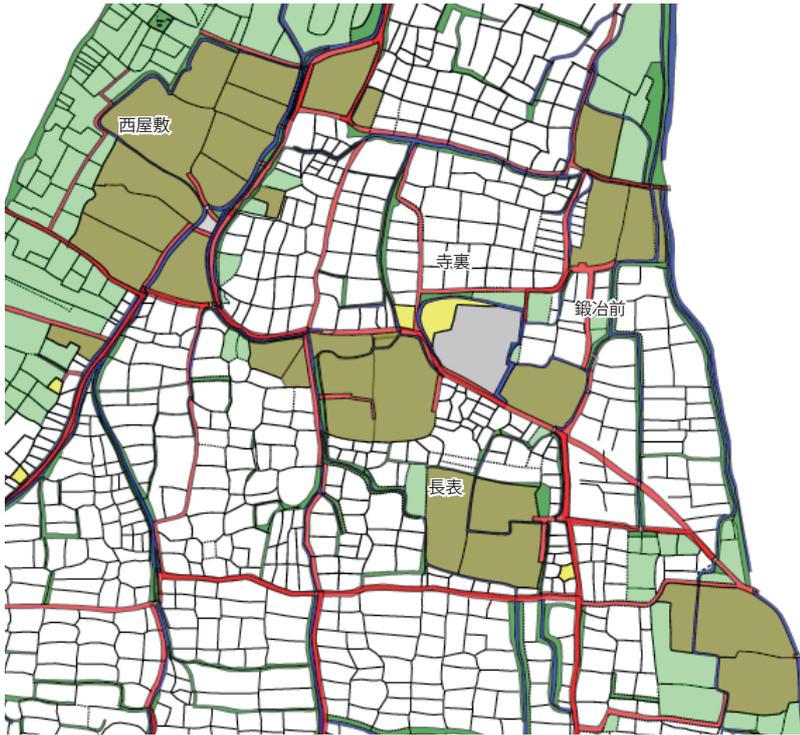
⑩将監屋敷跡



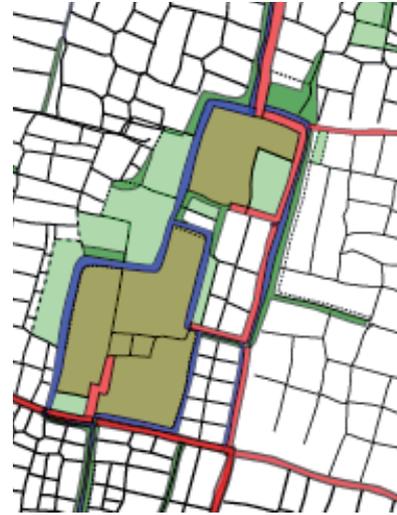
⑪郡山字長巻・十二ノ前



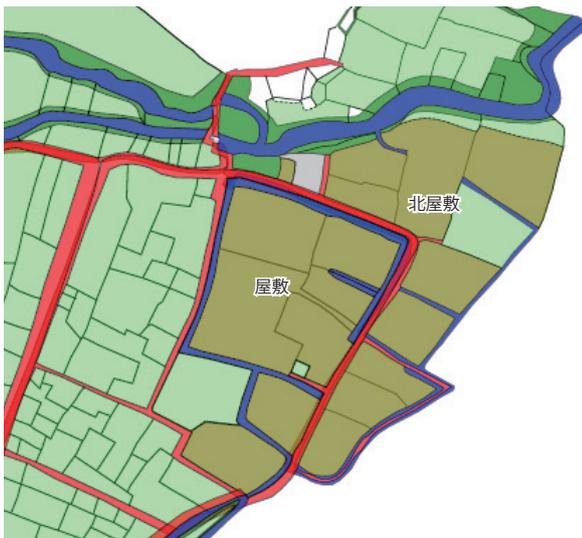
⑫郡山字杉の上



⑬高梨字西屋敷・寺裏・鍛冶前・長表



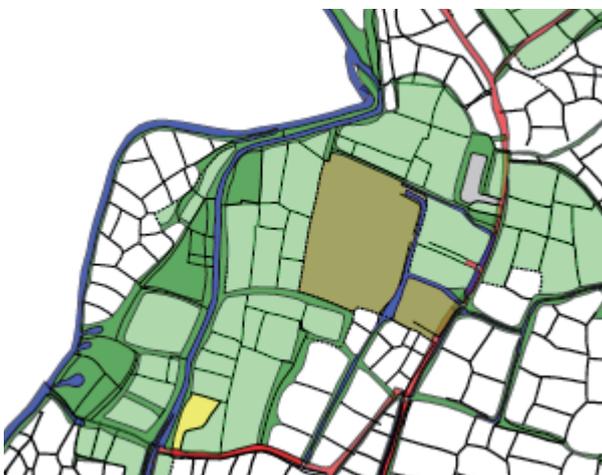
⑭高梨字下屋敷



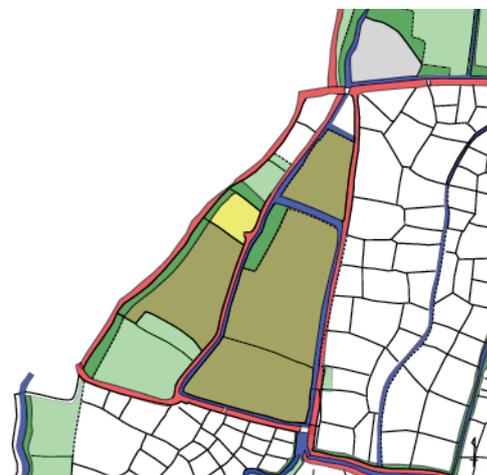
⑮坂井字屋敷・北屋敷



⑯若狭郷屋字中屋敷



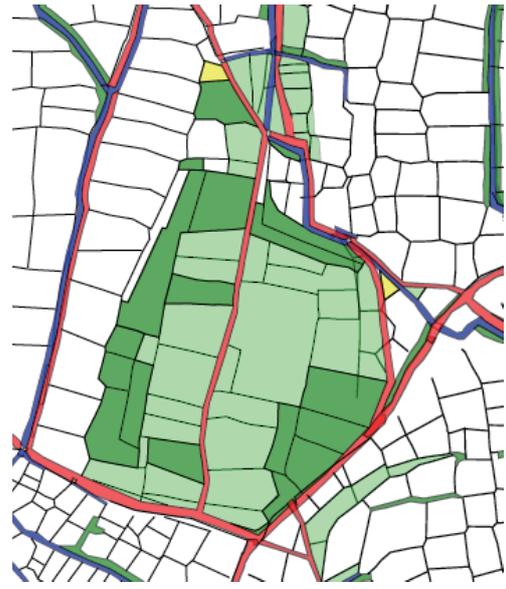
⑰若狭郷屋字内ノ方(打方在家)



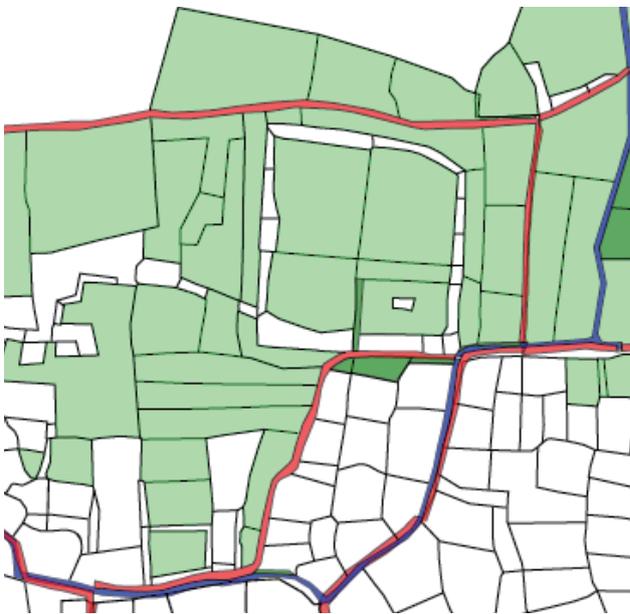
⑱郡山字沢口(ヒヨノメ)



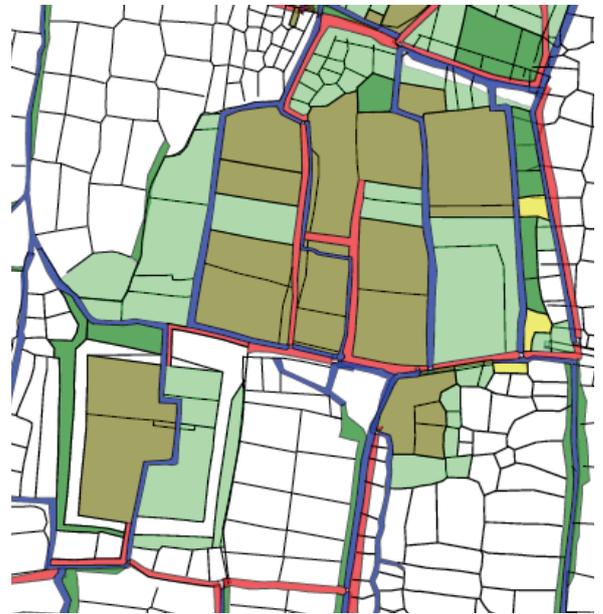
⑱西落合字屋敷



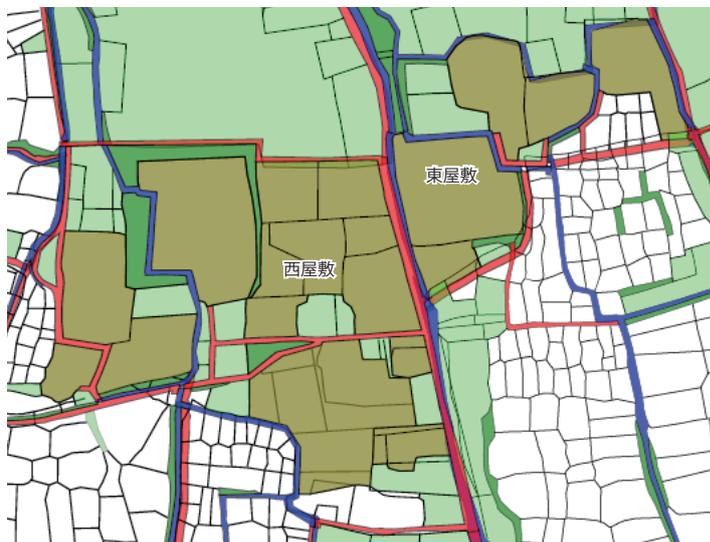
⑳中ノ目字亀屋敷



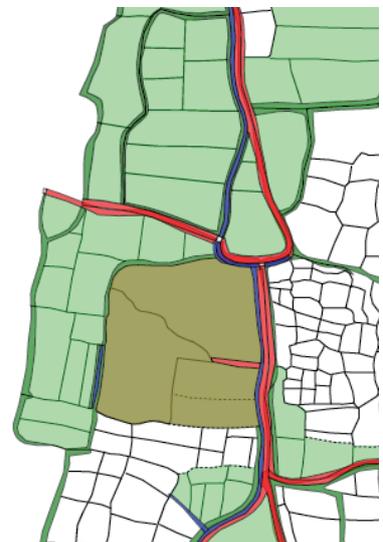
㉑中ノ目字松田屋敷



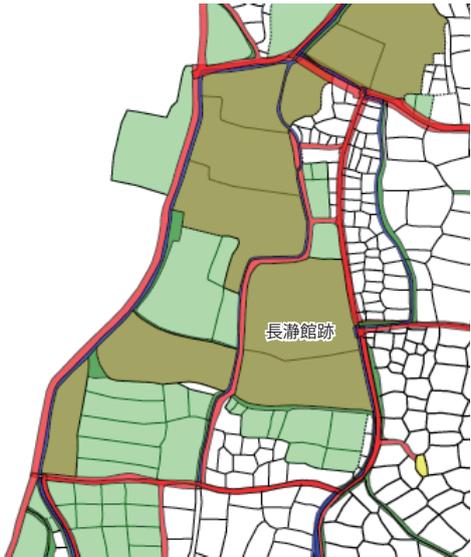
㉒中ノ目字南屋敷



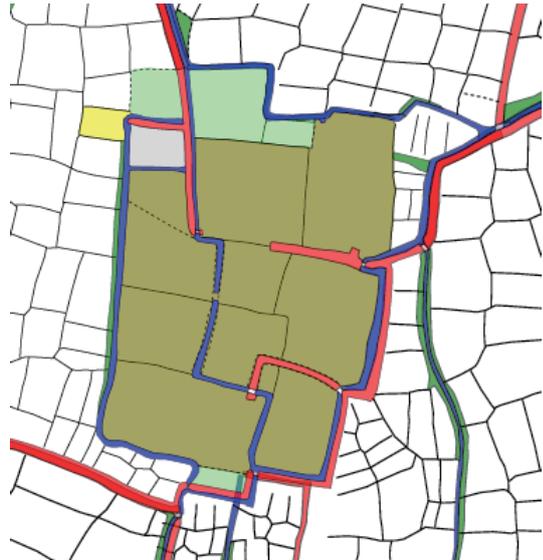
㉓中ノ目字西屋敷・東屋敷



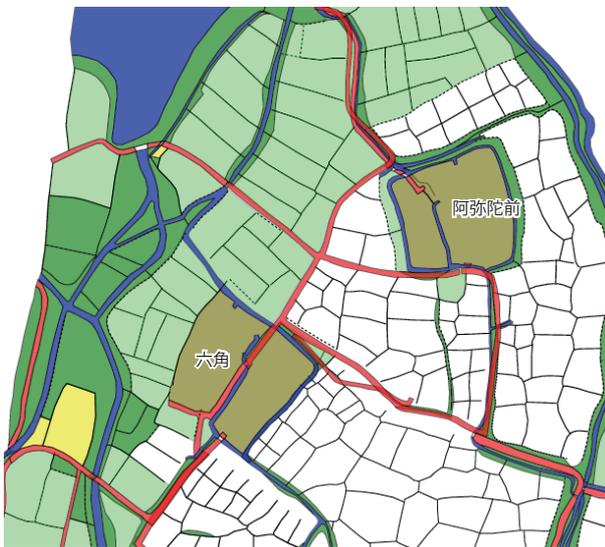
㉔長瀬字下在家



②⑤長湍字館ノ内（長湍館）



②⑥島貫字下屋敷



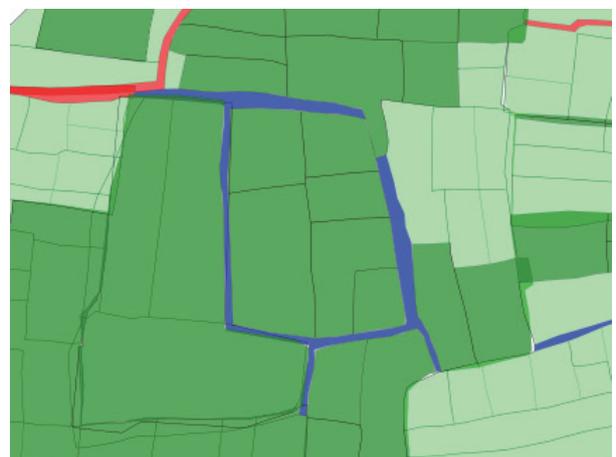
②⑦島貫字六角・阿弥陀前



②⑧鍋田字千屋敷（干屋敷）



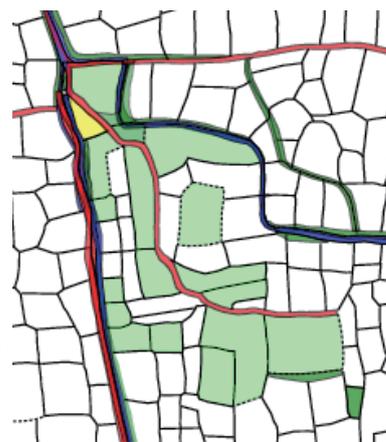
②⑨鍋田字前小屋



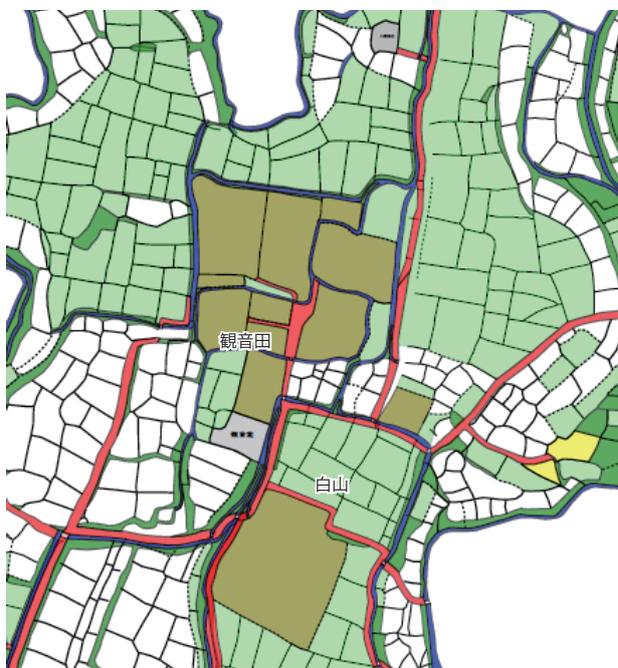
③⑩鍋田字大野原



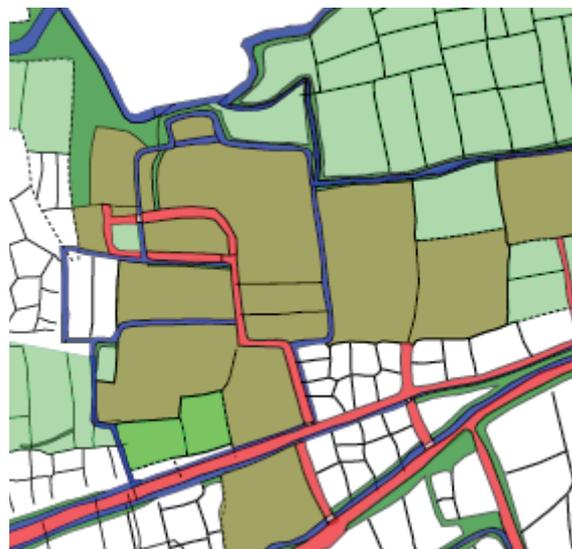
①鍋田字東屋敷・西屋敷



②郡山字塚田



③萩生田字観音田・白山



④萩生田字宮之内



⑤萩生田字八景

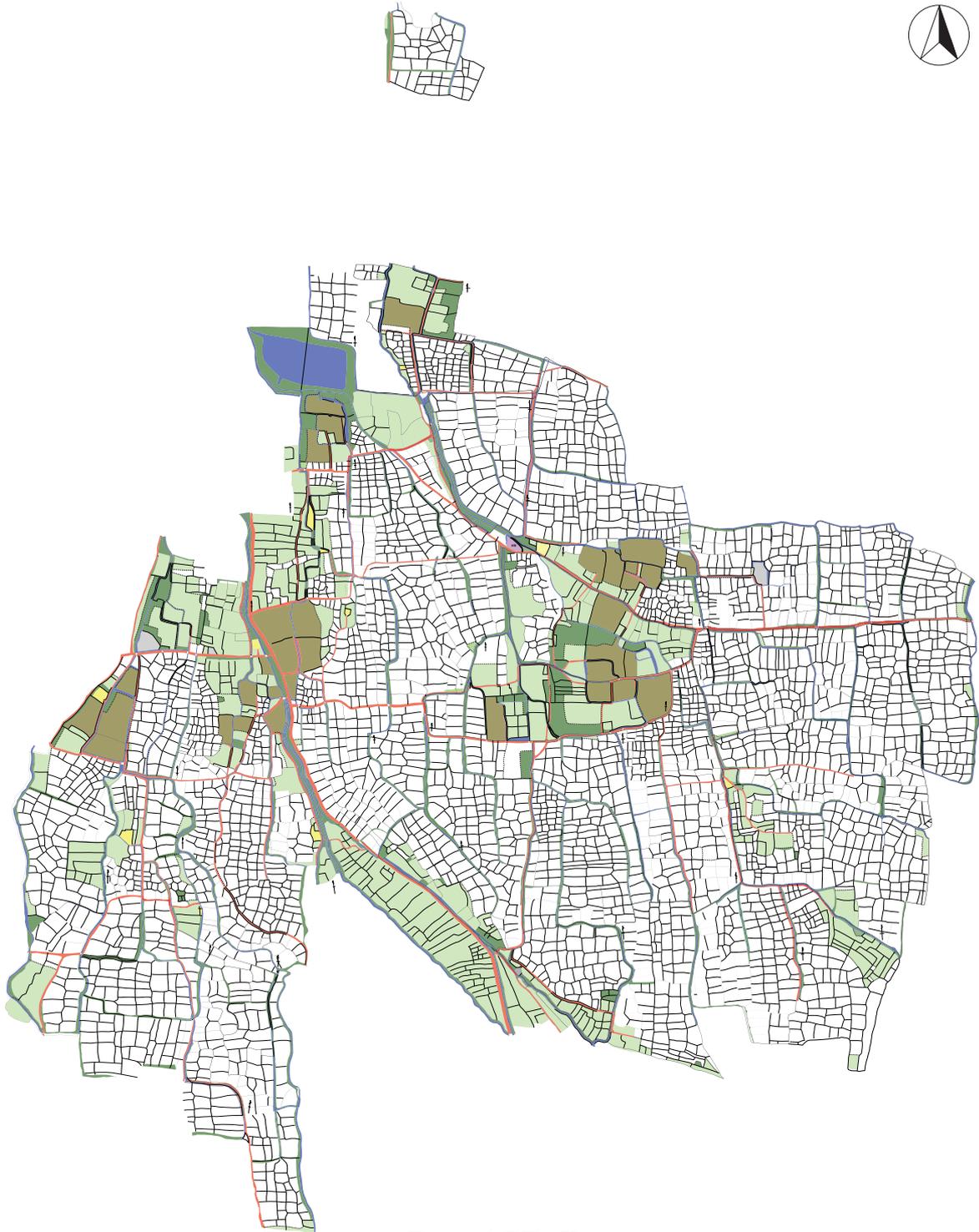


⑥法師柳字福地・漆房

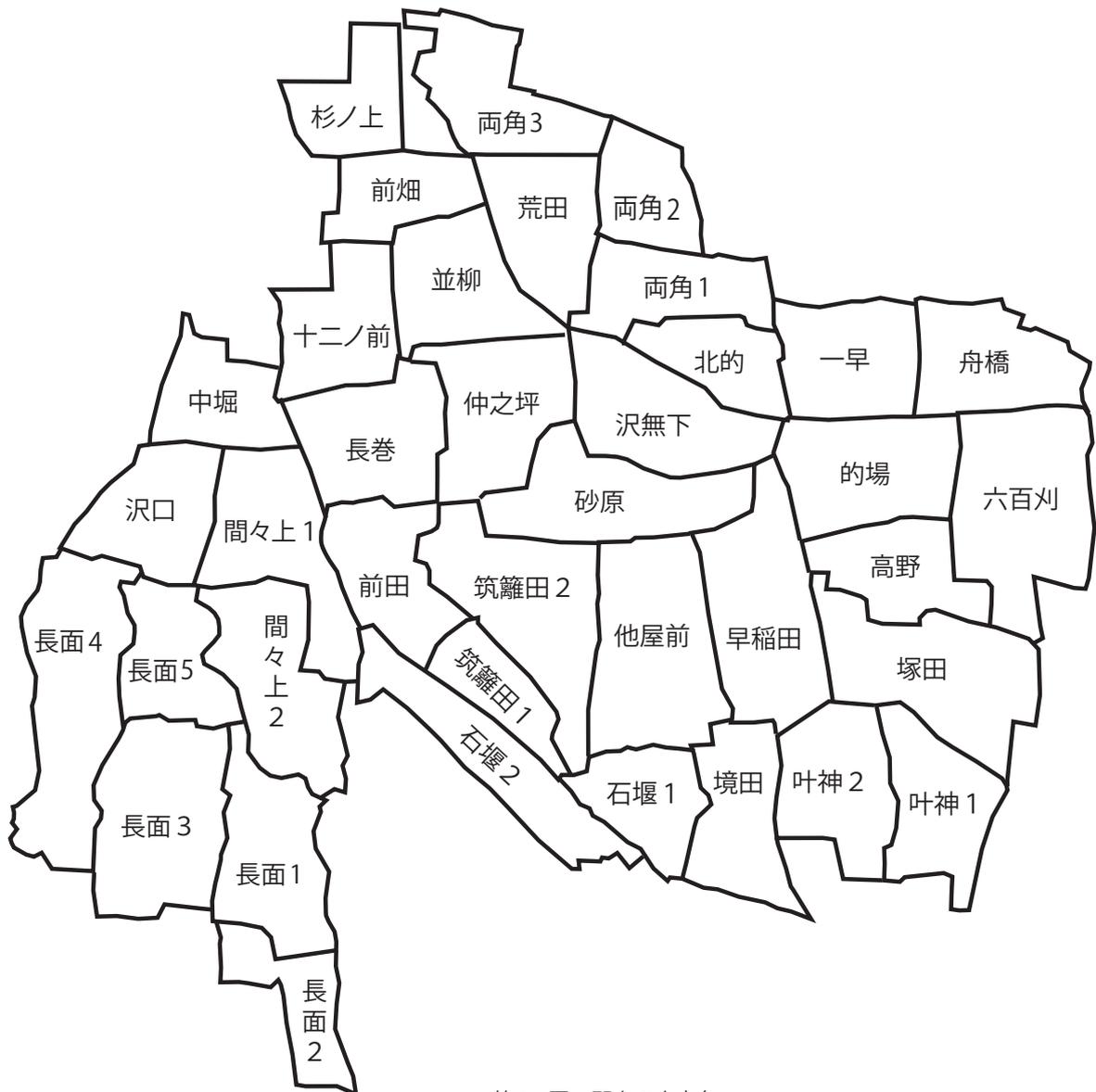
(4) 明治期の土地利用図 (沖郷)

①郡山

吉野川旧河道の左岸に位置し長岡山丘陵の東に接する。地区名は郡衙に由来するとされ、古代の遺跡が集中する郡山遺跡群の範囲に入っている。古代置賜郡衙を考えると重要な地域で矢ノ目館跡や字沢田の沢田遺跡が郡衙関連遺跡として知られる。地区の中心に位置する「沢無下」「砂原」「仲之坪」に矢ノ目館跡が立地し、伊達家家臣矢ノ目市三郎の館と伝わる。この周辺の「長巻」「北的」「的場」は館跡に関連する地名と思われる。天正13年(1585)北条段銭帳では「きたの在家」「七平五在家」と言った在家



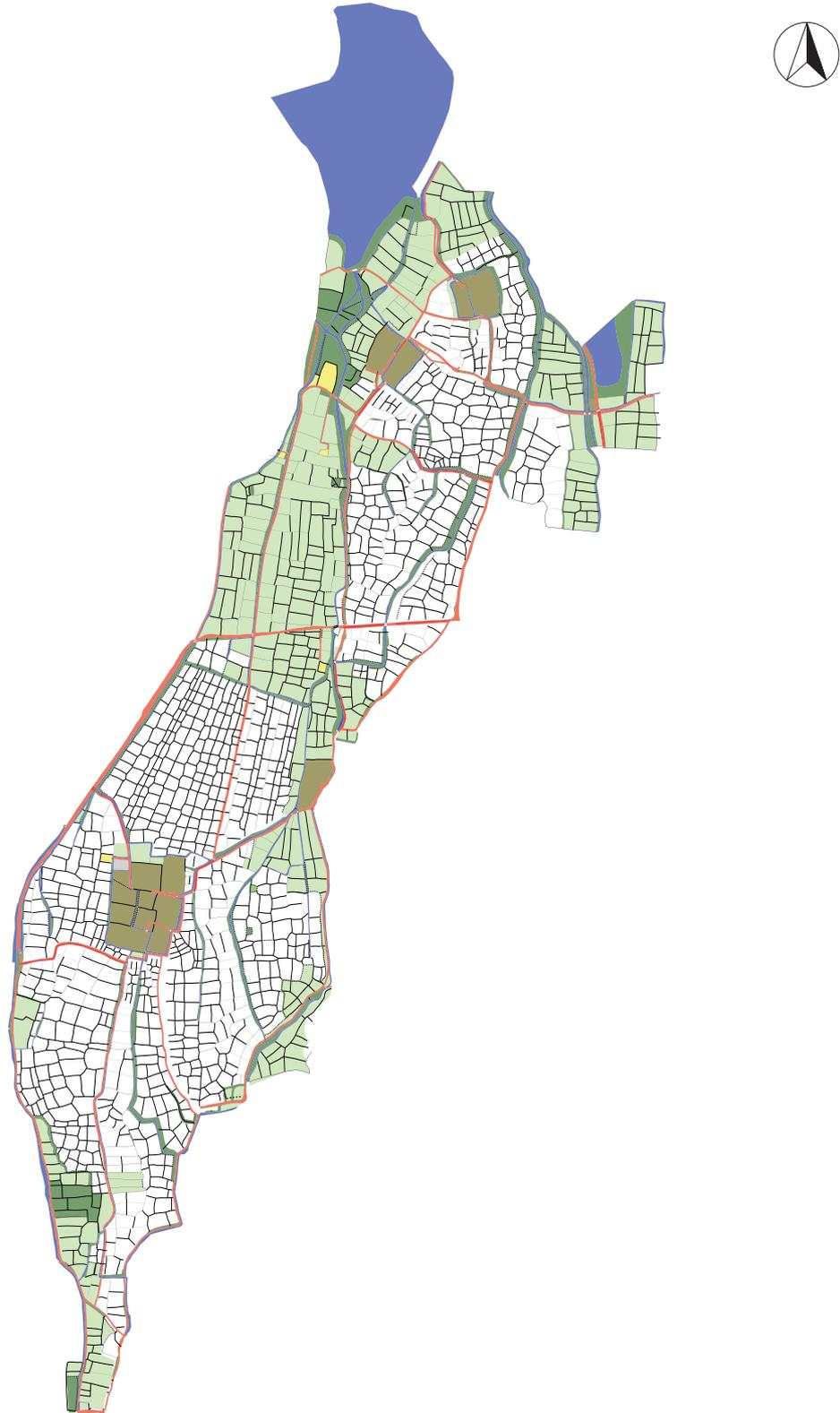
があることが記されている。「荒田」から「沢無下」や「前田」「筑籬田1」「石堰2」付近では北西方向からの旧吉野川派流による自然堤防の発達や水田の変形が見られる。方形の地割や直角に曲がる水路等は条里制の影響が考えられる。「高野」「他屋前」「荒田」は江戸時代の開拓地名である。「間々上1」の東辺を南北に走る道が近世以前からの「宮内街道(小滝街道)」である。宮内街道は大橋～宮内、小滝街道は俎柳～小滝を結んでいた。「塚田」地名は市内では古墳に由来することが多い。「叶神」は長岡山にあった金屋神社かないがみに関連する地名と思われる。地区東辺を旧河道が南流していたとみられる。



第14図 郡山の小字名

②島貫

旧吉野川左岸の自然堤防と後背湿地にあたる。沢田遺跡等、古代の遺跡が集中する郡山遺跡群の範囲に入っており、古代置賜郡衙を考えると重要な地域である。「六角」は六面幢に由来し、付近には教全寺があったとされる。付近には「阿弥陀前」の地名も残る。「元八^{げんぱち}1・2」は元々の読みが「トハチ」であったとすれば条里制の呼称との関連も考えられる数値地名である。「上西原」の畑地内や「的前」の水田内にぼつりぼつり



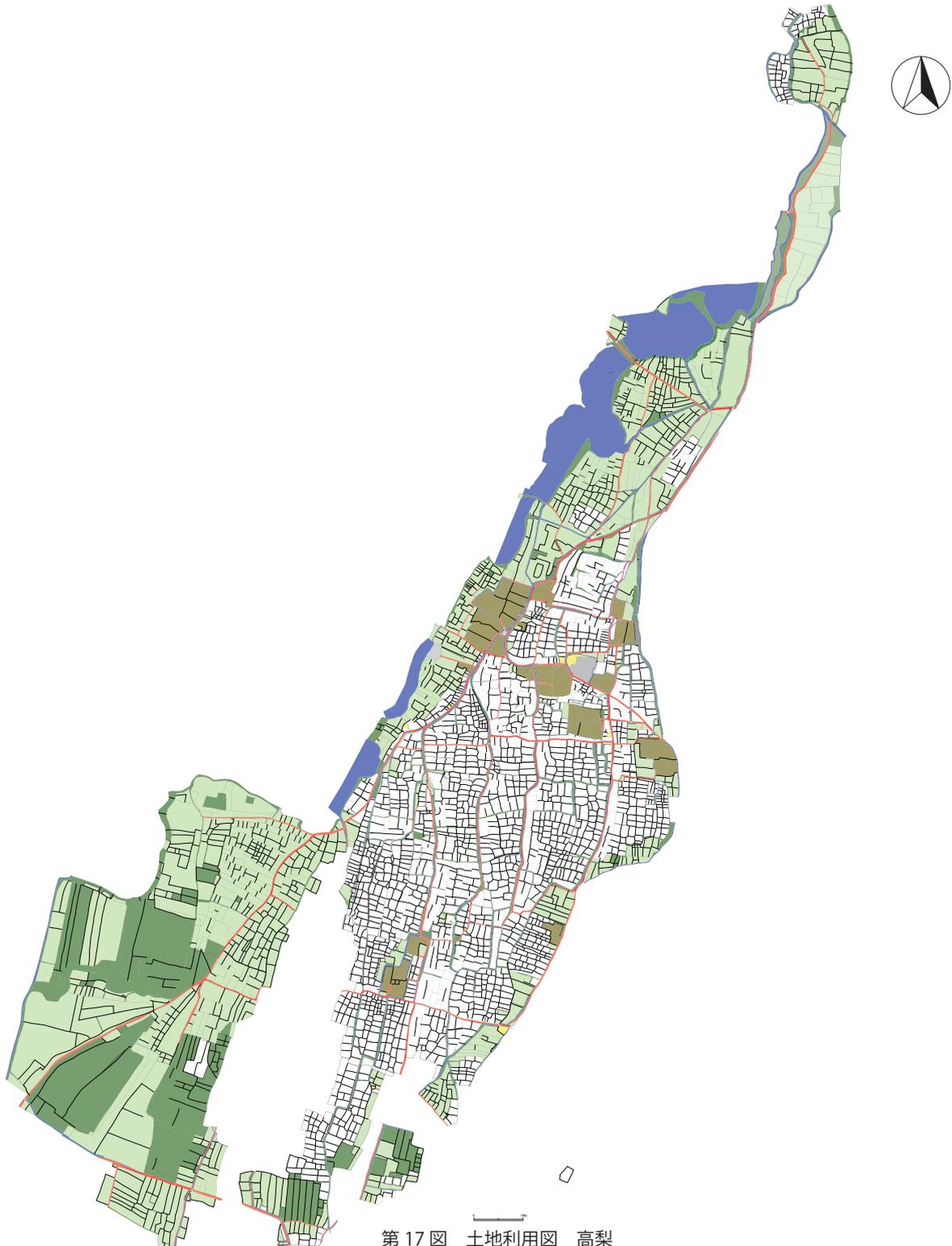
と残る小型の方形の草地や畑地は、古墳の可能性に注意しなければならない。また「上西原」には池や七堂伽藍を有する寺があったと伝わっており現在も南北に道を走ると地形に起伏がある。「阿弥陀前」の東辺を走る道が近世以前からの「宮内街道（小滝街道）」である。「百苺田」に統合された「割符屋」という字名は中世以降に遠隔地の金銭決済を行う業者（割符屋）に関連する市内唯一の地名である。



第 16 図 島貫の小字名

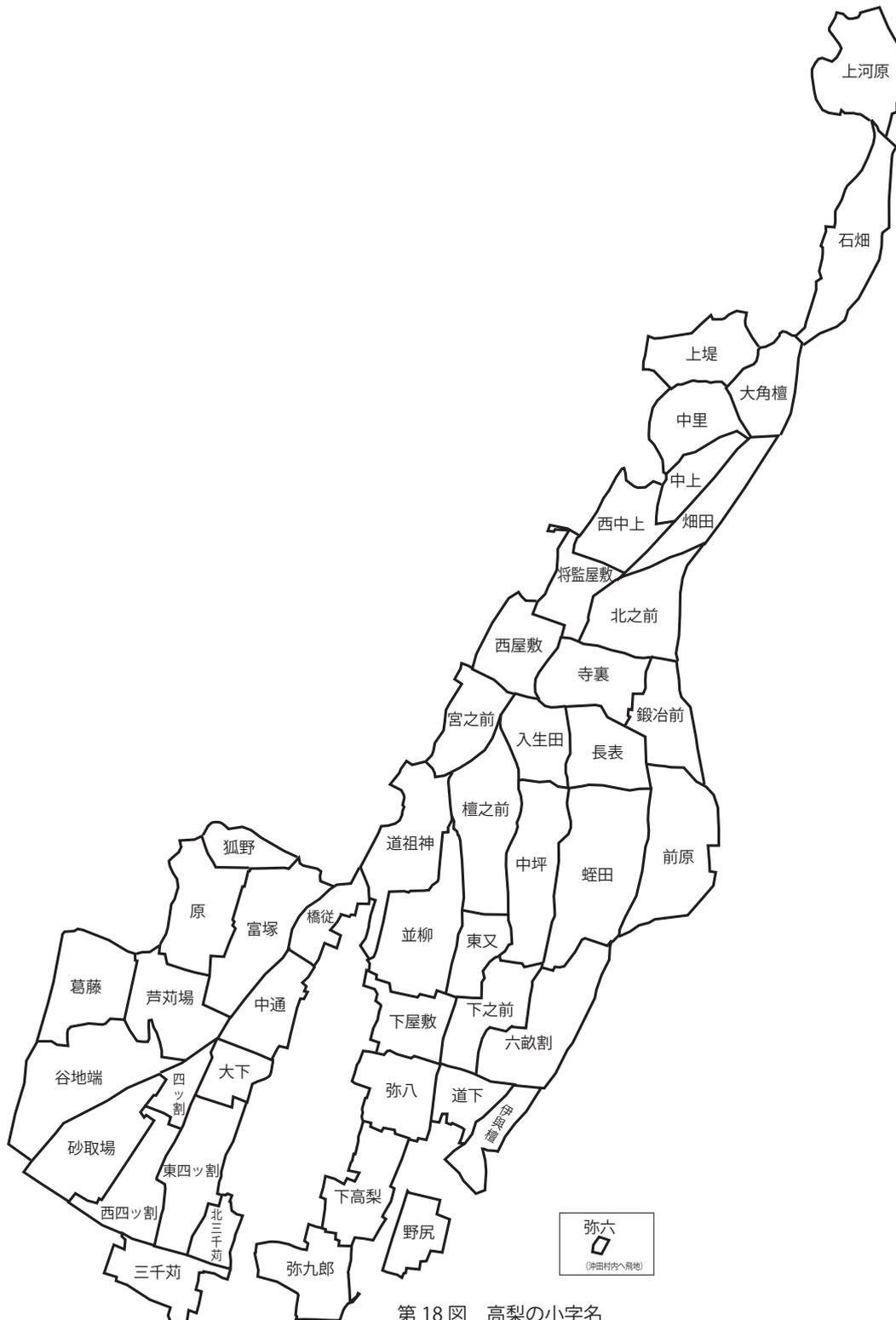
③高梨

高梨は、吉野川が丸堤付近で東西に振れるなどし、丸堤を扇頂とする小扇状地状の景観を呈する中にある。この地形には高梨、沖田、中ノ目、鍋田の四地区が含まれ高梨はそのうち最も西に位置している。旧吉野川の左岸の自然堤防と後背湿地から成る。地区名の由来は、小松新道より下高梨に分かれる所に字梨ノ木があった(字道祖神付近カ)が、そこに昔、梨の大木があったことに由来するという。「高成」の当て字で平地の中で高ま^{たかなり}っている所という可能性もある。中世城館跡の将監屋敷跡付近を中心に集落や屋敷が立地



第 17 図 土地利用図 高梨

し、「下屋敷」だけが離れて水田の中に立地する。高梨地区は南部で沖田地区を挟むように広がるが、沖田の西側に位置する所は開墾系の地割や地名が見られ、「砂取場」など洪水による土砂堆積地を思わせる地名もある。「中坪」「中里」は条里関連地名である。「入生田」は井料田（用水管理のため共同田）である。「葛藤」はクズ（浸水氾濫地）と芥（澁）で、隣地の「谷地端」と共に低地を示す。「弥六」「弥八」「弥九郎」は人名か。県立秋田図書館蔵の『沙弥某奉書写』（1337年）に「下高梨子村田中田在家」という在家があることが記されている。



第 18 図 高梨の小字名

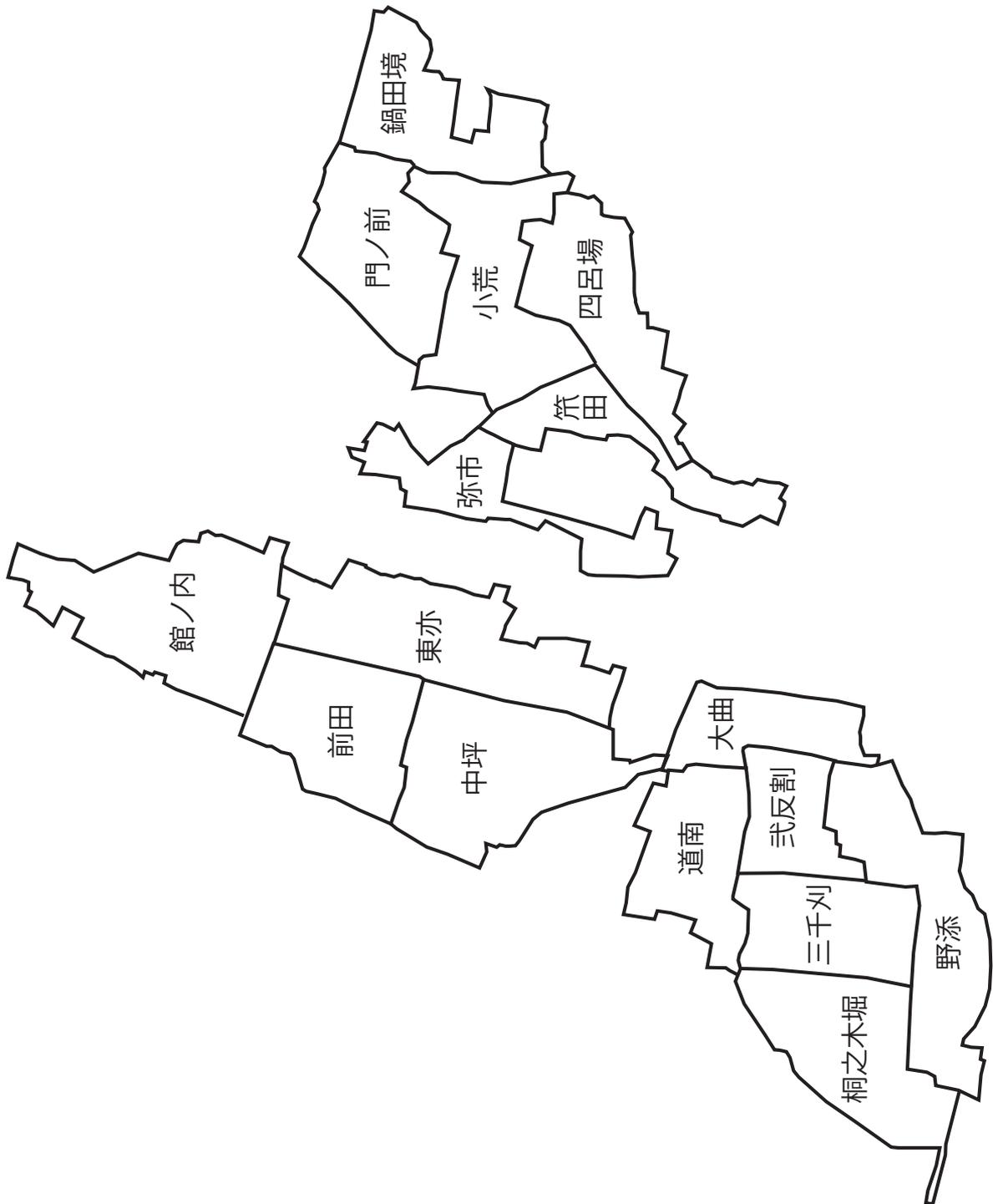
④沖田

沖田は、宮内扇状地の扇端に近く、旧吉野川の旧河道左岸に位置する。吉野川が丸堤付近で東西に振れるなどし、丸堤を扇頂とする小扇状地状の景観を呈する中にある。この地形には高梨、沖田、中ノ目、鍋田の四地区が含まれる。高梨村からの分村で周囲を高梨地区や宮崎地区に囲まれる。沖田村の独立は、正保年間とみられる絵図にはなく元禄年間の絵図には出ていることから、梨郷村が4カ村に分かれた寛文4年（1664）頃かと推測されている。地区の北よりには自然堤防上に築かれた沖田館跡（「館ノ内」）が



第19図 土地利用図 沖田

あり、その南側に水田が広がる。地区名の「沖」は沖積地で広い所を示す地名である。「大曲」は河川（地形）が曲がったところに見られ、「^{ざるた}笊田」のザルは崩れ易い土地に見られる地名で隣接する「^{こあら}小荒」とともに河川の影響を受けた荒地であったと思われる。同様に「四呂場」は砂が白く見える堆積地か。「中坪」は条里関連地名と考えられている。「門ノ前」は鍋田の字裏門の南側にあたり、屋敷に関連した地名と思われる。



第20図 沖田の小字名

⑤宮崎

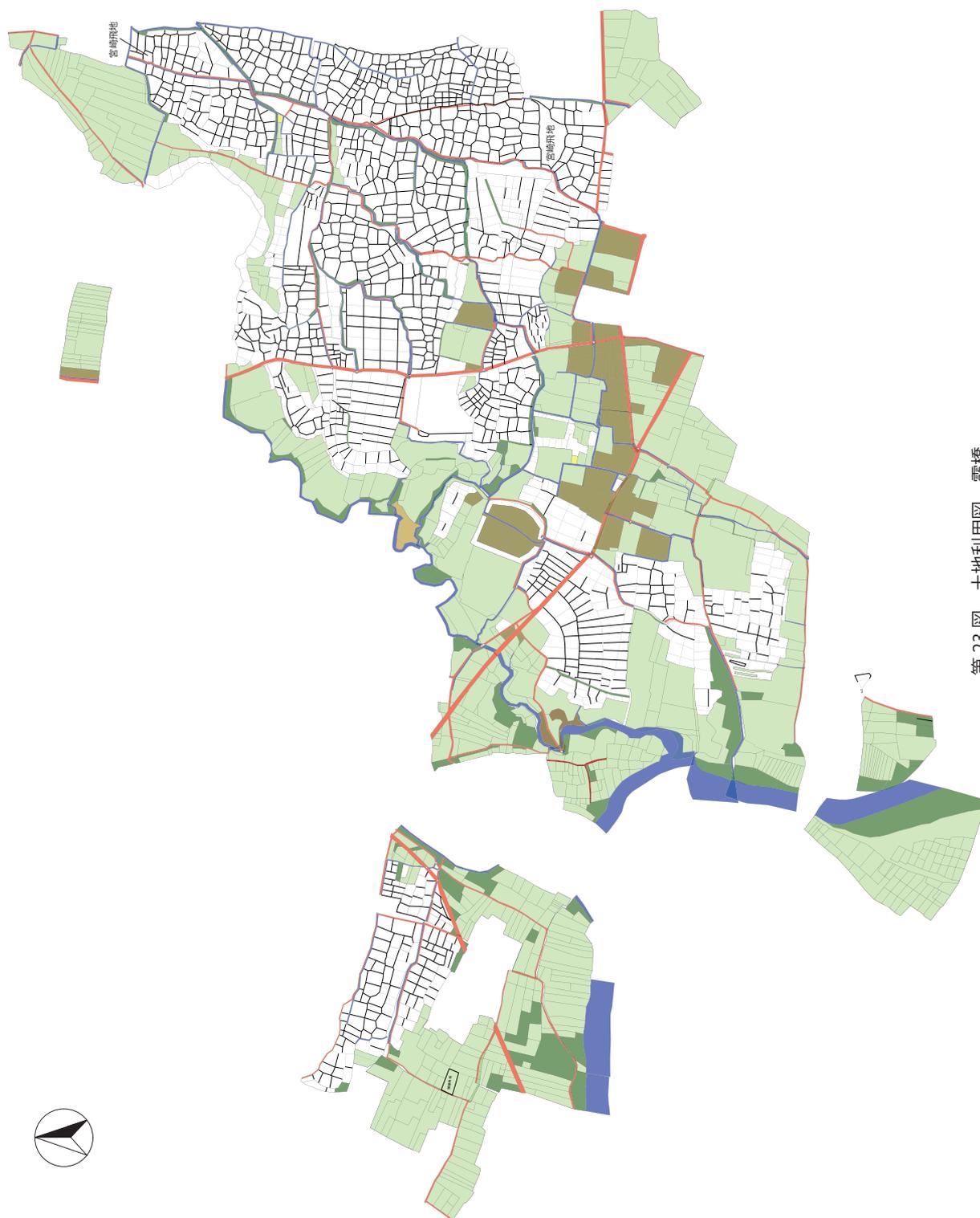
宮崎は、宮内扇状地の扇端に位置し、旧吉野川が最上川に合流する地点にあたる。地区の南辺は最上川の蛇行、短絡による地形の乱れが大きい。同様に北東から流れ込む旧吉野川旧河道が地区内を蛇行し、その跡に蓮池等の堤が残っていた。元和年間に安部綱吉親子が開墾し、寛永4年(1627)に町割りを行い、寛永8年(1631)に宮内熊野神社の先端にあたる地として宮崎と名付けたという。蓮池の西に宮崎館跡(字町屋敷1)があり米沢藩主が鷹狩りの際に利用したという。「館ヶ崎」の城館地名が残るが近世町割



第 21 図 土地利用図 宮崎

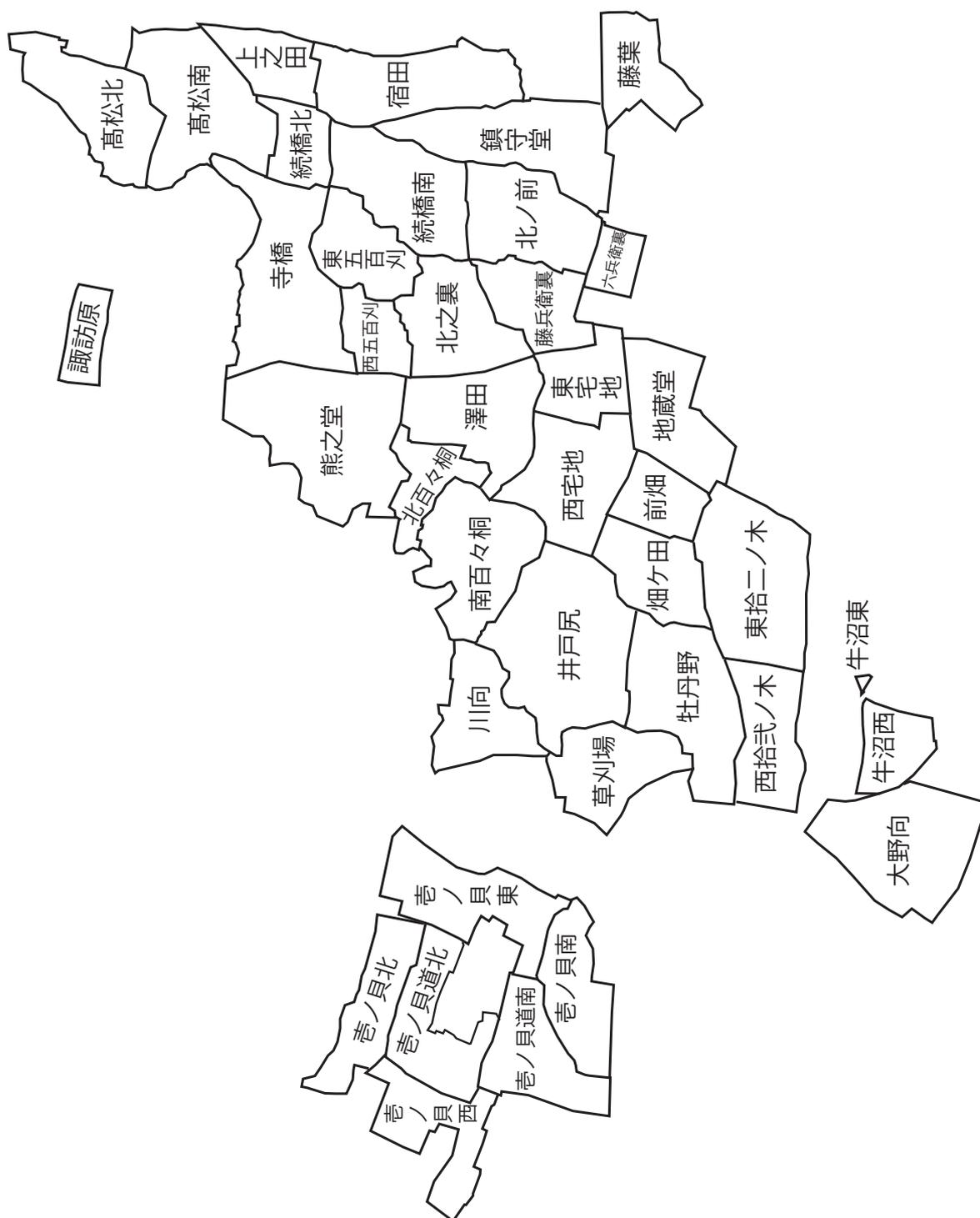
⑥露橋

関根は、宮内扇状地の扇端、上無川の左岸に位置する。関根の枝村で元禄時代に分かれたと伝わる。地区名はかつて樹木が至る所に繁茂し、上無川（高松川）の岸辺が昼なお暗く、橋の上の露も乾かない様子に由来するという。上無川が最上川に合流する地点にあたり、旧吉野川の旧河道も接近する水の集まる地域である。近世館跡や集落が自然堤防上に立地し、最上川付近には開墾地の畑や草地が見られる。地区の北東角には、関根・坂井・法師柳を一つとして高松郷と称した名残と見られる小字名「高松北・南」が



第23図 土地利用図 露橋

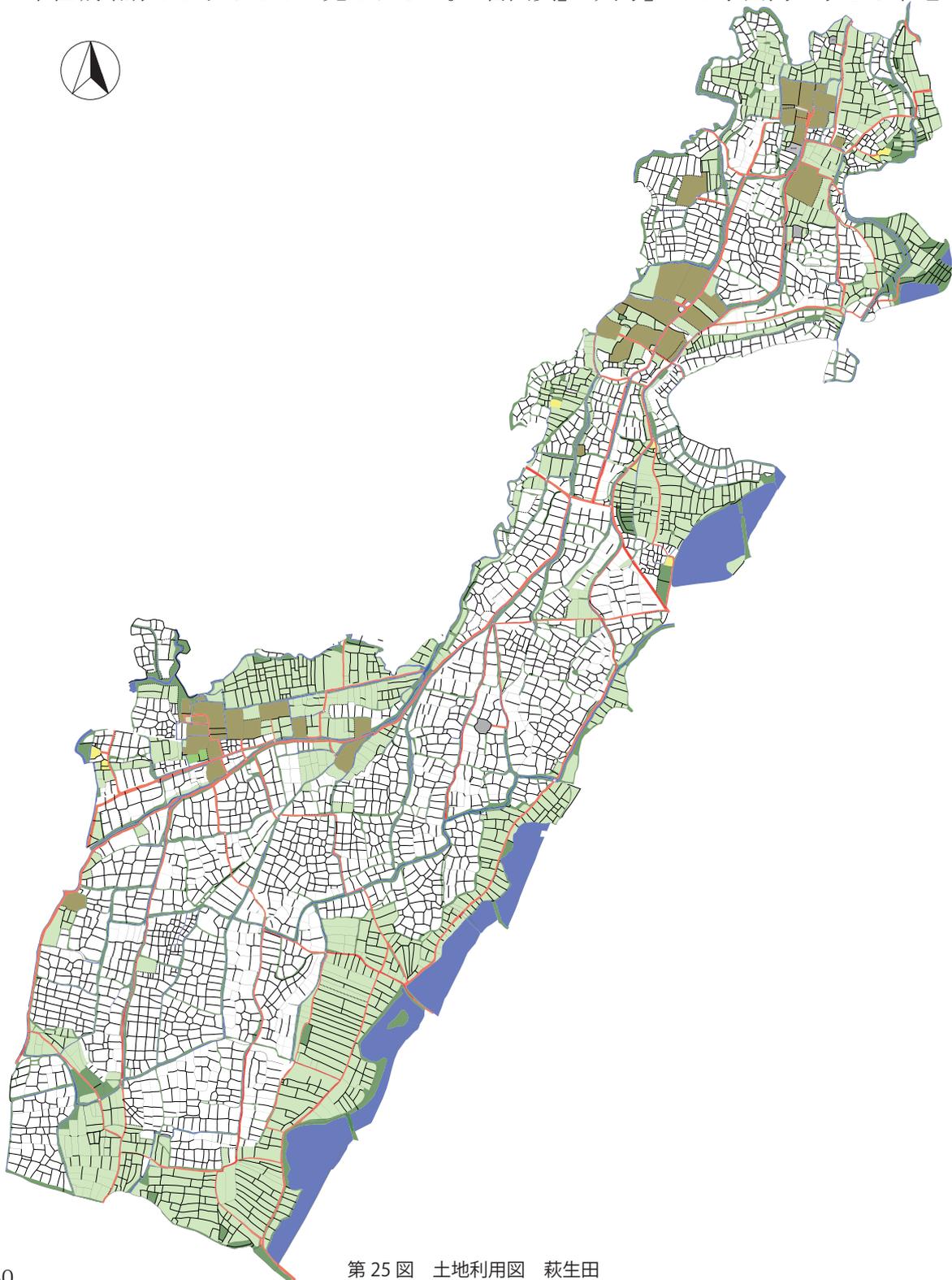
残る。水や開墾地に関する地名が多く、地割の乱れは河川の影響をうかがわせる。「貝」の地名は「開」で開墾地を示すと思われる。「牛沼」「牛沼東」「井戸尻」「牡丹野（枚:湿地)」「川向」「百々桐（トド 枚:水の音)」「澤田」「藤葉（淵端カ)」「宿田（シク:川岸）」は河川やその氾濫域、低地に関する地名である。「熊之堂」には寺があったと言われ「寺橋」が隣接する。「藤兵衛裏」「六兵衛裏」は人名と思われる。



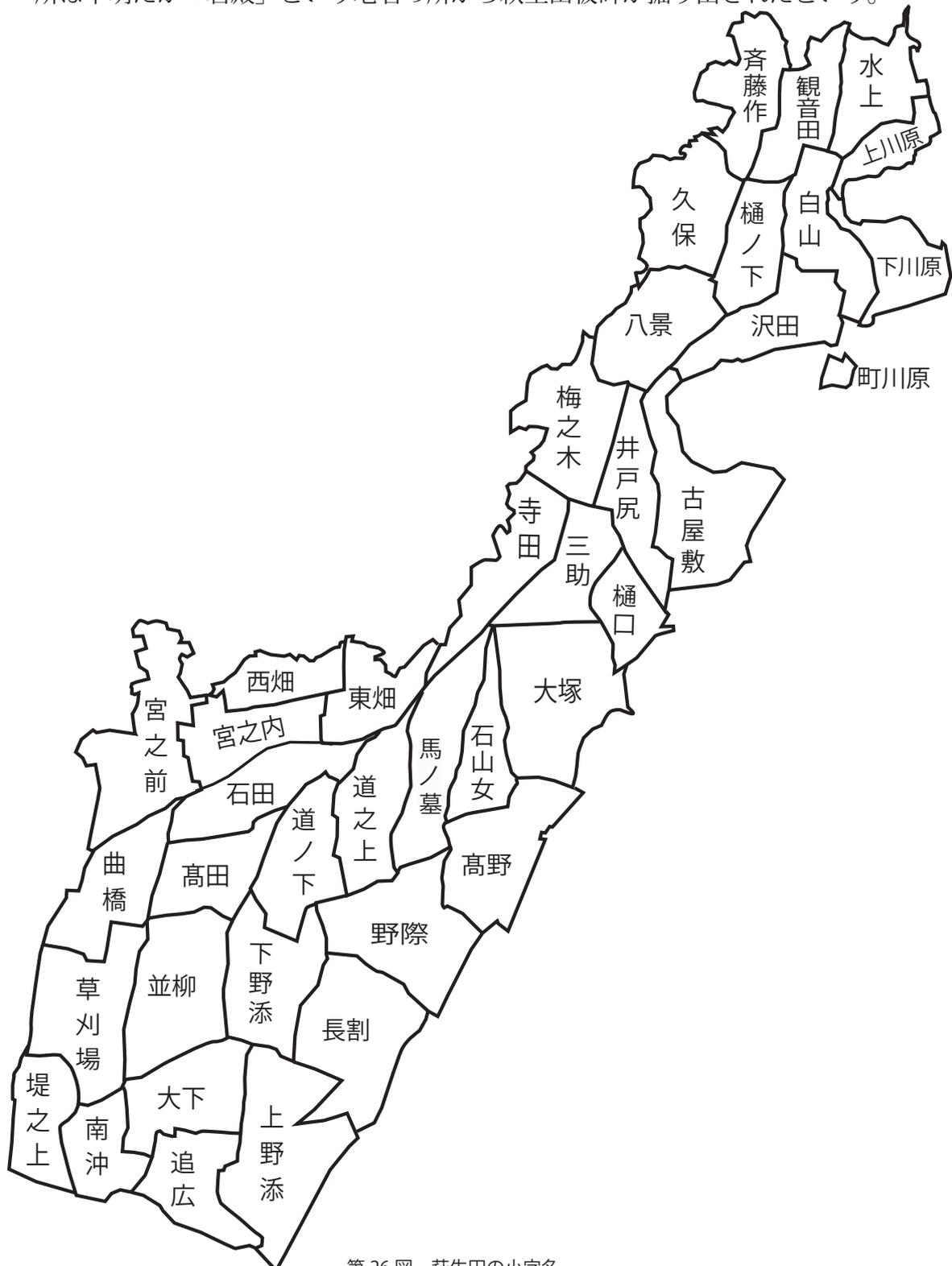
第 24 図 露橋の小字名

⑦萩生田

地区名の由来は定かでないが、ハギ（河川の屈曲部で水流が当たる崖地）とウダ（河川の氾濫した時代に川原の砂地であった場所）の合成地名と思われる。吉野川旧河道右岸の自然堤防と後背湿地から成る。地区西辺は吉野川派流の川跡が境となっている。地区北部は旧吉野川が大きく蛇行を繰り返したと見られ複雑な地形になっている。南部では比較的安定した低地に水田が営まれている。集落地は概ね3ヶ所に分かれているが、中世城館跡のようなものは見られない。「石山女」^{いしあきび}「大塚」には水田内に小さな草地や神



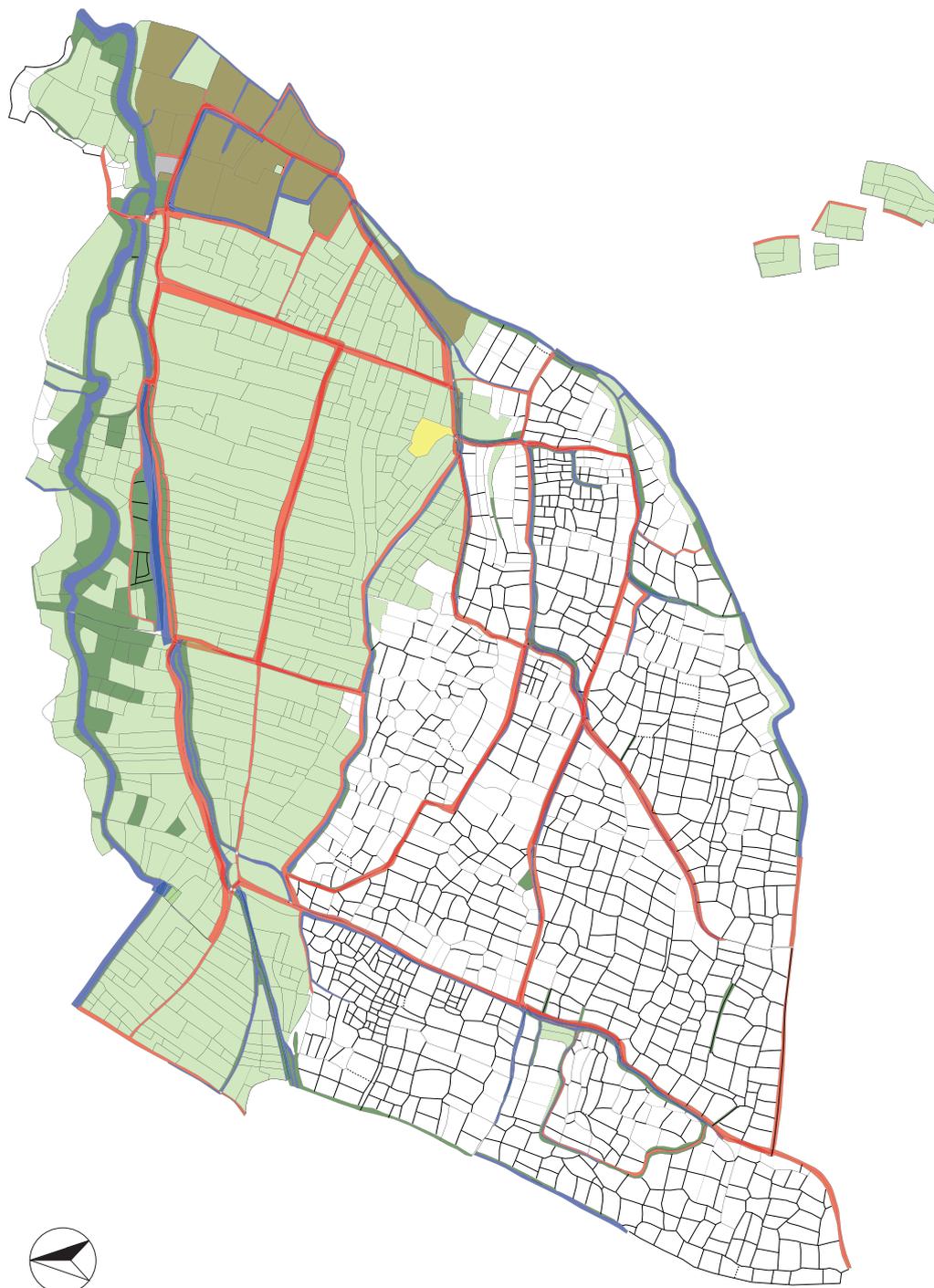
社が残っており、後三年の役の戦死者の墓と伝わるがこれらは古墳群の名残と考えられる。「馬ノ墓」も古墳関連地名か。「水上」「上・下川原」「沢田」「井戸尻」「樋口」と河川関連地名が並ぶ。”梅”は洪水で埋まった土地を示す地名である。「高野」「野際」「長割」「上・下野添」は開拓関連の地名である。「白山」は白山神社に由来する。天正13年(1585)北条段銭帳の「とひの口在家」は「樋口」付近にあったと思われ、同古文書の「中さと(中里) 在家」は地名が残っていないが「古屋敷」の東が高梨地区「中里」である。また場所不明だが「君殿」という地名の所から萩生田板碑が掘り出されたという。



第 26 図 萩生田の小字名

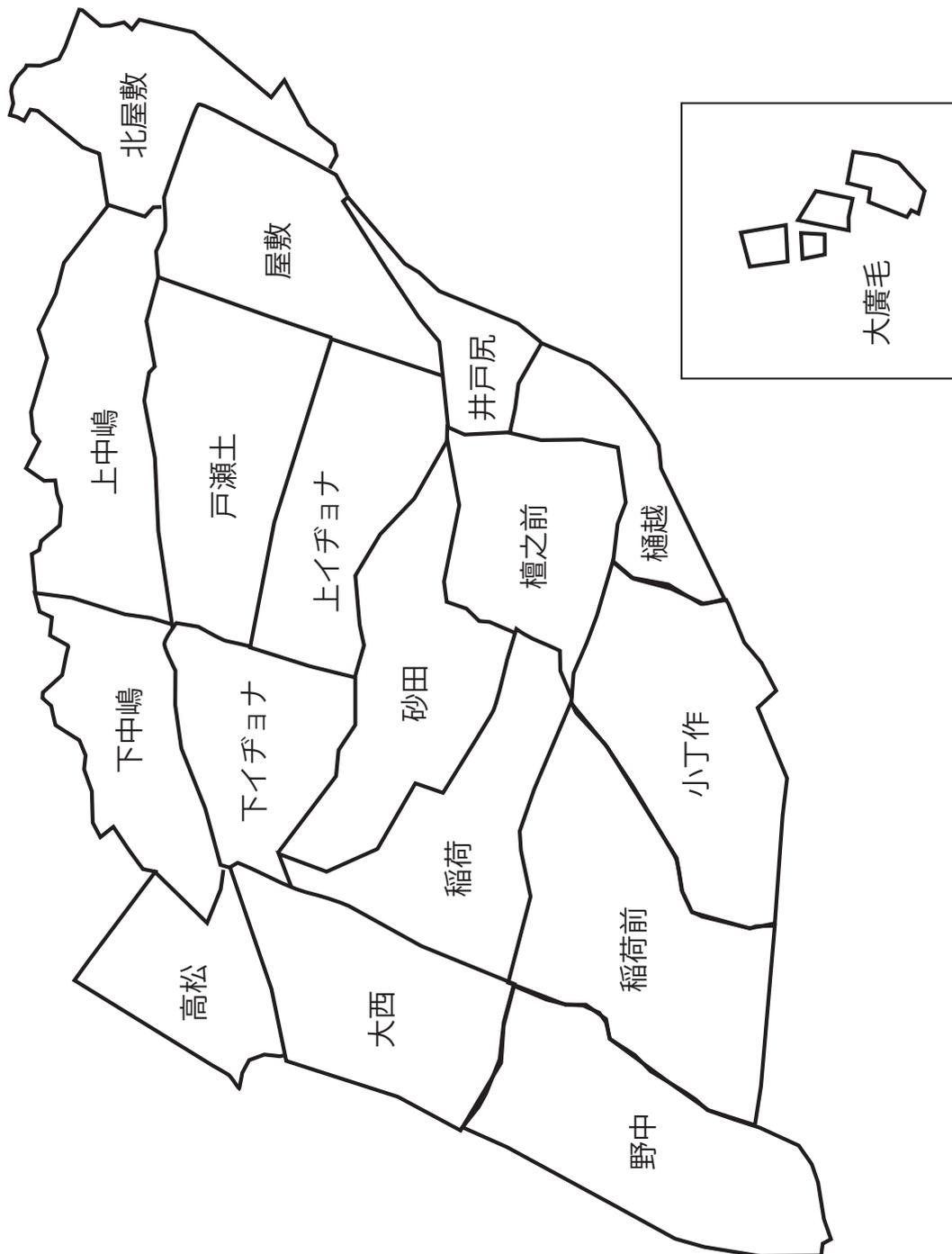
⑧坂井

坂井は、上無川（高松川）の左岸に位置し、集落は発達した自然堤防上の東にまとまっている（「屋敷」「北屋敷」）。坂井は昔、高松郷の一つで、高松郷は関根・坂井・法師柳からなっていた。地区北西の地名に「高松」が残る。坂井の地区名は、寺の和尚が酒の香りのする水を参拝者にふるまったことから「酒井」と称した伝承に由来するという。上無川（高松川）は地区の北辺を西流し、地区の北半に中洲（「上・下中嶋」）や自然堤防を形成している。自然堤防上の畑地は開拓地に多く見られる長割りになっており、「上・



第27図 土地利用図 坂井

下イヂヨナ」「戸瀬土」の地名の由来は不明。条里制との関連からはイヂヨナは「2条7里」等の脱字といった可能性もあろうか。「井戸尻」や「砂田」は低地や砂地の湿地を示す。「稲荷」「稲荷前」は神社、「檀之前」は墓地こうじょうづくりに由来する。「小丁作」は位置的に旧吉野川の旧河道が蛇行する地点のすぐ北側にあたるため、川岸より上の土地の意味で”江上作り”の当て字ではないかとも思われる。



第 28 図 坂井の小字名

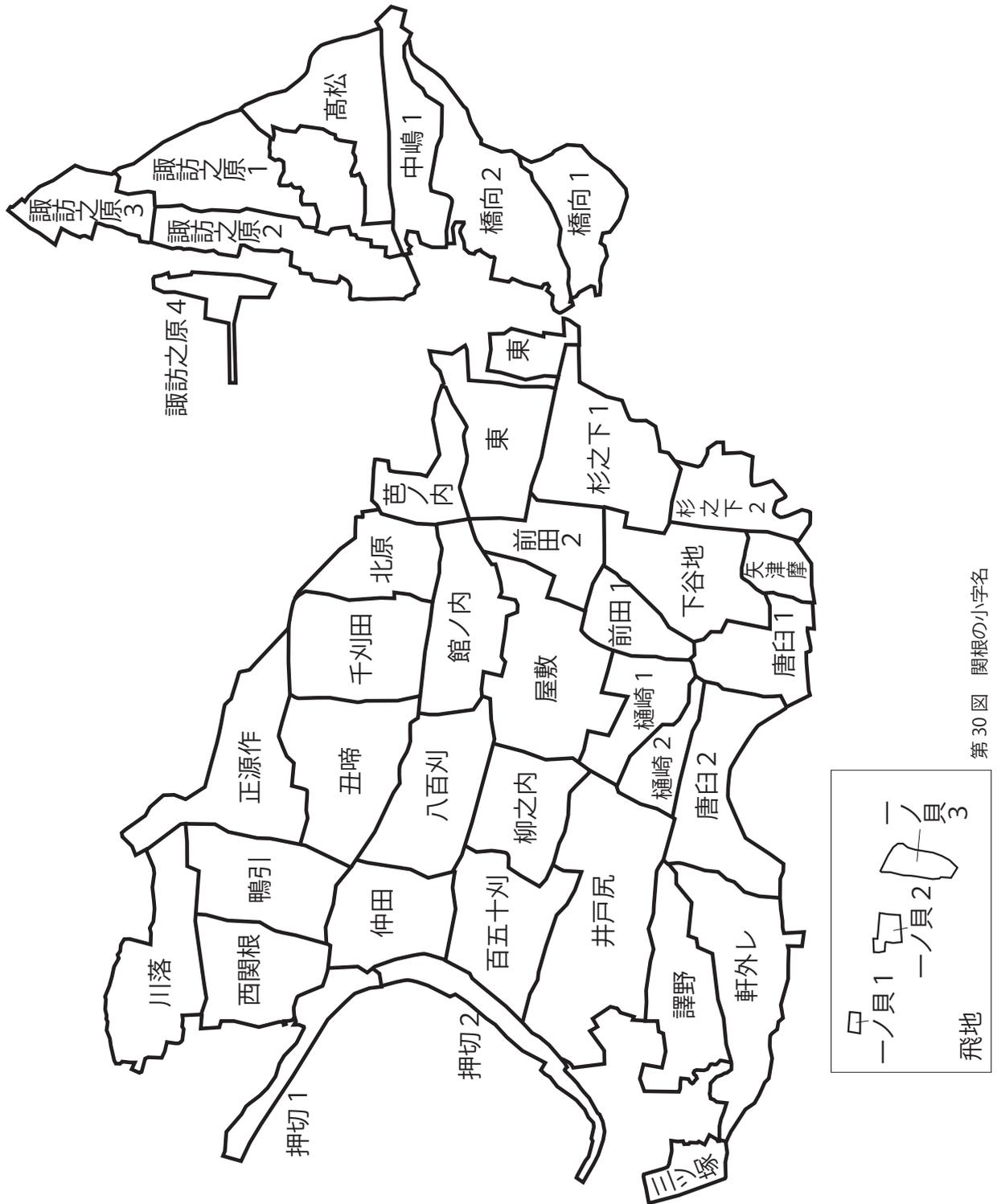
⑨ 関根

関根は、宮内扇状地の扇端に位置し、上無川（高松川）の右岸にあたり、地区の東辺から南辺を上無川が南西流する。集落はその自然堤防上に立地する。「館ノ内」「屋敷」に輪郭式の関根館跡、その南側には根小屋集落が広がる。地区の南西部は最上川の旧河道となっている。関根は、かつて関根・坂井・法師柳と併せ高松郷とされた時代があり、地区名は高松堰の堰元が関根と呼ばれるようになったことに由来するという。地区の東端には「高松」の地名が残る。地区の縁辺は洪水被害が多かったとみられ、「押切（洪



第29図 土地利用図 関根

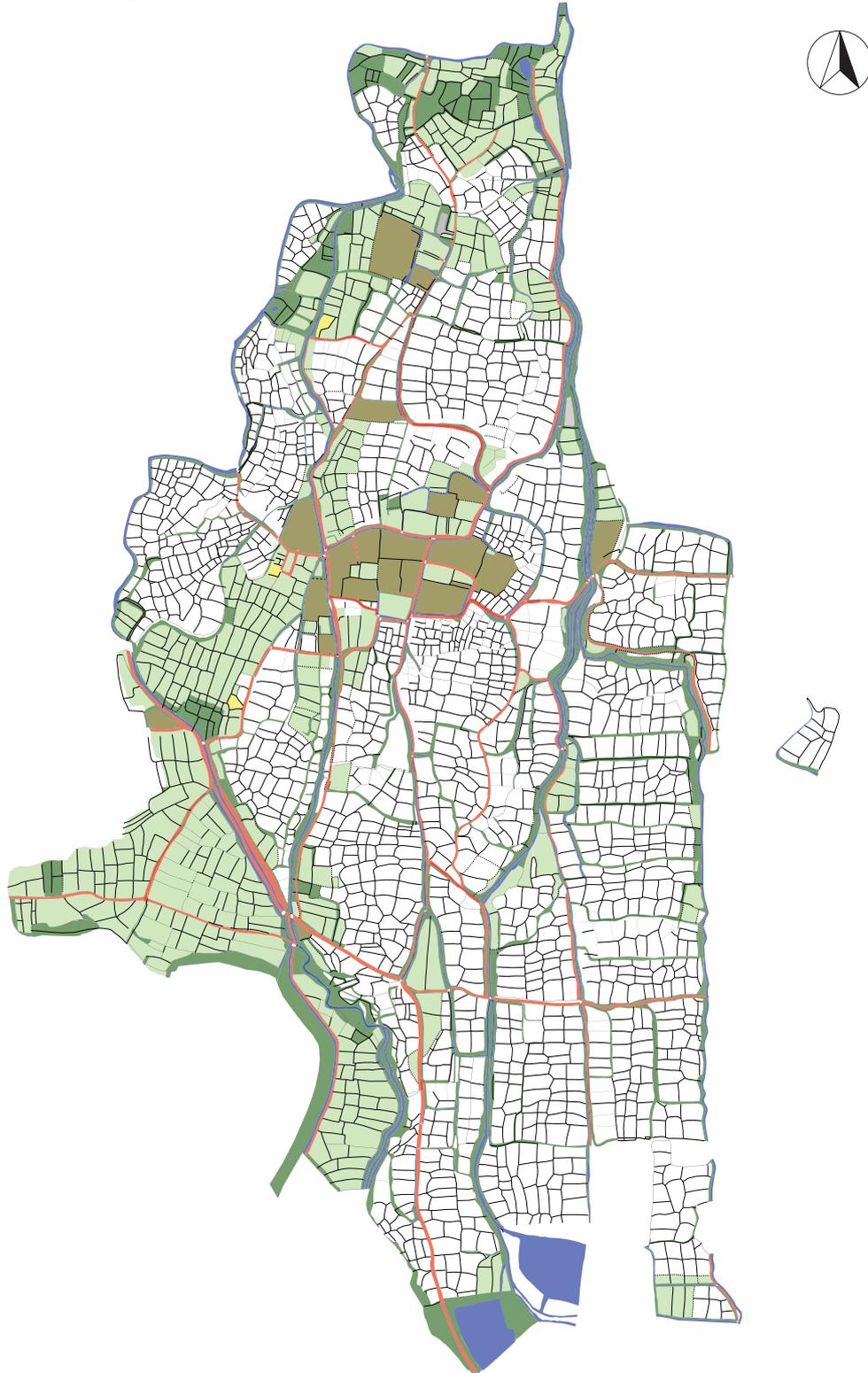
水で押し切られた地)、「軒外れ (堤防決壊地)」がある。「唐臼」は涸れ洲、^{やし}「矢津摩」はヤ間 (砂礫堆積地) や谷地間 (湿地) とされる。「丑」や「鴨」も洪水氾濫地や湿地を示す地名である。天文 22 年 (1553) 伊達晴宗公采地下賜録の「すき下在家」は「杉之下」付近に、「にしせきね在け」は「西関根」付近にあったと思われる。同古文書にはこの他に「田中在家」「川端在家」「北山在家」「きやうき在家」「まこ平在家」の在家が記されている。



第 30 図 関根の小字名

⑩若狭郷屋

吉野川旧河道の左岸に位置する。川跡で地下は砂利地が多く、清水が所々に湧いていたと言い、言い伝えでは若狭の国から人が移り住んだのが地区名の由来という。湧沢(ワクサ：湧水地)と荒野(コウヤ：近世開拓地名)の合成地名とも考えられる。地区の西辺は吉野川旧河道の蛇行が見られ、その東に自然堤防が形成されている。中心地は「中屋敷」と「内ノ方」の屋敷で、内ノ方は県中世城館遺跡調査では若狭郷屋館跡となっている。方形の地割や直角に曲がる水路等は条里制の影響が考えられる。また、郡衙の附



属施設である厨くりやに関連する可能性が指摘される厨川堰の流域となっている。「浦城」「中屋敷」「的場」は屋敷や館の関連地名とされる。「内ノ方」付近には天正13年(1585)北条段銭帳の「打方在家」があったと思われ、この他「たうきん在家」「かしはは在家」の在家が記されているが位置は不明。「扇田」は扇状の土砂堆積地、「石田」は石堆積地でいずれも河川に関連した地名である。「宮田」は神社のための免租地と思われる。

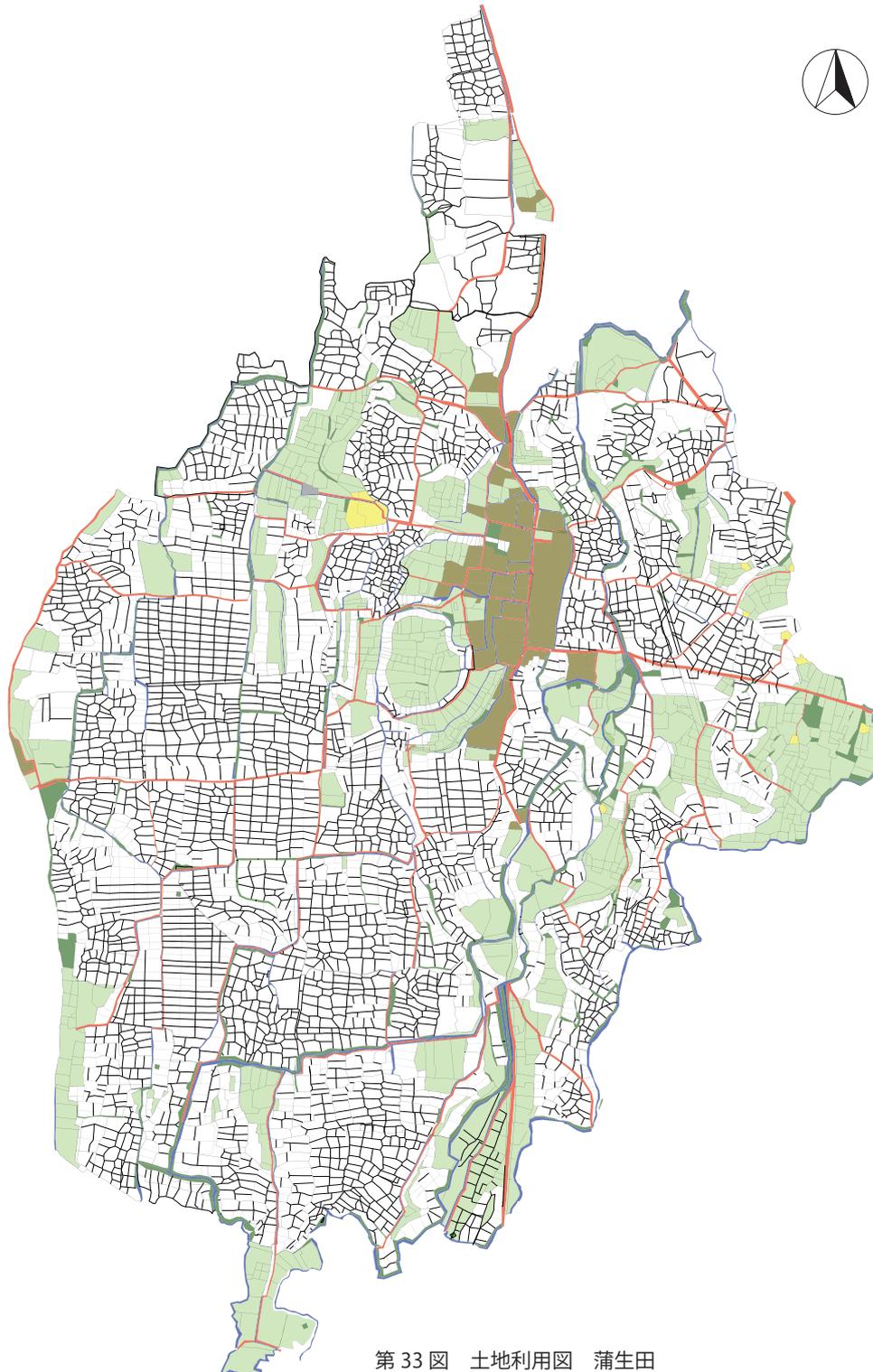


第 32 図 若狭郷屋の小字名

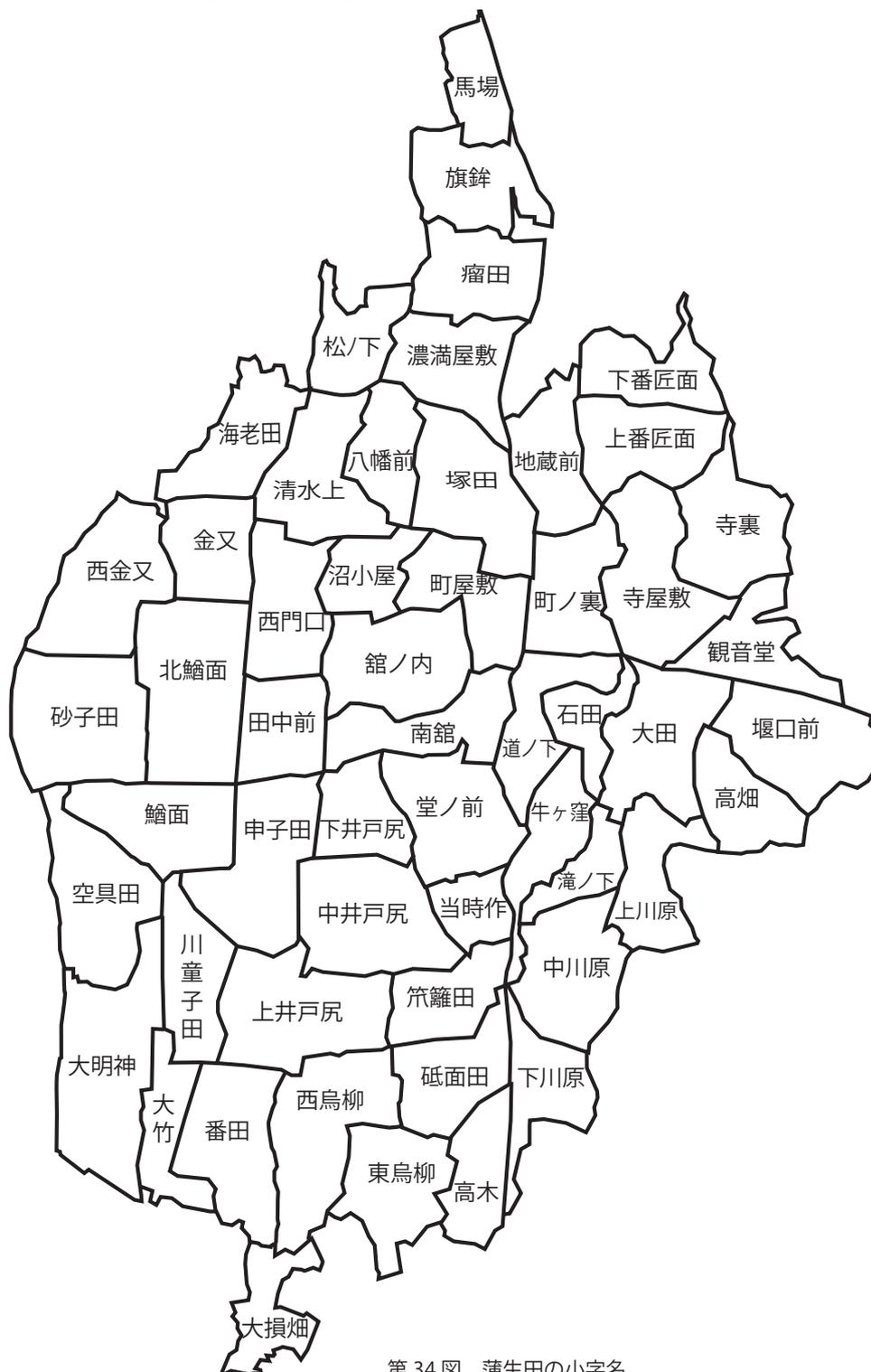
⑪蒲生田

かもうだ

蒲生田は旧吉野川旧河道の右岸に位置し、宮内の東を流れる吉野川の網状流路状の氾濫域が一つの河道にまとまり始める土地である。元は宮内新田と言う。明治21年(1888)町村制発布の際に上野地区が赤湯町に編入された。集落は自然堤防上に立地し、蒲生田館跡の主郭東側に集中している。蒲生田館は^{ちかつぐ}大永2年(1522)に蒲生賞積が移り住み、享禄2年(1529)に賞積の子の賞範が宮内新田を蒲生田と改めたという。カモ(湿地地名)とウダ(湿田、腐植土の水の溜まった所)の可能性もある。蒲生田館跡の西に広がる水田の方形地割は、条里制の根拠の一つに挙げられている。「館ノ内」を中心に城下町状



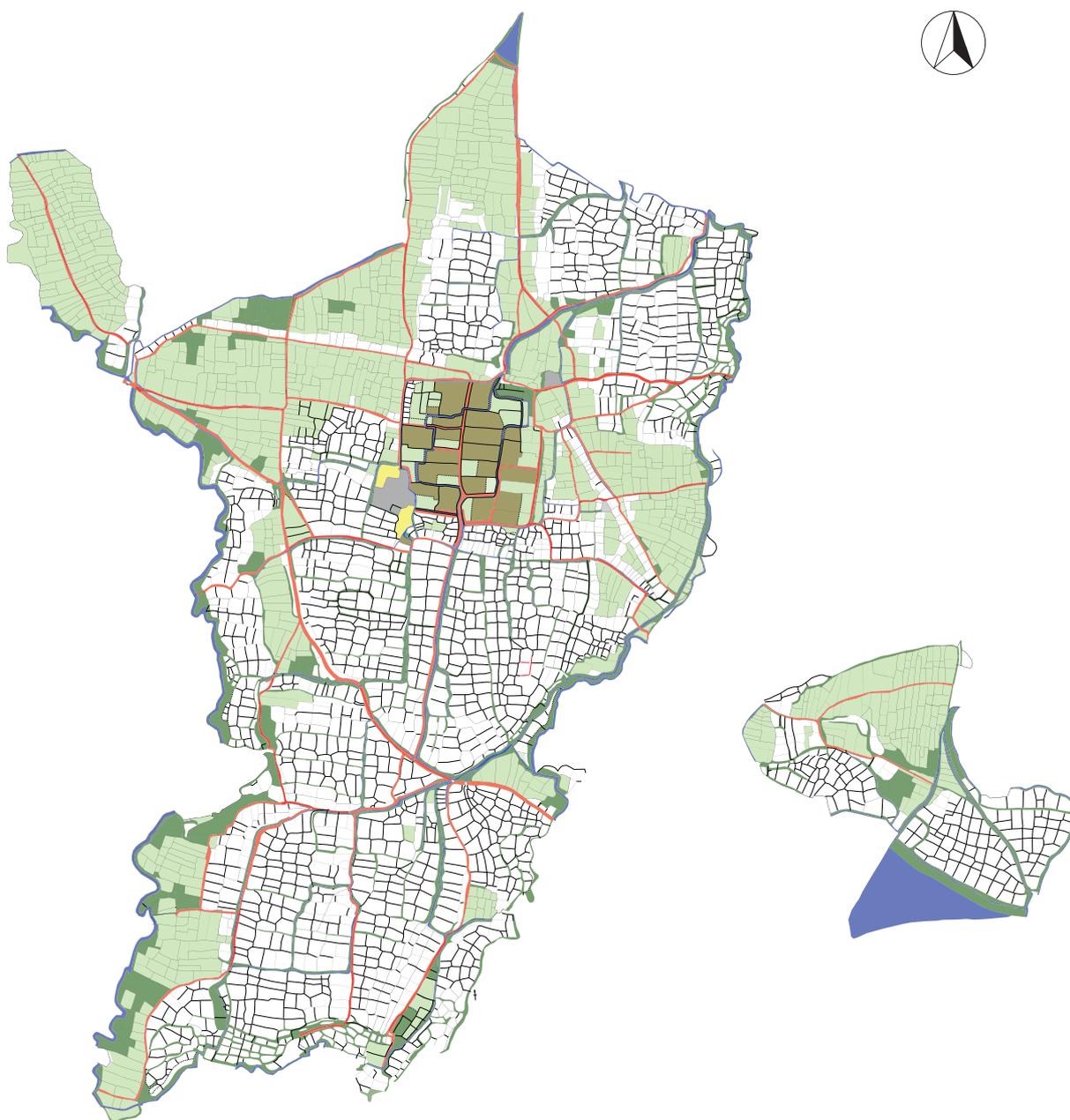
の集落を形成していたとみられ、関連地名が多く残る。また平地にも関わらず高低差のある土地が多かったとみられ「牛ヶ窪」「滝ノ下」「砥面田(トツラ:谷川の岸)」「川童子田(カッパ°:小川の深みや滝のような落差のある所)」「大竹(滝)」があり館の要害性を高めていた。この牛ヶ窪・砥面田を流れた派流は南流し中落合地区の東端を流れた。「寺屋敷」は明応9年(1500)に上野山居沢から盛興院が移った所で寺はその後再び上野に戻った。「空具田」は寺社用の免租地を示す供具田であろう。「塚田」では発掘調査で方形周溝(墓カ)群が確認されている。「清水上」には法相宗の庵があったと伝わる。天正13年(1585)北条段銭帳「馬場の在家」は「馬場」付近にあったと思われる。



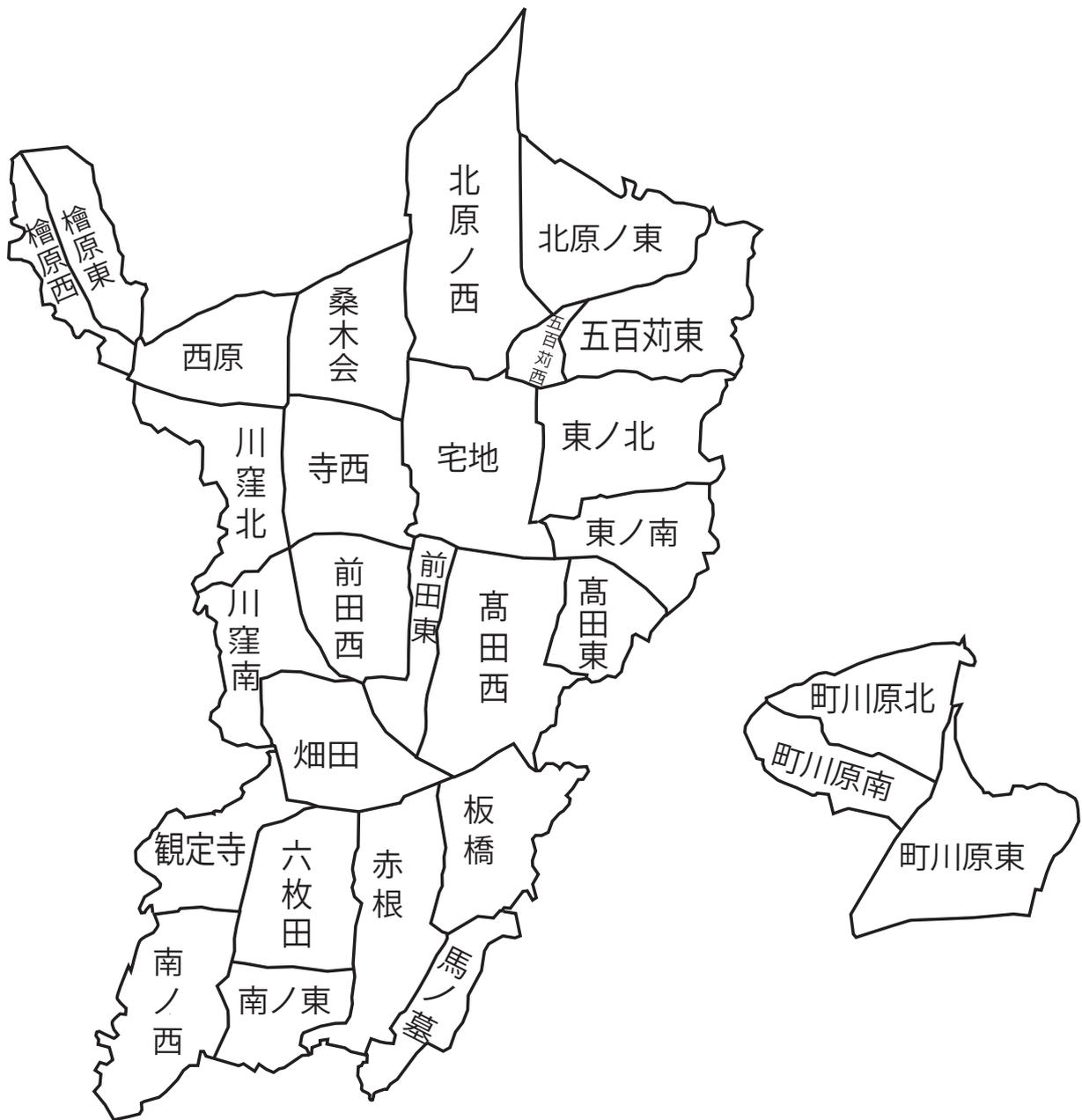
第34図 蒲生田の小字名

⑫中落合

中落合は宮内扇状地の扇中央に位置する。西は上無川（高松川）、東は旧吉野川に挟まれる。地区東～南境は旧吉野川の派流跡で、かつて上無川と地区の南方で合流していたと伝わる。河川に囲まれ、河川の合流地点を示す地名である落合の名が示すと通りの地形である。地区の中央には中落合館が立地し、天正年間に落合堂伊賀守好盛が館を築いたとされる。館は輪郭式の方形館である。館の北と東には長大な運河跡が見られるが近世に開削や使用されたという記録はなくその開削年代等は不明である。東側の運河の到達地点（東端）付近は旧吉野川派流と交差し、さらにその東で旧吉野川の河道が大きく蛇行し屈曲する舟の係留地に適した土地（萩生田字八景）に接続する。その川向いの土



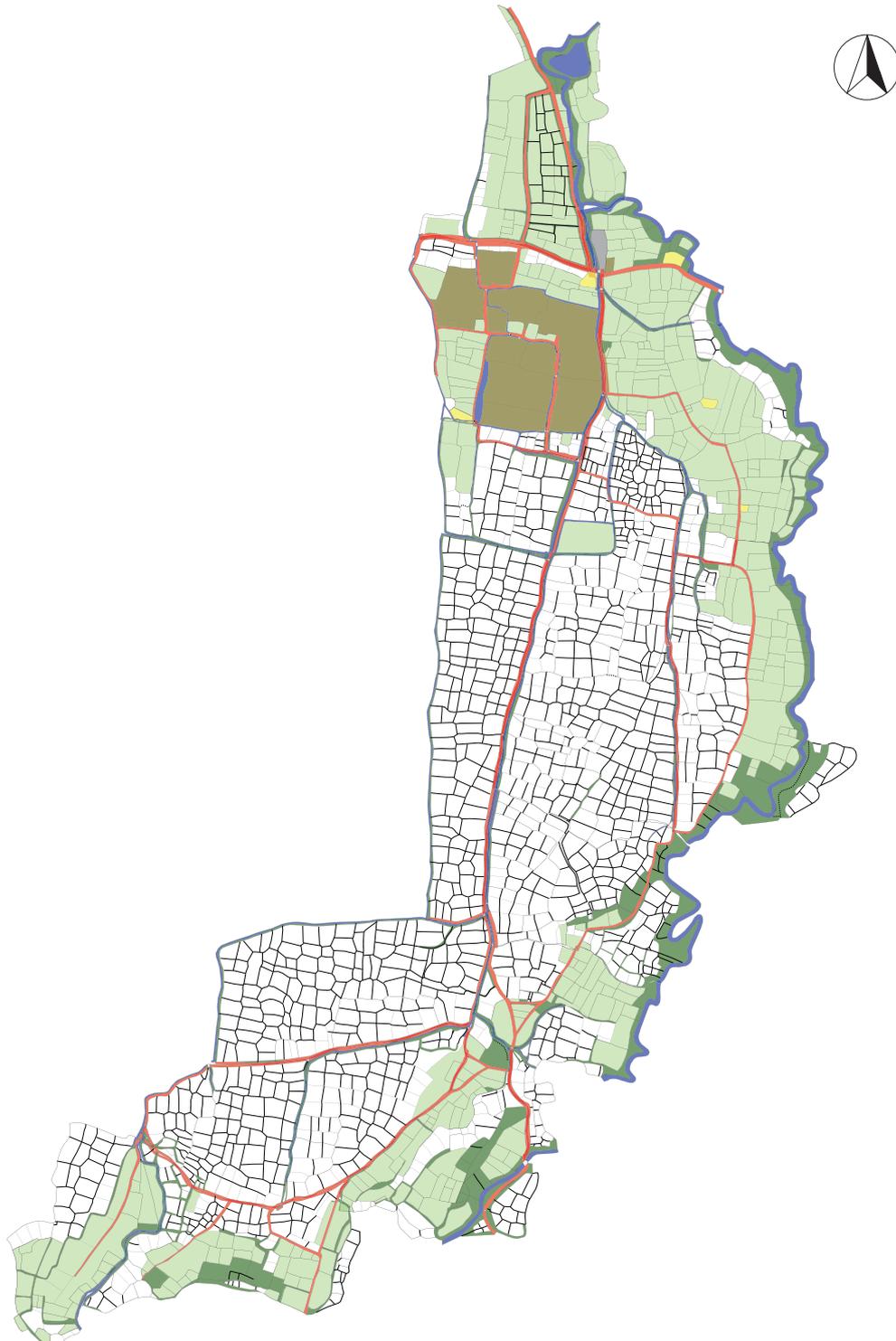
地が中落合の飛び地になっていることから重要な運河だったと思われる。館跡は中落合遺跡の範囲と重複しているが、中落合遺跡は古代の郡衙関連遺跡と考えられる重要遺跡である。遺跡内からは布目瓦が表採されおり、慈眼寺の南西、高規格道路に伴って実施された発掘調査では^{いによ}圍繞された建物群が検出されている。また、「厨川堰」の流域^{くりやがわせき}になっていることや、「桑木会」の桑木がコナ(郡家)の転化もありうることに注意が必要である。運河の存在も含め中落合地区は郡衙関連地として注意しなければならない。館跡付近の小字名は「宅地」でその周囲には館から見た方位や位置を冠する地名が多く見られる。「寺西」の慈眼寺は、昔は東南の寺屋敷という所にあったが火災で移転したという。地区内には「観定寺」という小字名も見られる。



第 36 図 中落合の小字名

⑬西落合

西落合は上無川（高松川）の右岸に位置する。川沿いに自然堤防が見られ、その西に後背湿地が広がる。地区の中心は小字名「屋敷」の集落地で、中落合と同様に方形の地割を意識しているようである。地区の東辺を成す上無川は何度か流路を変えたとみられ自然堤防の中に旧河道の痕跡が見られる。地区の南西角には、関根・坂井・法師柳を一つとして高松郷と称した名残と見られる小字名「高松」が残る。「屋敷」の周辺には集



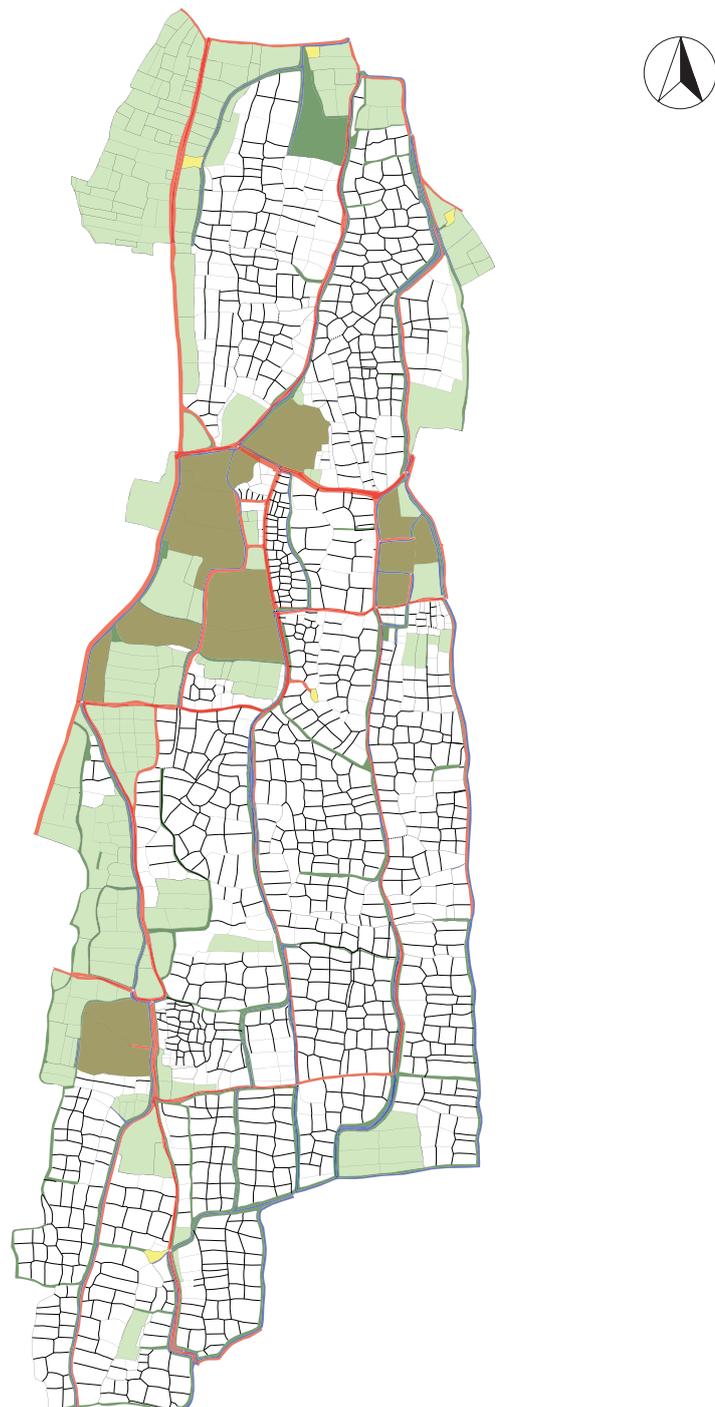
落から見た方位を冠する地名が見られる。「中之坪」は条里関連地名とされる。水田面積を示す地名（苜等）や、水音が響く場所を表す「土目木」、川の中州を表す「中墓（台）」等の地名が見られる。天正13年(1585)北条段銭帳では、西落合に「はらひた在家（蕨田在家）」と「あんへい在家」があったとされるが、その位置は「屋敷」に含まれているのか、小字名からは判断できない。



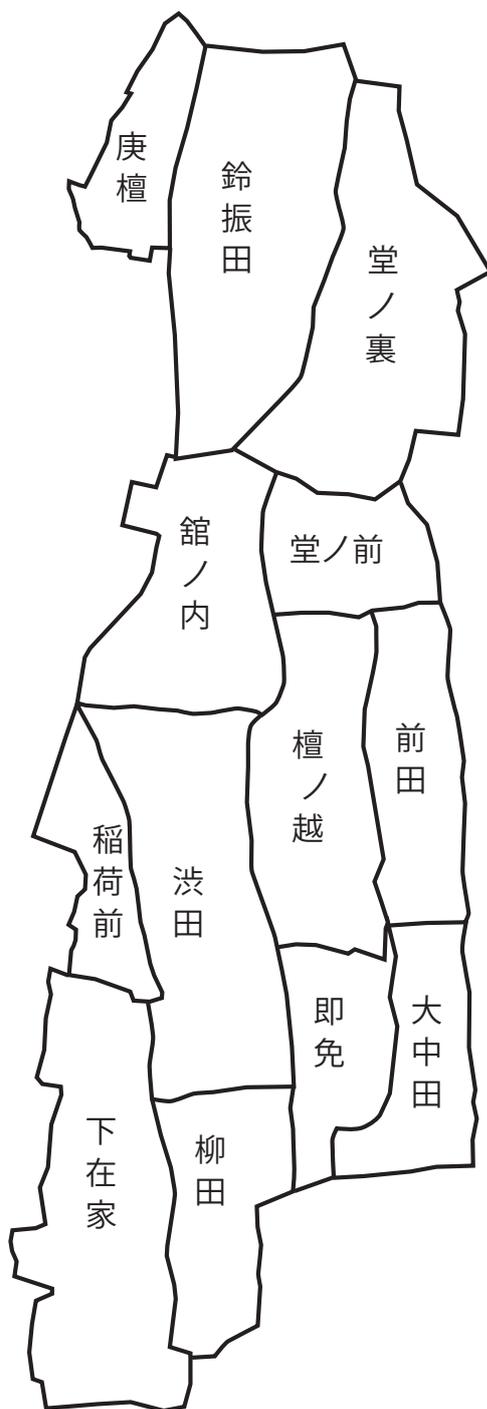
第38図 西落合の小字名

⑭長瀬

長瀬は宮内扇状地の扇央付近に位置し、^{おりはたがわ}織機川（境川）と上無川（高松川）の間に位置する。自然堤防上に集落が立地し、その中の「館ノ内」は県中世城館遺跡調査の中で長瀬館跡として報告されている。屋敷から見た位置を冠する地名は「前田」のみである。歴史的な地名として「庚檀」「鈴振田」「稻荷前」「下在家」がある。「庚檀」は庚申塔に由来すると思われる。「鈴振田」は何らかの神事に関するものか。「即免」は免租地であろう。「渋田」は水質や土壌に関連する地名か。「柳田」は植物の柳に由来することもあるが、細長い柳葉のような地形をさす場合もある。「庚檀」や「檀ノ越」の檀は近世



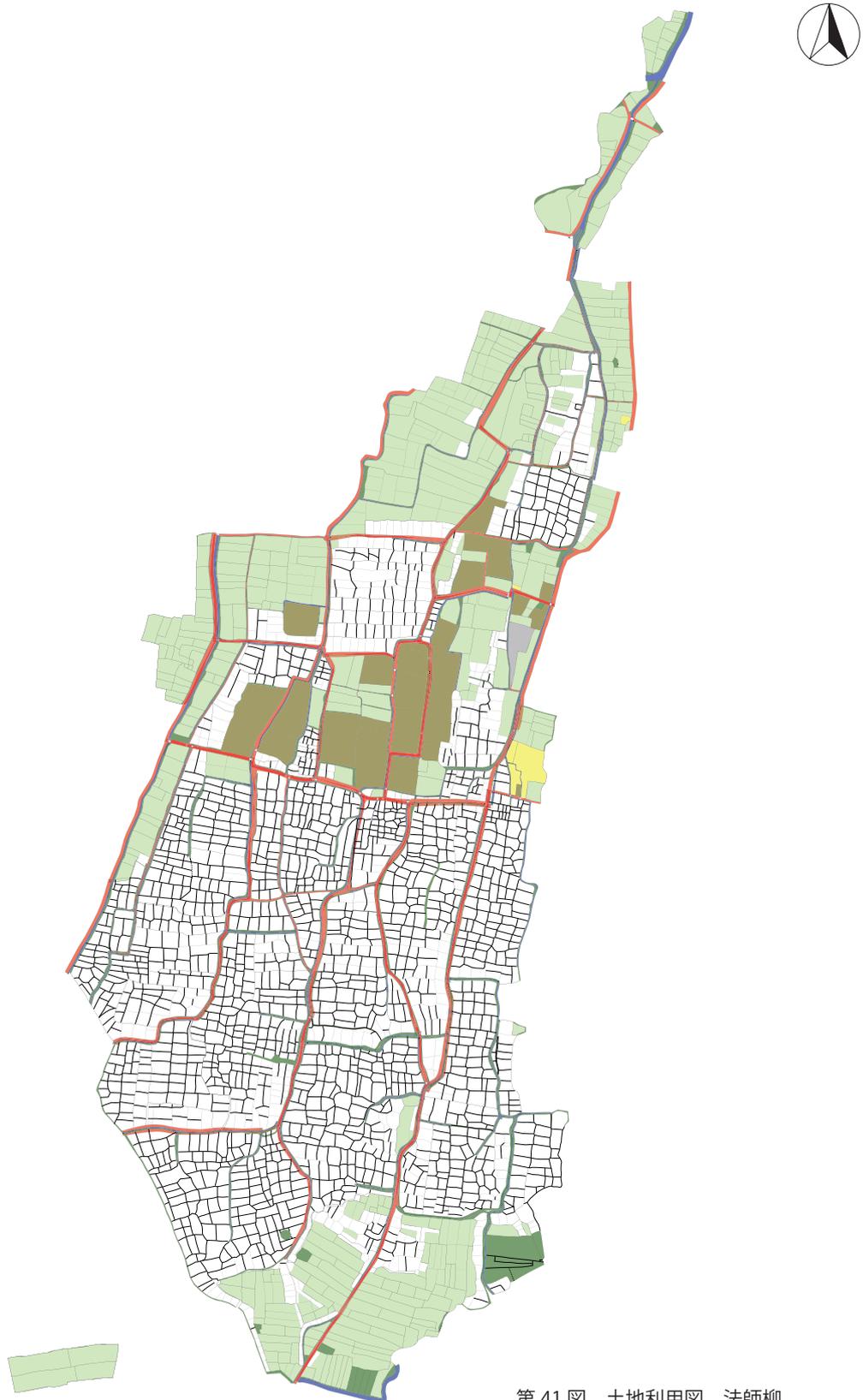
墓地である。文化二年(1805)長瀨村絵図では「堂ノ裏」と「鈴振田」の境の道は弁天道と記され、「堂ノ裏」の南端に地蔵が描かれている。宮内熊野大社史では「庚檀」の西に接する法師柳「大上」にガランド(伽藍堂)という地名があることなどからこの地に官寺があったと推定している。「庚檀」「鈴振田」で行われた県埋文センターによる庚壇遺跡発掘調査(押切智紀 2007)では弥生時代後期の竪穴住居が検出されたほか、古代の遺物として仏器模倣土器や祭祀用具、円面硯等が出土し、調査区北側に古代の官衙関連施設の存在を推定しており、地名ガランドとの関連をうかがわせる。



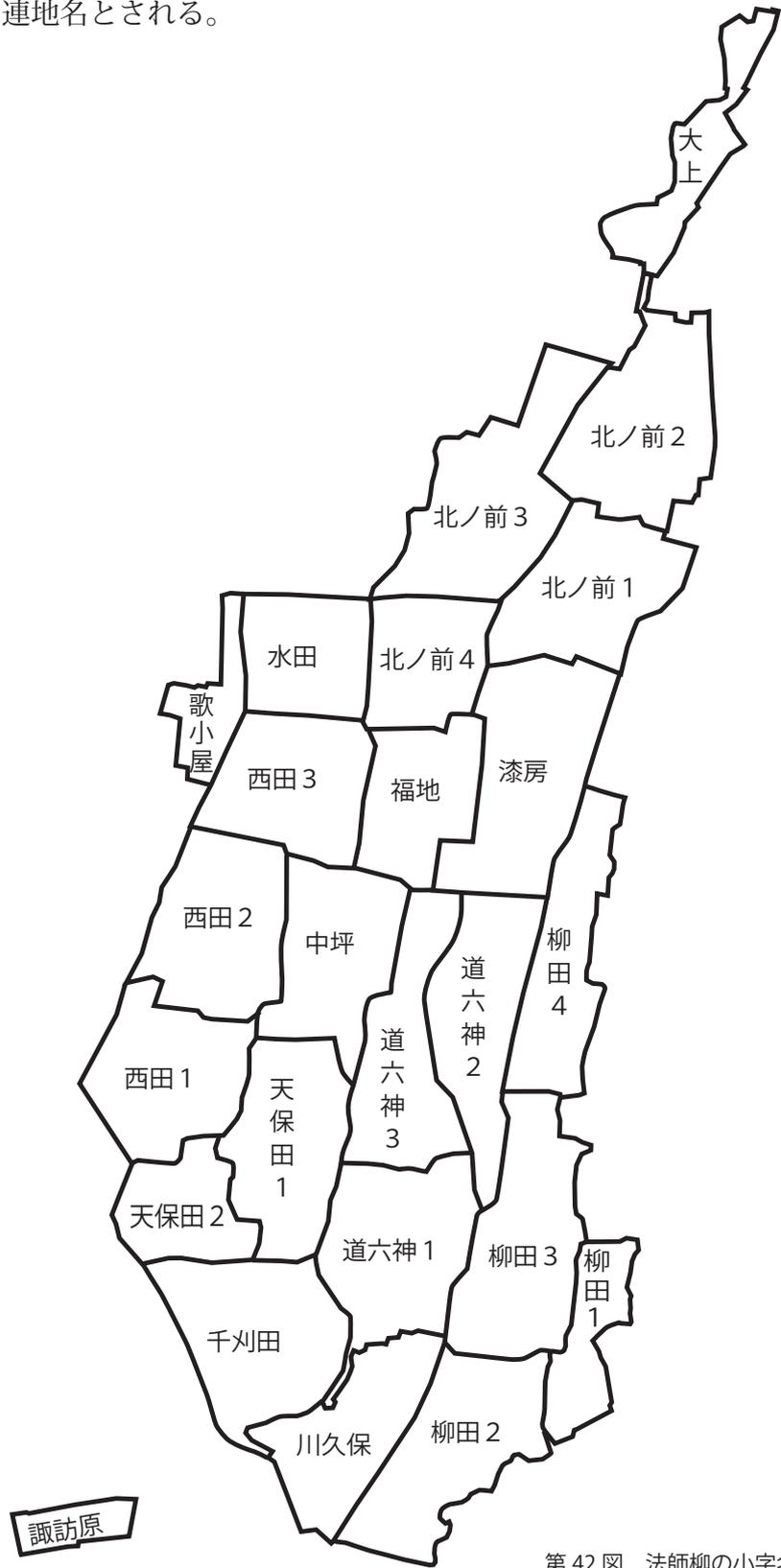
第 40 図 長瀨の小字名

⑮法師柳

法師柳は、宮内扇状地の扇中央に位置し織機川（境川）の左岸にあたる。地区北西を流れる織機川の古い自然堤防上に集落が立地し、その南側に水田が広がる。法師柳は昔、高松郷の一つで関根・坂井・法師柳で全郷と言う。天文22年(1553)伊達晴宗公采地下賜録には「ほうしやなぎ在家」とあり在家があったことが分かる。集落の周囲には方



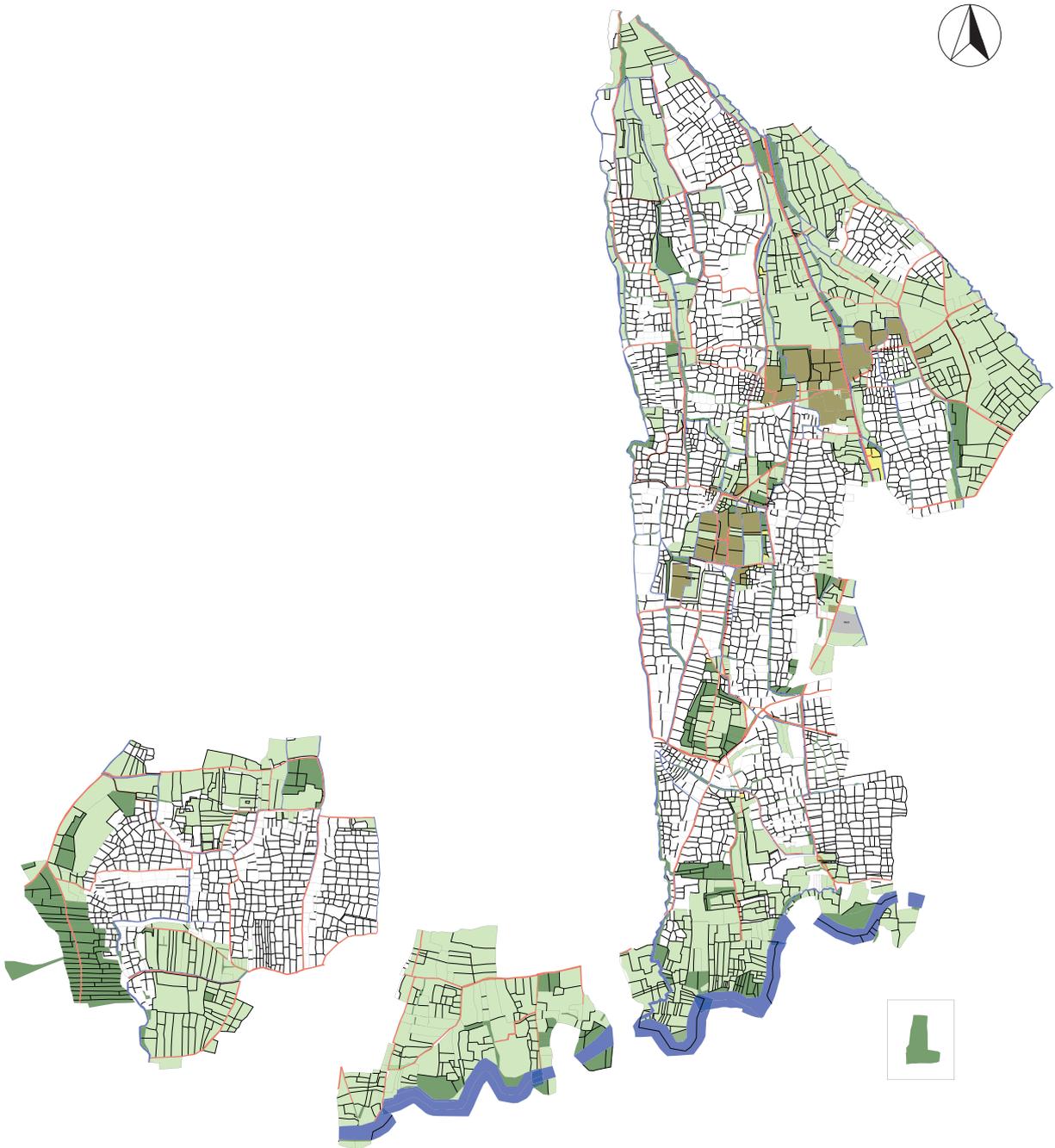
位地名が残る。「柳田」は柳のように細い地形を示す。「福地」は瑞祥地名か。「漆房」^{うるしぼう}は工房説もあるが、漆は七の当て字の可能性もある。「大上」は大乘の転化でここに官寺（国分尼寺）があったとする説があり（⑭長瀨参照）、通称「ガランド（伽藍堂）」^{おおがみ}という地名が残る。「歌小屋」はウ（湿地）とコヤ（興屋）の開墾地名、「天保田」は天保年間に開拓した土地か。「道六神」は道祖神がある場所に見られる地名である。「中坪」は条里関連地名とされる。



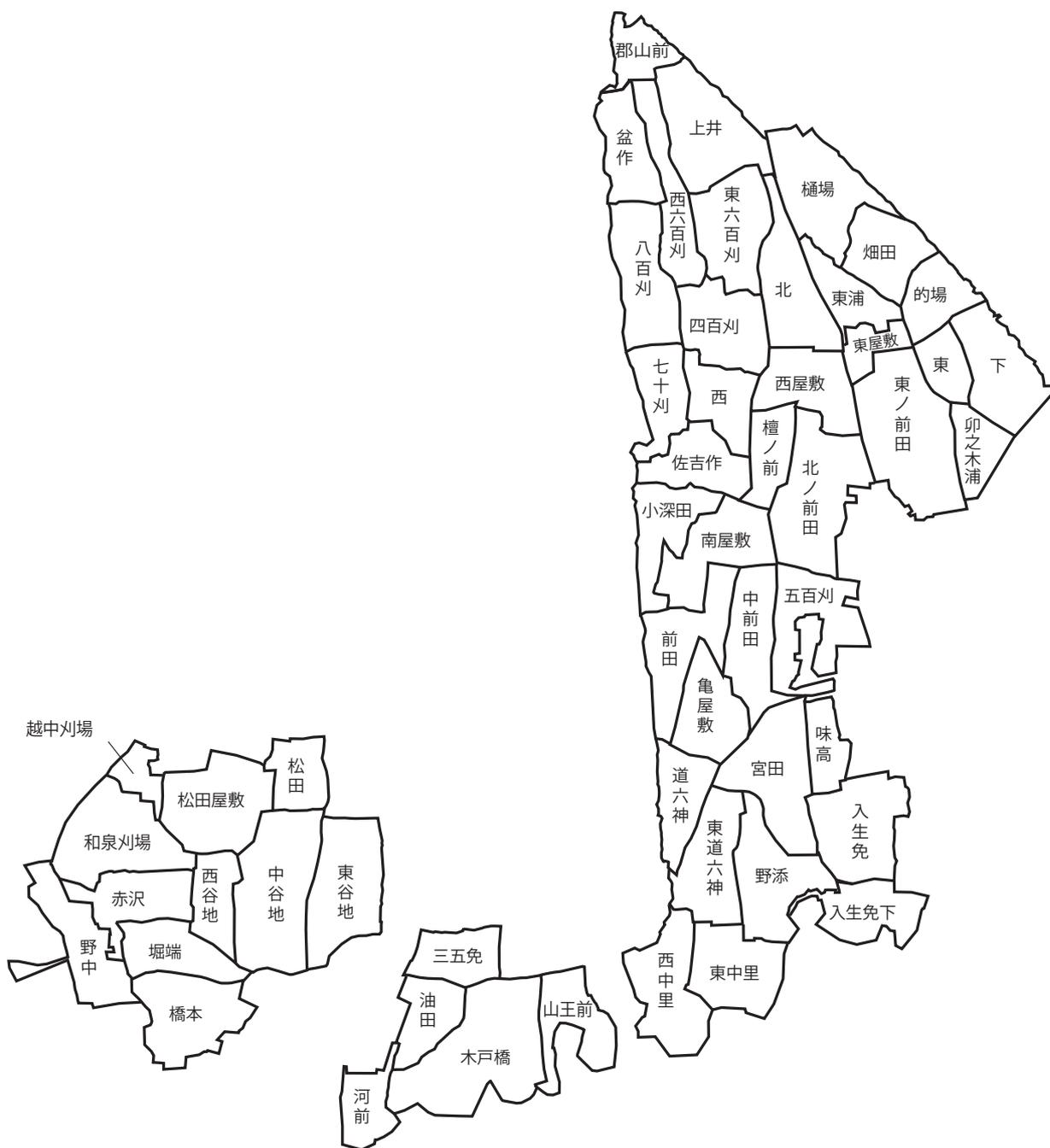
第 42 図 法師柳の小字名

⑩中ノ目

中ノ目は、吉野川が丸堤付近で東西に振れるなどし、丸堤を扇頂とする小扇状地状の景観を呈する中にある。この地形には高梨、沖田、中ノ目、鍋田の四地区が含まれ、多くの自然堤防を発達させている。中ノ目の南端は吉野川である。その流路移動等により川の近くでは飛地が多くなる傾向がみられる。中ノ目は、鍋田地区に挟まれているため、明治13年(1880)に鍋田と合併し一時期「田中」と称した(中ノ目を大字田中乙、鍋田を大字田中甲)が、後に戻した経緯を持つ。かつては吉野川を渡り山王前、道祖神、観音前を通過して赤湯に至る道路があり人家が多かったという。野添館跡、亀屋敷、南屋敷、西屋敷、東屋敷、松田屋敷等、館や屋敷が多く存在し、居住地から見た方位や位置



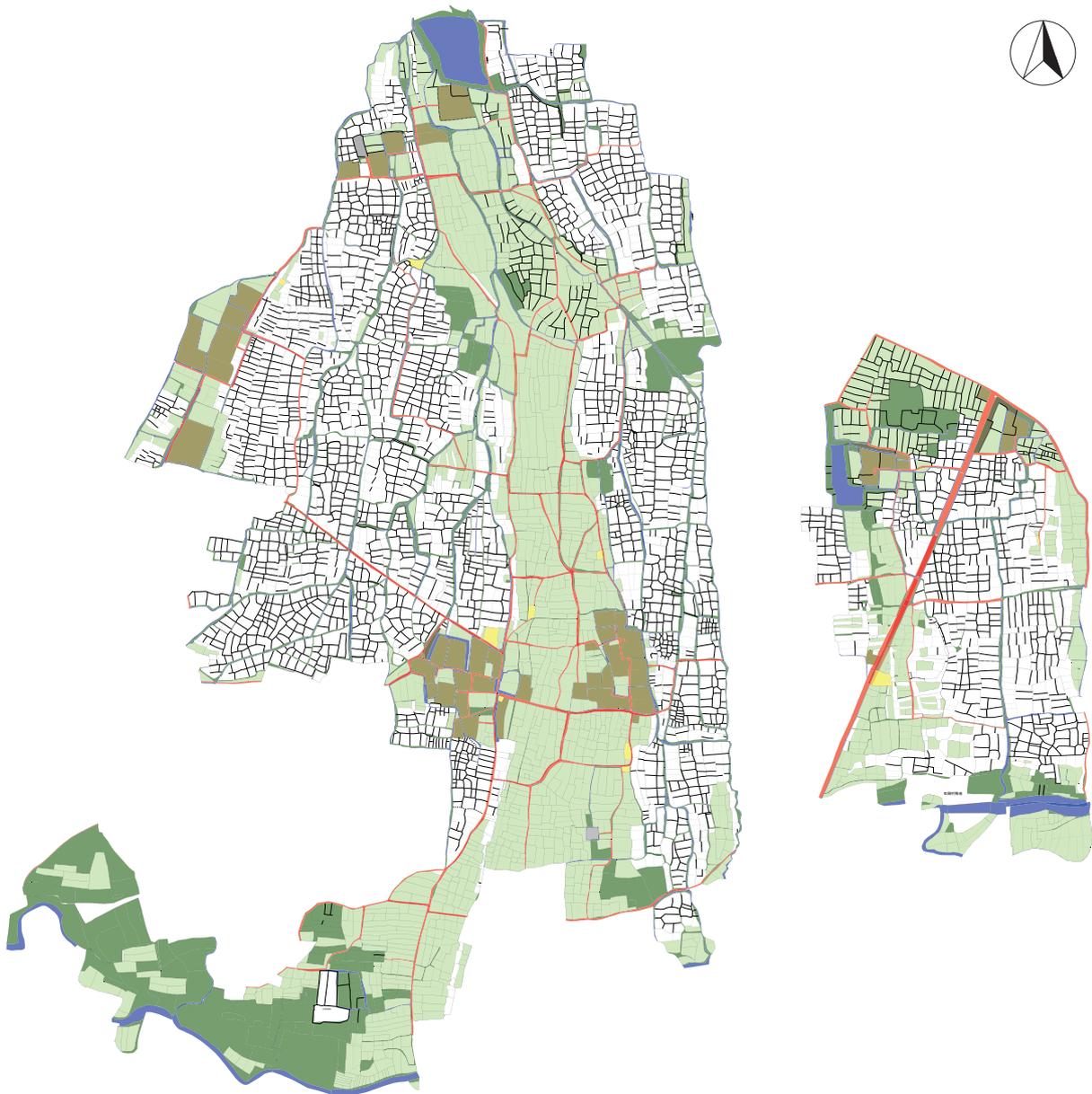
を冠した地名や水田面積を示す地名（刈等）も多い。吉野川の川べりは河川氾濫の影響を受けやすく水田には不利だったと見られ畑地が多い。地名にも「東・中・西谷地」や「和泉刈場」等の湿地性の地名が見られる。また、「入生免」「宮田」「油田」「三五免」等、免税地名が多いのも特徴である。天文22年(1553)伊達晴宗公采地下賜録には「たての在家」「なきあみ在家」「なかのめ在家」の在家が記されている。天正6年(1578)5月の大洪水で宮内から沖郷に流れていた吉野川が氾濫して新川となり、中ノ目集落は洪水の影響で移転したと伝わる。また、地区西辺（「盆作」～「西中里」）の鍋田境が直線的であるところは条里制の影響をうかがわせる。



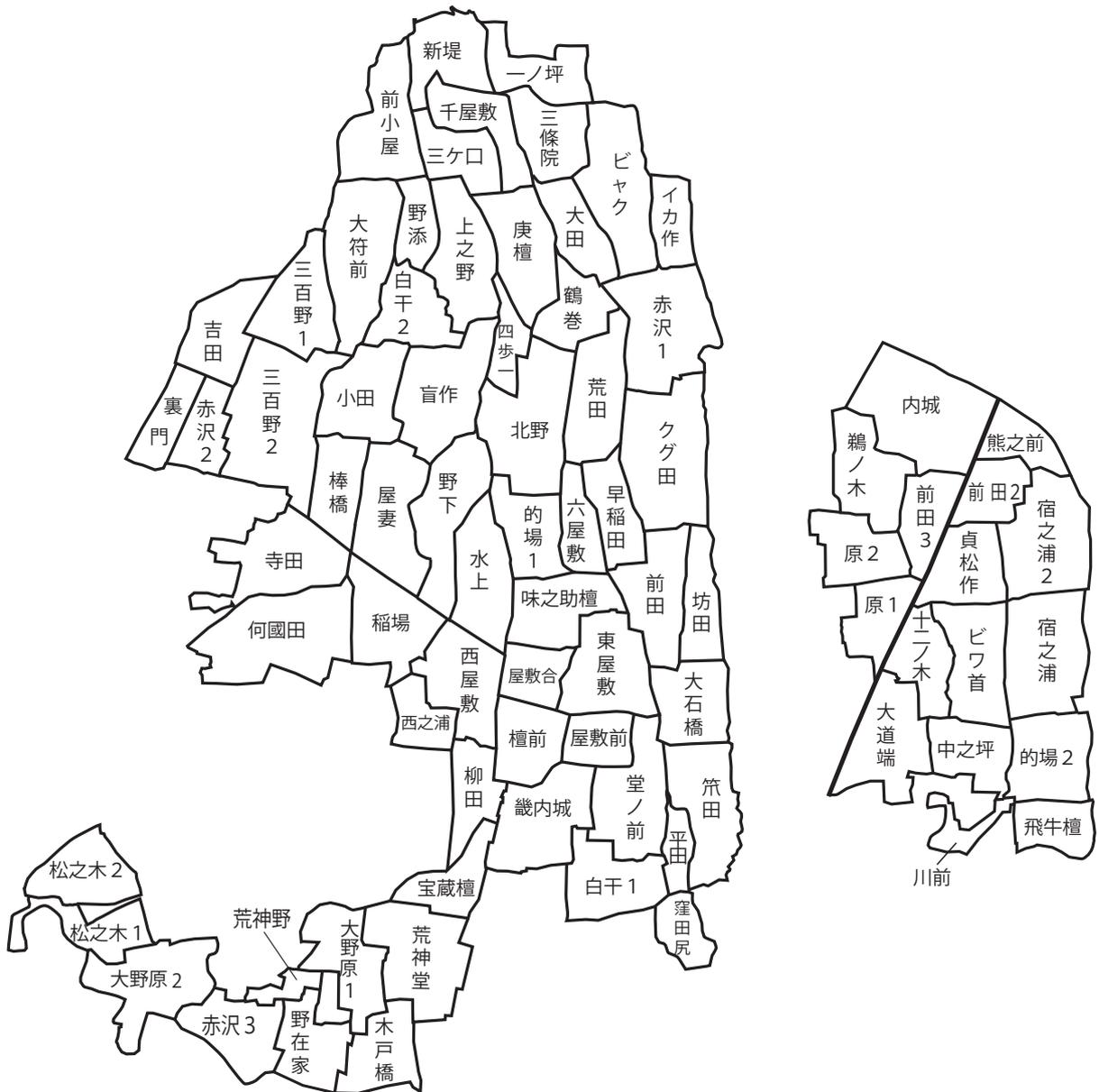
第44図 中ノ目の小字名

⑰鍋田

鍋田は、鍋田と元鍋田に分かれており、共に吉野川が丸堤付近で東西に振れるなどし、丸堤を扇頂とする小扇状地状の景観を呈する中にある。この地形には高梨、沖田、中ノ目、鍋田の四地区が含まれ、多くの自然堤防が発達させている。鍋田は中ノ目を挟むため、明治13年(1880)に中ノ目と合併して一時期、田中と称した(中ノ目を大字田中乙、鍋田を大字田中甲という)が、後に戻した経緯を持つ。鍋田はナメ田(粘土質で滑る土地)の意とも考えられ、南北に延びる自然堤防が発達し、その間の低地が水田になっている。地区の南辺は吉野川となっており、洪水氾濫の影響を受けやすいため開墾地の畑や草地になっている。集落は各自然堤防上に立地している。「一ノ坪」「三條院」等、古代の条



里制に由来する地名が残る。集落が複数見られ屋敷地名も多いが屋敷から見た方位や位置を冠する地名は少なく、土地の歴史に由来する地名が多い。在家を示す「野在家」や「貞松作」(天文 22 年 (1553) 伊達晴宗公采地下賜録の「貞松在家」か。同所は通称「みょう」とも呼ばれ、名田との関連も指摘されている)がある。寺社や墓地等に由来する「大符前」「庚檀」「味之助檀」「宝蔵檀」「荒神堂」「熊之前」「飛牛檀」、寺社用の免租地を示す「クグ田 (供具田)」「寺田」がある。城館跡としては内城館跡や鶉ノ木館跡が知られる。この他、注目すべき地名としては「くりけ」(郡衙関連の厨家カ)、「まないのまい」(真名井の前カ)、「まないじょう」(真名井城、或は真内城カ)、天正 13 年 (1585) 北条段銭帳の「田中在家」等がある。



第 46 図 鍋田の小字名

第3章 南陽市（沖郷）の小字名及び地名

市内各地区の小字名、地名を地区別に記録する。その出典の凡例は表3のとおりである。なお、これによらない場合は文献名を直接記載した。また古文書に見られる在家は、地名として残っていないものを字名・地名欄に（）で示した。

年	文献名	記号
1525	伊達植宗安堵状（大永五年）	A
1538	鍋田郷土史（21頁 天文七年御段銭古帳）	B
1553	伊達晴宗公采地下賜録（天文二十二年）	C
1585	天正十三年北条段銭状	D
1638	寛永十五御検地帳羽付村	E
1638	寛永十五年漆山村之内柰之沢須刈田御検地帳	F
1638	寛永拾五年北條之内漆山村御検地帳	G
1638	寛永十五年北條之内荻村御検地帳	H
1638	寛永十五年北条之内赤湯村御検地帳	I
1638	寛永十五年組柳村検地帳	J
1639	萩生田村寛永拾六年水帳之事	K
1639	寛永十六年組柳村検地帳（山形県史資料編9）	L
1656	明暦二年御狩場之図	Lb
1739	元文四年温泉記（市史編集資料26号34頁）	M
1767	明和四年北條之内長瀨村御検地帳	N
1781	鍋田郷土史（17・18頁 天明元年）	O
1786	天明六年文書	P
1790	寛政二年懸入石中山之在釜渡高帳	Q
1791	寛政三年赤湯村本地開改水帳	R
1794	寛政六年松沢村本地開改水帳	S
1824	文政七年金沢村本地開田畑水帳	T
1824	文政七年萱野改革水帳（赤湯町史268頁）	U
1843	天保十四年新田村漆反別名寄帳	V
1849	嘉永二年赤湯村本地開改水帳	W
	永代売渡申田畑證文之事	X
	御林集（日本林制史資料：赤湯町史345－346頁）	Y
	温泉記（市史資料集26号49頁）	Z
1874	明治七年地租改正 地価帳 土地台帳写（鍋田邑）	aa
1874～1893	明治七、八、二十六年字限図	ab
1876	明治九年新開摺帳（赤湯町史360頁）	ac
1938	東置賜郡史（昭和13・14年）	ad
1938	山形県地名録（昭和13年）	ae
1968	赤湯町史（昭和43年）	af
1973	沖郷村史（昭和48年）	ag
1979	梨郷村史（昭和54年）	ah
1981	角川日本地名大辞典（昭和56年）	ai
	南陽市地名索引（安達。南陽市立図書館蔵）	aj
1990	南陽市史（平成2年）	ak
2010	南陽市島貫の歴史（平成22年）	al
2013	平成25年税台帳	am

表3 小字名・地名の出典

1. 沖郷 (1) 郡山の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	郡山		コオリヤ	ad,ae,ai,ak	
1	郡山	荒田	アラダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	開拓地名
2	郡山	石堰	イゼキ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	中ノ目境、水路に関連した地名か
3	郡山	一早	イハヤ	ab,ad,ae,ai,ak,am	一早神社
4	郡山	叶神 (ag: 叶上)	カイガミ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	かなや神：製鉄業の神
5	郡山	北的	キタト	ab,ad,ae,ai,ak,am	武芸の練習場
6	郡山	境田	カイダ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	粗柳・中ノ目境
7	郡山	沢口	サガチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	沢口遺跡 (ヒヨノ目)
8	郡山	沢無下	サナジタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	矢ノ目館跡
9	郡山	十二ノ前	ジユウノマエ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	十二神将や紀州熊野の12社を祀ったか又は条里地名か
10	郡山	他屋前	タマイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	田屋の転化 (近世開拓地名)
11	郡山	塚田	ツカダ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	塚のある田。市内の塚地名には古墳が多い
12	郡山	長面	ナガオモテ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	長い地形か
13	郡山	中ノ坪	ナカノツボ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中央が窪む地形。条里関連地名
14	郡山	中堀	ナカホリ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	堀にちなむと思われる。中郡 (ナカノ郡) からの転化という可能性にも注意
15	郡山	長巻	ナガマキ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	牧 (馬を飼育) か。或は川の曲流部
16	郡山	並柳	ナミヤナギ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ヤナギ：河岸浸食地
17	郡山	舟橋	フナハシ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	郡山地区東端。吉野川旧河道の西
18	郡山	前田	マエタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	長巻の集落の南
19	郡山	前畑	マエノハタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中ノ目堤の東。前畑遺跡。堀がめぐる屋敷跡
20	郡山	的場	マク	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	一早の南、武芸の練習場
21	郡山	間々上	マナノエ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	マ：急な崖・斜面
22	郡山	(ままの上在家)	マナノエザノケ	D	間々の上在家
23	郡山	両角	リウカク	ab,ad,ae,ai,ak,am	リウ (領) は「新田」の別名。新田の角の意か
24	郡山	早稲田	ワセダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ワセダ：狭い埋没谷川につくられた田を言う
25	郡山	安部田	アヘダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	アヘ：低湿地。三間通・若狭郷屋への飛び地
26	郡山	高野	コヤ (am: 効ノ)	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	コヤ：江戸時代の開拓地名。荒屋、興屋。新しく開墾した土地は年限を決めて免税された
27	郡山	杉ノ上	スギノエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	前畑の北。郡山堤
28	郡山	砂原	サハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	矢ノ目館跡。自然堤防の砂地か
29	郡山	六百苅	ロクヒヤカガリ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
30	郡山	筑籬田	サルダ	ab,am	石堰の北。後背湿地。サル：崩れやすい地
31	郡山	兵司ノ目 (兵衛の目)	ヒヨノメ	ag,ak	評ノ目？ 郡衙関連地名。兵司屋敷とも言う
32	郡山	矢ノ目	ヤノメ	ag	矢ノ目館跡の所か
33	郡山	長堀	ナガホリ	ag	
34	郡山	(きたのさいけ) (D: きたの在家)	キタノサケ	D,ag	北の在家。中ノ目地区に字「北」がある
35	郡山	(七平五在家)	ナヒラゴザノケ?	D	七平五在家

1. 沖郷 (2) 島貫の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
島貫			シマ科	ad,ae,ai,ak,	
1	島貫	阿弥陀前	アマダマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	字六角と共に付近に寺跡があると伝わる。阿弥陀堂の前の意か
2	島貫	畑下	ハタシタ	al	字阿弥陀前に統合
3	島貫	北ノ前	キタノマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
4	島貫	沢田	サワダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	沢田遺跡
5	島貫	井戸尻	イドジリ	al	字沢田に統合。低湿地。井戸の底のような地形の意
6	島貫	渋田	シブダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	渋(錆)で鉄分の多い水が湧く田か、土壌的に耕すのが渋い田か
7	島貫	石田	イシダ	al	字渋田と字堂ノ前に統合。石の多い田。河川氾濫地名
8	島貫	下屋敷	シモヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	神社有り。水田の中にある屋敷地
9	島貫	垣川	カキカハ	al	字下屋敷に統合。柿：木柵等で囲む
10	島貫	樋ノ越	トノコシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	樋を越えた所
11	島貫	十二ノ前	ジュウニノマエ	al	字樋越に統合。十二神将や紀州熊野の12社を祀ったか又は条里地名か
12	島貫	上西原	カミニシハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	寺跡・七堂伽藍があったと伝わる
13	島貫	西原	ニシハラ	ab,ae,ai,ak	郡山字沢口の西
14	島貫	西原東	ニシハラヒガシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃。西原の東
15	島貫	西原西	ニシハラニシ	ad,ae,ai,ak,am	明治期の字西原
16	島貫	前田	マエダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	字下屋敷の南
17	島貫	瓦田	ホウデン	al	字前田に統合
18	島貫	的前	マエマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	的：武芸の練習場
19	島貫	家中合	ヤナカイ(ヤナカゴウ?)	al	字的前に統合。若狭郷屋の「江中郷(えなかごう)」と同意か
20	島貫	元八弍	ゲンハチノニ(モトハチノニ?)	ab,ad,ak,am	元八を分割。人名か。条里関連の可能性も
21	島貫	元八壱	ゲンハチノイチ	ab,ad,ak,am	元八を分割
22	島貫	元八	ゲンハチ	ae,ai,ak	条里関連の可能性も
23	島貫	六角	ロウカク	ab,ad,ae,ai,ak,am	六面幢に由来(島貫の無銘六面堂出土地)
24	島貫	前畑	マエハタ	al	字六角に統合。屋敷南側の土地であろう
25	島貫	堂ノ前	ドウノマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	郡山字沢口の西、郡山太子堂の前の意か。或は上西原にあったという七堂伽藍の前という意か
26	島貫	下堂ノ前	シモドウノマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	郡山字中堀の西。堂ノ前の北
27	島貫	上堂ノ前	カミドウノマエ	al	字石田の残りを字名変更。下堂の前の西か。西が上、東が下とすれば上西原にあったという七堂伽藍を意識した地名か
28	島貫	百苜田(ai: 百刈田)	ヒヤクガリダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積。百刈田遺跡
29	島貫	割符屋	ワリヤ	al	字百刈田に統合。割符屋(中世以降、遠隔地の金銭決済を行う業者のこと)

1. 沖郷 (3) 高梨の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
高梨			効ナシ	ai	
1	高梨	芦苜場	アスカバ	ab,ad,ae,ai,ak,am	芦を刈る場所
2	高梨	石畑	イハ 効	ab,ad,ae,ai,ak,am	石の多い畑。上堤の東
3	高梨	入生田	イウダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	井料田：用水管理のための共同水田
4	高梨	大下	オシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	シ(湿地)か。大は美称
5	高梨	鍛冶前	カジ ノエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	鍛冶をしていた地の前
6	高梨	上堤	カミツツミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	島堤のこと
7	高梨	北之前	キタノエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	寺裏の北。水路分岐地
8	高梨	狐野	キツネ	ab,ad,ae,ai,ak,am	コヤ・コヤなら開拓地名か
9	高梨	葛藤	クズ フジ	ab,ad,ae,ai,ak,am	クズ：浸水氾濫地。フジ：淵
10	高梨	北三千苜	キタシヤノガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
11	高梨	三千苜	サヤノガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
12	高梨	西屋敷	ニシヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	屋敷。地藏堂があった
13	高梨	上屋敷	カミヤシ	ak	
14	高梨	下屋敷	シモヤシ	ad,ae,ai,ak,am	弥八の北。屋敷
15	高梨	将監屋敷	シヨウケンヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中世館跡
16	高梨	砂取場	サトリバ	ab,ad,ae,ai,ak,am	砂堆積地。砂の採取場
17	高梨	大角檀 (M 26: 大学壇) し ばしば六角壇と誤記される。	ダ 効タシ (ab: ダ 効 タシ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	壇は近世墓地。上堤の南 東、自然堤防
18	高梨	檀之前	ダンノエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	壇は近世墓地
19	高梨	寺裏 (ae,ai,ak,am: 寺ノ裏)	テラウラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	高福寺とその北西の田
20	高梨	道祖神	ドウソジン	ab,ad,ae,ai,ak,am	道祖神に由来。自然堤防
21	高梨	富塚	トミツカ	ab,ad,ae,ai,ak,am	塚：古墳か。自然堤防
22	高梨	長表	ナガヒラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	蛭田の北。集落
23	高梨	西中上	ニシナカミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	自然堤防。西中上遺跡
24	高梨	中上	ナカミ	ae,ai,am	中里の東。自然堤防
25	高梨	中里	ナカサト	ab,ad,ae,ai,ak,am	上堤の南。条里関連地名
26	高梨	中坪	ナカノツボ	ab,ad,ae,ai,ak,am	条里地名
27	高梨	中道 (ae,ai,ak,am: 中通)	ナカド	ab,ad,ae,ai,ak,am	富塚の南東。自然堤防
28	高梨	並柳	ナミヤナギ	ab,ad,ae,ai,ak,am	細長い地形に由来か
29	高梨	橋徒	ハシヨリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	橋の近くか
30	高梨	畑田	ハタケダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	島貫境。自然堤防端
31	高梨	原	ハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道左岸の開拓地
32	高梨	東又	ヒガシマタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	水路分岐点か
33	高梨	蛭田	ヒルダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ヒルダ：低湿地
34	高梨	前原	マエハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	鍋田・島貫境。集落の南
35	高梨	道下	ミチシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	沖田南線の南
36	高梨	宮之前 (ai,ak: 宮ノ前)	ミヤノエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	一早神社有り。自然堤防
37	高梨	六畝割	ムセワ	ab,ad,ae,ai,ak,am	伊與檀の北。鍋田村境。 土地の区画地名
38	高梨	弥九郎	ヤクウ	ab,ad,ae,ai,ak,am	人名。筑茂村境
39	高梨	谷地端	ヤチバタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	河川堆積地。湿地の際
40	高梨	弥八	ヤチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	下高梨の北。人名か
41	高梨	東四ッ割	ヒガシヨツリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	荒地の区画地名
42	高梨	西四ッ割	ニシヨツリ	ae,ai,am	〃
43	高梨	四ッ割	ヨツリ	ab,ae,ai,ak,am	〃
44	高梨	伊與檀	イヨダン	ab,ad,ae,ai,ak,am	道下の東。近世墓地
45	高梨	上河原	カミハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	丸堤の西。旧河道
46	高梨	下高梨 (下高梨子村 田中田在家)	シモタナシ	ab,ad,ae,ai,ak,am、市史上 巻614頁	沙弥某奉書写「出羽国北 条庄、下高梨子村田中田 在家」
47	高梨	下ノ前	シモノエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	下屋敷の東
48	高梨	野尻	ノジリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	沖田の南への飛び地
49	高梨	弥六	ヤロク	ad,ae,ai,ak,am	沖田への飛び地、人名か
50	高梨	赤沢	アカサ	am	
51	高梨	鍛冶屋敷	カジヤシ	地元聞き取り	鍛冶地名

1. 沖郷 (4) 沖田の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	沖田		沖タ	ad,ae,ai,ak	沖積地で広い所。沖：洪水で土砂を沖積させること
1	沖田	大曲	オマカリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	河川（地形）が曲がったところ
2	沖田	三千菟	サネノガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
3	沖田	館ノ内	タノウチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	沖田館跡
4	沖田	中坪	ナカツホ	ab,ad,ae,ai,ak,am	条里関連地名
5	沖田	東亦	ヒガシマタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館ノ内の南東
6	沖田	前田	マエタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館ノ内の南
7	沖田	道南	ミチナミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	道の南。自然堤防
8	沖田	桐ノ木堀 (ad,ak: 相之木堀)	キリノキホリ (アイノキホリ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区の南西角。三千刈の西。水路に由来か
9	沖田	門ノ前 (ad,ae,ai,ak: 明ノ前)	モンノマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	鍋田の字裏門・赤沢の南に位置する
10	沖田	小荒	コアラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	荒地か
11	沖田	笹田	ササダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ザル：崩れやすい地
12	沖田	四呂場	シロハ	ab,ad,ae,ai,ak,am	小荒の南。白場で乾くと白く見える砂地か
13	沖田	鍋田境	ナベノカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区の東端。鍋田境
14	沖田	式反割	シタノリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	三千刈の東。区画地名
15	沖田	野添	ノソエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区南端
16	沖田	弥市	ヤイチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	人名か
17	沖田	赤沢	アカザ	ae,ai,am	鍋田字赤沢付近か

1. 沖郷 (5) 宮崎の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	宮崎		ミヤザキ	ad,ae,ai,ak	宮内の先の説あり
1	宮崎	杵枚田	イマイダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	七間割の東
2	宮崎	植木場	ウキバ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上木場? 木を集めた場所。或は浦江(ウエ:水場)際(キ)か
3	宮崎	狼小屋(明治期の表記では「狼」のくずし字、或は「根」にも見える)	オノゴヤ (ai: オノゴヤ、am: オノゴヤ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	根小屋(城館地名)か。狼は根の誤字か。読みは御根小屋の転化か。館ヶ崎の南方にあたる
4	宮崎	西川田	ニシカダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川旧河道内の田
5	宮崎	上川田	カミカダ (am: カミカダ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川旧河道内の田
6	宮崎	下川田	シモカダ (am: シモカダ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川蛇行部旧河道に作られた田
7	宮崎	桐木堀	キノキホリ (ai: キノキホリ、am: キノキホリ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川蛇行地点。自然堤防。水路に由来か
8	宮崎	寺屋敷	テラヤシキ	ad,ae,ai,ak,am	明治期字限図では町屋敷3になっているが正しくは寺屋敷か。綱正寺あり
9	宮崎	東中嶋	ヒガシナガシマ	ab	最上川蛇行部内側に残された微高地。寄洲
10	宮崎	西中嶋	ニシナガシマ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
11	宮崎	中島	ナカシマ	ad,ae,ai,ak,am	
12	宮崎	中島東	ナカシマヒガシ	am	
13	宮崎	中島西	ナカシマニシ	am	
14	宮崎	苗代免	ナッシュメ (am: ナリシメ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	苗代にかかわる免田か。或は神社の祭りの納所(ナッシュメ)に関する免田か
15	宮崎	西沼ノ台 (ai,ak: 西沼台)	ニシヌマダ	ad,ae,ai,ak,am	最上川蛇行部の岸。台: 高い地。沼に面した高所
16	宮崎	沼台	ヌマダ	ae,ai,ak,am	東沼ノ台の一部を改称
17	宮崎	沼台西	ヌマダニシ	am	西沼ノ台を改称
18	宮崎	沼台東	ヌマダヒガシ	am	東沼ノ台を改称
19	宮崎	四人割	ヨニンワ	ad,ae,ai,ak,am	区画地名、四間割を改称
20	宮崎	八人割	ハチニンワ	ab,ad,ae,ai,ak,am	区画地名
21	宮崎	前野原	マエノハラ	ad,ae,ai,ak,am	前野から改称
22	宮崎	前野	マエノ	ab	吉野川旧河道の東。蓮池の東
23	宮崎	町屋敷	マチヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落
24	宮崎	松木場	マツキバ	ab,ad,ae,ai,ak,am	木(木を集めた所)の可能性もあるか
25	宮崎	南田	ミナタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道と最上川蛇行部との間の土地
26	宮崎	北中ノ原 (ai,ak: 北中原)	キタナカハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道の左岸。蓮池の南東。小堤の東
27	宮崎	南中原	ミナナカハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道左岸
28	宮崎	築場	ヤバ	ab,ad,ae,ai,ak,am	魚を取る築場か。川に近い荒れ野
29	宮崎	一ノ貝	イチノカイ	ad,ae,ai,ak,am	開: 開墾地。飛び地
30	宮崎	大野向	オノノカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	大野との川向の地
31	宮崎	大野	オノノ	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川蛇行部に挟まれた草地
32	宮崎	押切	オシキリ (am: オシキリ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川蛇行地点。洪水時の堤防決壊地名
33	宮崎	上窪	カミホ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道及び右岸。窪地
34	宮崎	小堤	コヅツミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道。蓮池の南
35	宮崎	境田	カイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道及び右岸。露橋境
36	宮崎	坂井田	サカイ	ad,ae,ai,ak	
37	宮崎	拾二ノ木	ジュウニノキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	紀州熊野の12社を祀ったか
38	宮崎	七間割	シチカンワ	ab,ad,ae,ai,ak,am	区画地名
39	宮崎	杉ノ下	スギノシタ	ad,ae,ai,ak,am	飛び地

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
40	宮崎	大日	タ ^ニ チ	ad,ae,ai,ak,am	飛び地。大日如来を祀ったか
41	宮崎	館ヶ崎 (ad,ak: 館崎)	タガ ^キ	ab,ad,ae,ai,ak,am	城館地名。吉野川旧河道と最上川蛇行部旧河道に挟まれ、岬のように南へ張り出す微高地
42	宮崎	鎮守堂	チジ ^ト ウ	ab	八幡神社の北方。鎮守堂があったか
43	宮崎	鎮守堂裏	チジ ^ト ウラ	ad,ae,ai,ak	
44	宮崎	寺橋	テラハ ^シ	ab,ad,ai,ak,am	飛び地
45	宮崎	梨ノ木	ナシ ^キ	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川蛇行部に東西を挟まれた場所
46	宮崎	滑子	ナメ ^コ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ナメ：滑りやすい土地。地滑りに関係する地名の場合もある
47	宮崎	西野 (西ノ野)	ニシ ^ノ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区西端。最上川蛇行部内側、中洲
48	宮崎	八丁巻 (ad,ae,ai,ak: 八町巻)	ハチジョウマキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川蛇行部沿いの中洲地。マキ：河川が大きく曲がる所
49	宮崎	林	ハヤシ	ad,ae,ai,ak,am	飛び地。関根堤有り
50	宮崎	附益	ヲ ^ハ (ai: ヲ ^ハ 、 am: ヲ ^ハ キ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	ヲ ^ハ ：湿地。最上川蛇行部に東西を挟まれた場所。寄洲
51	宮崎	稗原	ヘハラ (am: ヒエハラ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川の縁
52	宮崎	三ツ塚	ミツツ ^カ	ad,ae,ai,ak,am	飛び地。最上川沿い
53	宮崎	四間割	ヨンケンワリ	ab	区画地名
54	宮崎	東沼ノ台	ヒガ ^シ ヌマノダイ	ab	最上川蛇行部
55	宮崎	開	ヒラキ	am	
56	宮崎	高松	タカマツ	ab,am	飛び地。旧高松郷に由来
57	宮崎	寺橋	テラハ ^シ	am	飛び地
58	宮崎	上堤	カミツツミ	am	
59	宮崎	開田	ヒラキタ	am	
60	宮崎	西之原	ニシハラ	am	

1. 沖郷 (6) 露橋の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	露橋		ツコシ	ad,ae,ai,ak	
1	露橋	井戸尻	イヅリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	井戸の底のような地形
2	露橋	高松南	タツミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧高松郷に由来
3	露橋	高松北	タツキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
4	露橋	高松※	タツ	am	〃
5	露橋	地藏堂	チゾウ	ab,ad,ae,ai,ak,am	綱正寺の北。地藏堂有り
6	露橋	鎮守堂	チンジュ	ad,ae,ai,ak,am	中央に宮崎字鎮守堂飛び地有り。堂があったか
7	露橋	続橋南	ツツキナミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	寺橋の南東
8	露橋	続橋北	ツツキキタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	寺橋の東
9	露橋	続橋	ツツキ	am	
10	露橋	藤兵衛裏	トウヘ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東宅地の北東。集落有。人名
11	露橋	畑ケ田	ハタケ	ab,ad,ae,ai,ak,am	前畑の西。湿地と自然堤防
12	露橋	東五百刈	ヒガシゴ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積。上無川の後背湿地
13	露橋	西五百刈	ニシゴ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
14	露橋	五百刈	ゴ	am	
15	露橋	東拾二ノ木	ヒガシジウニキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	十二神将や紀州熊野の12社を祀ったか
16	露橋	西拾貳ノ木	ニシジウニキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
17	露橋	東宅地	ヒガシチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落。自然堤防
18	露橋	西宅地	ニシチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落。自然堤防
19	露橋	前畑	マエハタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	西宅地の南。集落
20	露橋	北百々桐 (ad,ai,ak,am: 北トト)	キタトト	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川旧河道。トト：水音が響く地
21	露橋	南百々桐 (ad,ai,ak,am: 南トト)	ミナトト	ab,ad,ae,ai,ak,am	近世の館有り。トト：水音が響く地
22	露橋	壱ノ貝東	イチノカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	カ (開)：開墾地
23	露橋	壱ノ貝西	イチノカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
24	露橋	壱ノ貝	イチノカイ	ae	〃
25	露橋	壱ノ貝南	イチノカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
26	露橋	壱ノ貝北	イチノカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
27	露橋	壱ノ貝道南	イチノカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
28	露橋	壱ノ貝道北	イチノカイ	ab,ad,ai,ak,am	〃
29	露橋	牛沼東	ウシヌマ	ad,ae,ai,ak,am	最上川沿い
30	露橋	牛沼西	ウシヌマ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
31	露橋	大野向	オホノカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	最上川左岸
32	露橋	川向	カノカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川右岸。川の向かい側の地。氾濫原
33	露橋	上ノ田 (ab: 上之田)	カミタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	神田の転化であれば神社用の免田
34	露橋	北ノ前	キタノ	ab,ad,ae,ai,ak,am	藤兵衛裏の東
35	露橋	北ノ裏	キタノ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東宅地の北方。集落有
36	露橋	草刈場	クサカリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川の最上川合流地点
37	露橋	熊之堂 (ad,ai,ak: 熊野堂)	クマノ	ab,ad,ae,ai,ak,am	寺があったという。上無川旧河道あり
38	露橋	澤田	サタ (ad,ae,ai: サ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	東宅地の北
39	露橋	宿田	シュク	ab,ad,ae,ai,ak,am	鎮守堂の北東。シュク：川岸
40	露橋	寺橋	テラハシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	字熊野堂に寺があったことに由来という。寺端の可能性もあるか
41	露橋	藤葉	フジハ	ad,ae,ai,ak,am	淵端か。吉野川旧河道の右岸。蓮池の北端
42	露橋	牡丹野	ホトノ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川の最上川合流地点。ホト：湿地
43	露橋	六兵衛裏	ロクヘ	ab,ad,ae,ai,ak,am	北ノ前の南。集落。人名
44	露橋	諏訪原	スワハラ	am	法師柳・宮崎・関根飛び地

1. 沖郷 (7) 萩生田の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
萩生田			ハギウダ (ad,ae:ハギウダ)	ad,ae,ai,ak	
1	萩生田	井戸尻	イトヅリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	湿地。井戸の底のような地形の意。旧河道か
2	萩生田	馬ノ墓 (K: 馬ノほか)	ウマノカ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	道ノ上の北東。古墳か
3	萩生田	梅之木 (K: 梅木)	ウメノキ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	ウメ: 災害で埋まった土地
4	萩生田	大塚	オオツカ	ab,ad,ae,ai,ak,am	古墳群あり。伝承では後三年の役戦死者の共同墓地と伝わる
5	萩生田	追廣 (K: 追広げ)	オツビロウ (ad,ae,ai: オツビロウ、am: オツビロ)	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	地区南端。宮崎境。開けているの意か
6	萩生田	上河原	カミガハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道
7	萩生田	下河原	シモガハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道
8	萩生田	観音田 (K: くわんおんてん)	カンノンテン	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	観音堂と八幡神社有
9	萩生田	久保 (K: 窪)	クボ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	窪地
10	萩生田	沢田	サワタ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道 (蛇行部)
11	萩生田	三助	サンスケ	ab,ad,ae,ai,ak,am	人名か。サンジヨであれば算所や散所の可能性も
12	萩生田	高田	タカタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	並柳の北。水路分岐地点
13	萩生田	高野 (K: 高の)	タカノ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	大塚の南、古墳群があったか
14	萩生田	堤ノ上 (K: ツツミノ上)	ツツミノエ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	西堤の北
15	萩生田	樋口	トゲチ (am: トヨゲチ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道右岸。島堤の西南
16	萩生田	(とひの口在家)	トイノクチイ	D	樋口在家
17	萩生田	長割	ナガワリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	区画地名。畑を細長く区画したもの
18	萩生田	並柳 (K: なみ柳)	ナミヤナギ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	細長い区画が由来か
19	萩生田	野際 (K: 野きわ)	ノギリ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道右岸
20	萩生田	白山	ハクサン	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	白山神社があった
21	萩生田	八景	ハツケイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ハツ: 石混じりのやせた土地、高低差のある地形。バツケ: 崖
22	萩生田	西畑	ニシバタ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川に合流する旧吉野川派流左岸の自然堤防
23	萩生田	東畑	ヒガシバタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	//、旧河道有
24	萩生田	曲橋	マガリハシ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	坂井村境。橋に由来か
25	萩生田	町河原	マチガハラ	ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道蛇行部内側
26	萩生田	道之上	ミチノエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	道より上方の意
27	萩生田	道ノ下 (K: 道下)	ミチノシタ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	道より下方の意
28	萩生田	水上	ミズガミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道、地区北端
29	萩生田	宮之内	ミヤノウチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落。神社があったか
30	萩生田	宮之前	ミヤノエ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	坂井稲荷神社の東、宮之内の西
31	萩生田	石山女 (K: 石あけび)	イシヤメ (am: イシアケビ)	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	四面神社。古墳
32	萩生田	石田	イシダ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	石の堆積地。字高田・道之下と併せ扇状地状地形
33	萩生田	大下	オオシタ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	シタ (湿地) か。大は美称
34	萩生田	上野添 (K: 上のそへ)	カミノゾエ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	野 (自然堤防) に沿う地
35	萩生田	下野添 (K: 下のそい)	シモノゾエ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	//
36	萩生田	草刈場	クサカリバ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	堤之上の北
37	萩生田	斎藤作 (K: 斎藤作り)	サイトウヅクリ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	人名
38	萩生田	寺田 (K: 寺た)	テラダ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	寺に係る免田
39	萩生田	樋ノ下	トヨシタ	K,ab,ad,ae,ai,ak,am	八景の北東。水路に由来
40	萩生田	古屋敷	フルヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	島堤の西。屋敷があったか
41	萩生田	南沖	ミナモキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	沖: 沖積地で広い所。川か洪水で土砂を運び沖積させる地
42	萩生田	上屋敷	カミヤシキ	am	水上・観音田付近を改称
43	萩生田	中屋敷	ナカヤシキ	am	古屋敷～梅之木付近を改称

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
44	萩生田	君殿	キミドノ(キミデノ)?	市史編纂資料第25号萩生田 板碑	脇殿(ワキドノ、ワキデノ)等 の転化の可能性はないか
45	萩生田	前田	マエダ	K	
46	萩生田	高江	コウコウ(効工)	K	
47	萩生田	深田	フカダ	K	
48	萩生田	つふかいた	ツフカイト(ツブカイト?)	K	ツブ貝(タシ)か
49	萩生田	かなや神てん	カナヤガミデノ	K	金屋神田
50	萩生田	まくの下	マクノシタ	K	
51	萩生田	ひへ田	ヒエダ	K	稗田か、冷田か
52	萩生田	たき	タキ	K	滝か
53	萩生田	中道	ナカミチ	K	
54	萩生田	東道	ヒガシミチ	K	
55	萩生田	東た	ヒガシタ	K	東田
56	萩生田	うわへ	ウワヘ	K	上辺か
57	萩生田	びつきた	ビツキダ	K	蛙田
58	萩生田	まつりた	マツリダ	K	祭田か
59	萩生田	ざるた	ザルダ	K	ざる田
60	萩生田	砂た	サダ	K	砂田
61	萩生田	こしめくり	コシメクリ	K	越巡
62	萩生田	畠田	ハタケダ	K	
63	萩生田	樋の上	トイノウエ	K	
64	萩生田	ぼつけ	ボツケ	K	ボツケ：崖
65	萩生田	西	ニシ	K	
66	萩生田	寺屋敷	テラヤシキ	K	
67	萩生田	しつけ畠	シツケハタ	K	
68	萩生田	板橋本	イタハシモト	K	
69	萩生田	よこて下	ヨコテシタ	K	横手下
70	萩生田	糸はた(江はた)	イトハタ	K	江端
71	萩生田	東	ヒガシ	K	
72	萩生田	石はた	イシハタ	K	石畑
73	萩生田	北はた	キタハタ	K	北畑
74	萩生田	石ほりた	イシホリタ	K	石堀田
75	萩生田	川なした	カワナシダ	K	川無田
76	萩生田	まへ	マエ	K	前
77	萩生田	まへ畑(前はた)	マエハタ	K	前田
78	萩生田	江あへ	エアヘ	K	江合
79	萩生田	御イセトフ	ゴイセトフ	K	御伊勢堂か
80	萩生田	のきり	ノキリ	K	野切か
81	萩生田	あなた	アナタ	K	穴田
82	萩生田	糸なか	イトナカ	K	江中
83	萩生田	ツかた	ツカダ	K	塚田
84	萩生田	たんノ越	タンノコシ	K	壇ノ越
85	萩生田	志つけ	シツケ	K	
86	萩生田	そてはた	ソテハタ	K	袖畠
87	萩生田	うしろはた	ウシロハタ	K	後ろ畠
88	萩生田	といきり	トイキリ	K	樋切
89	萩生田	西た	ニシダ	K	西田
90	萩生田	ほりはた	ホリハタ	K	堀端
91	萩生田	塚ノ越	ツカノコシ	K	
92	萩生田	堀田	ホリタ	K	
93	萩生田	たんノ前	タンノマエ	K	壇ノ前
94	萩生田	橋本	ハシモト	K	
95	萩生田	ままノ下	ママノシタ	K	崖の下
96	萩生田	ほりノ上	ホリノウエ	K	
97	萩生田	ほり	ホリ	K	堀
98	萩生田	(中さと在家)	ナカサトザイ	D	中里在家
99	萩生田	船橋	フナバシ	ag	中萩生田南東。吉野川を 船で往来した所

1. 沖郷 (8) 坂井の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	坂井		サイ	ad,ae,ai,ak	境か。「酒井」と表記する文書もある
1	坂井	稲荷前	イリマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	稲荷の南
2	坂井	稲荷	イリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	稲荷神社があったか
3	坂井	井戸尻	イトヅリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	井戸の底のような地形
4	坂井	上イデヨナ (ad: 上イヨナ)	カミイヨナ	ab,ad,ae,ak,am	砂田の北。自然堤防。条里の2条7里の転化・脱字の可能性はないか
5	坂井	下イデヨナ (ad: 下イヨナ)	シタイヨナ	ab,ad,ae,ak,am	〃
6	坂井	上中嶋	カミナジマ	ab,ad,ae,ak,am	戸瀬土の川向(北)、上無川の中洲
7	坂井	下中嶋	シタナジマ	ab,ad,ae,ak,am	下イヨナの川向(北)、上無川の中洲
8	坂井	中島	ナジマ	am	
9	坂井	北屋敷	キタヤシ	ab,ad,ae,ak,am	屋敷の北東、集落
10	坂井	小丁作	コウジ ヨウヅクリ (am: コチヨウヅクリ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	壇之前的南、旧河道・堤の上に位置することから、江上作りか
11	坂井	砂田	サダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	砂地の田。後背湿地
12	坂井	高松	タカマツ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧高松郷に由来
13	坂井	檀之前 (ak: 檀ノ前)	タンノマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	井戸尻の西
14	坂井	戸瀬土	トセト	ab,ad,ae,ai,ak,am	上イデヨナの北
15	坂井	樋越	トヨノコシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	宮崎村境
16	坂井	野中	ノナカ	ab,ad,ae,ai,ak,am	稲荷前の西
17	坂井	屋敷	ヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落
18	坂井	大西	オオニシ	ab,ad,ai,ak,am	野中の北。大は美称。開拓の進展を示す地名の名残か
19	坂井	大広毛	オホヒロ	ad,ai,ak,am	飛び地
20	坂井	野際	ノギリ	am	
21	坂井	窪	クボ	am	
22	坂井	稲荷屋敷	イリヤシ	東置賜・南陽 神社参拝のしをり	坂井稲荷神社由緒「貞観年中、字稲荷屋敷に祀られる」とある

1. 沖郷 (9) 関根の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	関根		セネ	B	
1	関根	井戸尻	イトヅリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	井戸の底のような地
2	関根	丑啼	ウシナキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ウシ：洪水氾濫地。ナキ：崩壊浸食地名
3	関根	北原	キハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	関根館の北東
4	関根	杉之下 (ab: 枕之下)	スギノシタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	字東の南。上無川右岸
5	関根	(すき下在け)	スギシタノケ	C	杉下在家
6	関根	諏訪之原	スワハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	高松の北西
7	関根	館ノ内	タノウチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	関根館
8	関根	樋崎	トヨギ	ab,ad,ae,ai,ak,am	黒井堰の樋に由来 (沖郷村史 51 頁)
9	関根	仲田	ナカタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	百五十刈の北。最上川蛇行部東岸
10	関根	西関根	ニセセネ	ab,ad,ae,ai,ak,am	関根の西端。最上川蛇行部北岸
11	関根	(にしせきね在け)	ニセセネノケ	C	西関根在家
12	関根	八百苺	ハツビヤカガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
13	関根	東	ヒガシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	関根館の東方。上無川右岸
14	関根	前田	マエタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落の東～南東
15	関根	屋敷	ヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	関根館の集落
16	関根	礼記	レイキ	ad,ae,ai,ak,am	
17	関根	譯野	ワケノ	ad,ae,ai,ak,am	軒外レの北。分け野か
18	関根	一ノ貝	イチノカイ	ad,ae,ai,ak,am	カ (開)：開拓地名
19	関根	押切	オシキリ (am: オシキリ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	堤防決壊地
20	関根	川落	カヲチ (am: カヲチ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	川に落ちる所
21	関根	鴨引	カモビキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	カモ：河川沿いの湿地
22	関根	唐白	カラス	ab,ad,ae,ai,ak,am	瀬淵か。最上川蛇行部
23	関根	笹ノ内	クサノウチ	ad,ae,ai,ak,am	曲 (クネ) か。又はクネ：土地が隆起して通過を妨げている所
24	関根	軒外レ	ケヅレ (am: ケヅレ)	ad,ae,ai,ak,am	地区南西角。ケ：岸が決壊し易い、堤防決壊
25	関根	下谷地	シモヤチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	前田 1 の東。唐白の北。後背湿地
26	関根	正源作	シロウケツヅクリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	将監作か。人名か
27	関根	千苺田 (ak: 千刈田)	センガリタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	関根館の北。刈は中世年貢上納に係る水田面積
28	関根	中島 (ab: 中嶋)	ナカジマ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道。二つの水路に挟まれた地。中洲
29	関根	橋向	ハシムカイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川旧河道に挟まれる
30	関根	百五十苺	ヒヤクゴジユウガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積。最上川蛇行部東岸
31	関根	三ツ塚	ミツツカ	ad,ae,ai,ak,am	河川跡に堤有り
32	関根	高松	タカマツ	ab	旧高松郷に由来
33	関根	矢津摩	ヤジマ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ヤス：砂礫堆積地・沼地
34	関根	柳ノ内	ヤナギノウチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	屋敷の西。ヤナギ：河川浸食地
35	関根	大日	ダイニチ	am	大日如来を祀ったか
36	関根	(田中在け)	タナカノケ	C	田中在家
37	関根	(川はた在け)	カハタノケ	C	川端在家
38	関根	(きたやま在け)	キタヤマノケ	C	北山在家
39	関根	てうふん	テウブン	C	
40	関根	きやうつかやち	キョウツカヤチ	C	経塚谷地
41	関根	きり田	キリタ	C	切田
42	関根	(きやうき在け)	キョウキノケ	C	行基在家か
43	関根	(まこ平在け)	マコヒラノケ	C	孫平在家
44	関根	六百かり	ロクヒヤカガリ	C	六百刈

1. 沖郷 (10) 若狭郷屋の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	若狭郷屋	(わかさ小屋：万治4年北条郷34村の先達職を売渡す約束状。市史編集資料41号)	ワカゴヤ (ai:ワカゴヤ)	ad,ae,ai,ak	コヤ(江戸時代の開拓地名。新しく開墾した土地は年限を決めて免税し、荒野と呼ぶ習わしであった)
1	若狭郷屋	石田	イシダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	石の堆積地。川原跡
2	若狭郷屋	内ノ方	ウチカタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道の東。屋敷。薬師堂有り。ウチ：河川で土地が挟まれる
3	若狭郷屋	(打方在家)	ウチカタ 伊	D	打方在家
4	若狭郷屋	浦城	ウラジ ヨウ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ウラ：集落裏。シヨウ：上流か。条里地名か
5	若狭郷屋	江中郷 (ad,ae,ai,ak,am: 江中子)	エナカウ	ab,ad,ae,ai,ak,am	江：川。川に挟まれた地か。稲荷神社があった。江(ナ)や子(コ)と郡(コ利)の類似性にも注意
6	若狭郷屋	扇田	ウキダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	西川原の北。吉野川旧河道。ウキ：旧河川の土砂堆積地。扇に似た地形の土地
7	若狭郷屋	大下	オホシタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区南端。南端は中ノ目堤。シト(湿地)か。大は美称
8	若狭郷屋	上三百蒔	カミサンビヤカガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
9	若狭郷屋	下三百蒔	シモサンビヤカガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
10	若狭郷屋	三百蒔	サンビヤカガリ	am	
11	若狭郷屋	沢見	サシミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	畑ケ田の北。東辺に旧河道或は氾濫跡
12	若狭郷屋	玉ノ木	タマキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	樋ノ口の西。植物地名か
13	若狭郷屋	樋ノ越	トノコシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	丸堤の北東。自然堤防
14	若狭郷屋	中屋敷	ナカヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落
15	若狭郷屋	北河原	キタカハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道。地区の北端
16	若狭郷屋	西河原 (am: 西川原)	ニシカハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	西ノ畑の西。吉野川旧河道内
17	若狭郷屋	西田	ニシダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	前田の西
18	若狭郷屋	西ノ畑	ニシノハタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中屋敷の西南。吉野川旧河道の左岸
19	若狭郷屋	宮田	ミヤタ	ab,ai,ak,am	神社の免租田。南端は郡山堤
20	若狭郷屋	刈干場 (ad: 刈平場)	カリホ シバ (ad: カヒラバ)	ab,ad,ai,ak,am	地区の南東角
21	若狭郷屋	地藏田	ジゾウ デン	ad,ai,ak,am	飛び地。地藏講の免田か
22	若狭郷屋	樋ノ口	トノクチ	ab,ad,ai,ak,am	丸堤の北。水路に由来
23	若狭郷屋	畑田	ハタケダ	ab,ad,ai,ak,am	宮田の北。北辺は河川跡で欠けている
24	若狭郷屋	前田	マエダ	ab,ad,ai,ak,am	中屋敷の南
25	若狭郷屋	松ノ越	マツノコシ	ab,ad,ai,ak,am	樋越の北東。吉野川旧河道或は氾濫跡
26	若狭郷屋	的場	マトバ	ab,am	武芸の練習場
27	若狭郷屋	駅之裏	エキウラ	am	新しい字名
28	若狭郷屋	駅西	エキニシ	am	//
29	若狭郷屋	(たうきん在家)	トウキンサ 伊 (チヨウキンサ 伊)	D	たうきん在家
30	若狭郷屋	(かしはは在家)	カシハサ 伊・カシハ 伊	D	かしはは在家

1. 沖郷 (11) 蒲生田の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	蒲生田		カウタ	ad,ae,ai,ak	妊：湿地。ウタ：湿田、腐食土の水が溜まった所
1	蒲生田	牛力窪	ウシカ ^レ クボ	ab,ad,ae,ai,ak,am	滝ノ下の北西。ウシ：洪水氾濫地。クボ：窪地
2	蒲生田	海老田	エビ ^レ タ	ab,ad,ae,ai,ak,am	海老のように曲がった形の地
3	蒲生田	大竹	オオタケ	ab,ad,ae,ai,ak,am	番田の西。タケ：崖
4	蒲生田	金又	カネマタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	マタ：河の合流地点
5	蒲生田	西金又	ニシカネマタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
6	蒲生田	上井戸尻	カミド ^レ ジリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	湿地。井戸の底のような地
7	蒲生田	中井戸尻	ナカド ^レ ジリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃 申子田の東
8	蒲生田	下井戸尻	シモド ^レ ジリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃 中井戸尻の北
9	蒲生田	西井戸尻	ニシド ^レ ジリ	am	〃
10	蒲生田	東井戸尻	ヒガシド ^レ ジリ	am	〃
11	蒲生田	井戸尻	ド ^レ ジリ	am	〃
12	蒲生田	上川原	カミカハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道
13	蒲生田	中川原	ナカカハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道
14	蒲生田	下川原	シモカハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道
15	蒲生田	清水上	シミズガミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	清水と法相宗の古庵があったと伝わる。安養寺・八幡神社有
16	蒲生田	大田	オオイタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道。イタ：広い
17	蒲生田	大明神	オホミヨウジン	ab,ad,ae,ai,ak,am	明神を祀ったか
18	蒲生田	高木	タカキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中洲的な自然堤防
19	蒲生田	高畑	タカハタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道とその左岸
20	蒲生田	滝ノ下	タキノタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道。タケ：崖から落ちる水。水が激しく流れる所
21	蒲生田	館ノ内	タテノウチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	蒲生田館の本丸
22	蒲生田	田中前	タナカマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館ノ内の南西
23	蒲生田	地藏前	チゾウマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地藏堂有
24	蒲生田	塚田	ツカダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	町屋敷の北。集落。塚：古墳（清水上遺跡）
25	蒲生田	当時作	トウジツツクリ (am: トウジツサカ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	タツシ：倒れる、崩壊。氾濫原の西側
26	蒲生田	堂ノ前	ドウノマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	蒲生田館の南
27	蒲生田	濃満屋敷	ノマンヤキ (am: ノウマンヤキ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	野馬か。天目一箇神（アマヒツツカミ：鍛冶の神）に関連か。地名桜壇を含む
28	蒲生田	八幡前	ハチマンマエ	ab,ae,ai,ak,am	清水上の東。神社の北
29	蒲生田	上番匠面	カミハン ^シ ヨウメ (am: カミハン ^シ ヨウメン)	ab,ad,ae,ai,ak,am	番匠は工人（城館等を造るため招いた工人を優遇し与えた地）。吉野川氾濫原
30	蒲生田	下番匠面	シモハン ^シ ヨウメ (am: シモハン ^シ ヨウメン)	ab,am	
31	蒲生田	番匠面	ハン ^シ ヨウメ (am: ハン ^シ ヨウメン)	ad,ae,ai,ak,am	
32	蒲生田	番田	ハンデン	ab,ad,ae,ai,ak,am	番田：中世に庄民の夫役（ぶやく）によって耕された田のこと
33	蒲生田	西烏柳	ニシカラスヤキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	カラ：空。ス：洲。ヤキ：河川浸食地
34	蒲生田	東烏柳	ヒガシカラスヤキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	高木の西。旧河道有り
35	蒲生田	町ノ裏	マチウラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落東辺。館から見て裏
36	蒲生田	町屋敷	マチヤキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	蒲生田館と集落
37	蒲生田	道下 (ab: 道ノ下)	ミチノタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道の左岸
38	蒲生田	南館	ミナミタテ	ab,ad,ae,ai,ak,am	蒲生田館南曲輪
39	蒲生田	申子田	モウシゴ ^レ タ (am: モウシゴ ^レ タ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	蒲生田館の南西。申（サル）で南西方位を示すか
40	蒲生田	石田	イシダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道で石の堆積地

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
41	蒲生田	川童子田 (ad,ak: 川龍子田)	カハダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	カハは川の妖怪。小川等の深みの所を指す。落差のある川跡か
42	蒲生田	観音堂	カノドウ	ab,ad,ae,ai,ak,am	観音堂有り
43	蒲生田	空貝田 (am: 空貝田)	クダ (ai,ak: クダ、am: カイダ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	供貝田 (クダ 神仏に供える米をとる田。) の当て字。貝は誤字
44	蒲生田	瘤田	コバタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	瘤状の起伏のある田
45	蒲生田	箆籬田	ザルダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ザル: 崩れやすい地。旧河道の西
46	蒲生田	砂子田	サゴダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	参考: 砂子田のことを明治年代まで「マツカ橋」(真赤橋道)と云う(蒲生田郷土史)
47	蒲生田	堰口前	セキチマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道氾濫原の東
48	蒲生田	大損畑	ダイソノハタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	洪水で損なわれる地か。大倉 (オウリ) や大曹 (オウリ) 等の転化の可能性はないか
49	蒲生田	寺ノ浦 (ad,ae,ai: 寺ノ裏)	テラウラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	氾濫原。寺屋敷の東
50	蒲生田	寺屋敷	テラヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	氾濫原。成興院跡
51	蒲生田	鰯面	トシヨウメ (am: トシヨウメン)	ab,ad,ae,ai,ak,am	面は免 (免田) か。条里地名「5条目」の可能性もある
52	蒲生田	北鰯面	キタトシヨウメ (am: キタトシヨウメン)	ab,ad,ae,ai,ak,am	// 鰯免の北
53	蒲生田	低面田	トツラダ (ak: トツラダ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川旧河道左岸。トツラ: 蔓類の植物。蔓が繁茂する谷川の岸
54	蒲生田	西門口	ニシモンチ	ab,am	蒲生田館の西門
55	蒲生田	西門前	ニシモンマエ	ad,ae,ai,ak	西門口の誤字か
56	蒲生田	沼小屋	ヌマガヤ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館ノ内の北西。湿地、沼地。コヤ (開拓地名) か
57	蒲生田	旗鉾	ハタホコ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旗鉾を立てた地と伝わる
58	蒲生田	馬場	ハバ	ab,ad,ae,ai,ak,am	騎馬修練場
59	蒲生田	(馬場の在家)	ハバノサヤ	D	馬場の在家
60	蒲生田	松ノ下 (am: 松之下)	マツノタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	濃満屋敷の西

1. 沖郷 (12) 中落合の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	中落合		ナカオアイ	ad,ae,ai,ak	落合：河川合流地名
1	中落合	赤根	アカネ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ア：湿地
2	中落合	板橋	イバシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	橋に由来か
3	中落合	馬ノ墓	ウマノカ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区南東角。旧吉野川の派流の旧河道右岸
4	中落合	川窪北	カクボキキ	ab	上無川左岸。氾濫域
5	中落合	川窪南	カクボミナミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
6	中落合	観定寺 (ad,ai,ak: 勸定寺)	カンジヨウジ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川の左岸。観定寺と言う寺があったか
7	中落合	高田東	タカダヒガシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	派流の右岸
8	中落合	高田西	タカダニシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中落合館の南
9	中落合	高田	タカダ	am	
10	中落合	宅地	タチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中落合館跡
11	中落合	東ノ南	ヒガシノミナミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中落合館の東南。運河有
12	中落合	東ノ北	ヒガシノキタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中落合館の東。運河有
13	中落合	前田東	マエダヒガシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中落合館の南
14	中落合	前田西	マエダニシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中落合館の南西。中落合遺跡（発掘調査地）
15	中落合	前田	マエダ	am	
16	中落合	南ノ東	ミナミノヒガシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区南端。派流北岸
17	中落合	南ノ西	ミナミノニシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区南端。西辺は上無川。旧吉野川派流と上無川の合流地
18	中落合	五百菰東	ゴヒヤクガリヒガシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
19	中落合	五百菰西	ゴヒヤクガリニシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	宅地の北東。天満神社有り。運河屈曲地点。刈は中世年貢上納に係る水田面積
20	中落合	五百菰	ゴヒヤクガリ	am	
21	中落合	畑ヶ田 (ab: 畑田)	ハタケダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	六枚田の北
22	中落合	六枚田	ロクマエダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	区画地名
23	中落合	寺西	テラニシ	ab,am	慈眼寺
24	中落合	檜原東	ヒノキハラヒガシ	ab,am	西原の北西
25	中落合	檜原西	ヒノキハラニシ	am	西原の北西。上無川左岸
26	中落合	西原	ニシハラ	ab,am	桑木会の西。運河跡と上無川合流点
27	中落合	北原ノ西	キタハラニシ	ab,am	宅地の北。運河有。地区北端
28	中落合	北原ノ東	キタハラヒガシ	ab,am	地区北辺
29	中落合	桑木会	クワノキアイ	ab,am	アイ：河川合流地名。カイであれば狭い谷（運河か）。郡家合（コウケアイ）など、コウ（郡衙）との関係はないのか
30	中落合 飛び地	町川原東	マチカワハラヒガシ	ab,am	萩生田の東へ飛地。吉野川旧河道中洲。マ：「待つ」の可能性もあるか
31	中落合 飛び地	町川原北	マチカワハラキタ	ab,am	〃
32	中落合 飛び地	町川原南	マチカワハラミナミ	ab,am	〃
33	中落合	宮ノ内	ミヤノチ	am	
34	中落合	中ノ坪	ナカノツボ	ae	条里地名。山形県地名録にのみ採録されており、他の資料に出てこないことから誤記載の可能性もある

1. 沖郷 (13) 西落合の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
西落合			ニシオチアイ	ai	落合：河川合流地名
1	西落合	七拾苺	シジ ヨカ ^リ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東半は上無川旧河道。刈は中世年貢上納に係る水田面積
2	西落合	中墓 (ad,ae,ai,ak,am: 中台)	ナカ ^イ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川旧河道、中洲、氾濫域。タイ：流路跡。台：高い土地
3	西落合	中之坪	ナカノホ ^ラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	条里地名
4	西落合	野際	ノキ ^リ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川の北岸。氾濫域。自然堤防の野の際
5	西落合	畑田	ハタ ^ラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川氾濫域の西。後背湿地
6	西落合	北原	キタ ^ラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区北端、堤有。上無川右岸。屋敷の北側
7	西落合	東原	ヒガシ ^ラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川右岸の自然堤防。屋敷の東側
8	西落合	西又	ニシマ ^タ	ab,ad,ae,ai,ak,am	道を挟んで東又の西。マ：分岐した沢
9	西落合	東又	ヒガシマ ^タ	ab,ad,ae,ai,ak,am	道を挟んで西又の東
10	西落合	明神前	ミヨウジ ^ン マイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川右岸。自然堤防。白髭神社有
11	西落合	屋敷	ヤシ ^キ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落
12	西落合	六百苺	ロク ^ビ ヨカ ^リ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川右岸の自然堤防・後背湿地。刈は中世年貢上納に係る水田面積
13	西落合	土目木	ト ^キ	ab,ad,ae,ai,ak,am	水音が響く地
14	西落合	萩生田窪	ハキ ^ノ ヨウ ^ダ ク ^サ	ab,ad,ae,ai,ak,am	萩生田・中落合境。上無川右岸。旧河道・窪地
15	西落合	高松	タカマ ^ツ	ab,am	旧高松郷に由来
16	西落合	渋田	シブ ^タ	ab,am	屋敷の南。渋水（金気水）が湧く地か。渋は赤錆、鉄分の多い水が湧く田を指す場合が多い
17	西落合	(はらひた在家)	ハラヒ ^タ イ ^ハ	D	蕨田在家
18	西落合	(あんへい在家)	アンヘ ^イ イ ^ハ	D	あんへい在家

1. 沖郷 (14) 長瀨の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	長瀨		ナガト	B,ad,ai,ak	瀨：川の流れが静かで深い所。洪水で度々泥が上がったことに由来するという（市史編集資料26号）
1	長瀨	庚檀	カエダノ	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	庚申塔のある壇があった所
2	長瀨	洪田	シラダ	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	稲荷前の東。洪は赤錆のこと、鉄分の多い水が湧く田を指すことが多い
3	長瀨	下在家 (N: 下ノ在家)	シモザイ	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	下在家があったか
4	長瀨	鈴振田 (N: 鈴ふりてん)	スズフリテン	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	鈴を使った神事等に由来か
5	長瀨	館ノ内 (N: たての内)	タノウチ	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	長瀨館跡
6	長瀨	檀ノ越 (N: たんのこし)	ダノコシ	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	壇：近世墓地。田の中に墓地有
7	長瀨	柳田	ヤギダ	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	田の形状が細長いか
8	長瀨	稲荷前	イリマエ	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	西に法師柳の稲荷神社がある。楊林寺の東～北
9	長瀨	大中田	オナカダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区の南東角。西落合境
10	長瀨	川前	カマエ	N,ad,ae,ai,ak,am	飛地
11	長瀨	堂ノ前 (N: とうの前)	ドウマエ	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	館ノ内の東。集落
12	長瀨	堂ノ裏	ドウウラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	堂ノ前の北
13	長瀨	前田	マエダ	N,ab,ad,ae,ai,ak,am	檀ノ越の東。西落合境
14	長瀨	即免 (N: そくめん)	ソクメン	N,ab,am	免田
15	長瀨	中坪	ナカツボ	am	条里地名
16	長瀨	御屋しき	オヤシキ	N	御屋敷
17	長瀨	たん	タン	N	壇
18	長瀨	たうてん	タウテン (チョウテン?)	N	
19	長瀨	南た	ミナタ	N	南田
20	長瀨	はつけた	ハツケタ	N	バツ：崖地名か
21	長瀨	たんの前	ダノマエ	N	段の前
22	長瀨	のきわ	ノギリ	N	野際
23	長瀨	下た	シモタ	N	下田
24	長瀨	すなた	スナダ	N	砂田
25	長瀨	ひへた	ヒエダ	N	稗田
26	長瀨	たなた	タナダ	N	棚田
27	長瀨	大下	オオシモ	N	
28	長瀨	四つた	ヨツタ	N	四つ田。四の坪に係る可能性はあるか
29	長瀨	南はた	ミナハタ	N	南端
30	長瀨	くねそい	クネソイ	N	久根添か
31	長瀨	上ノ前	ウエノマエ	N	
32	長瀨	はたけそい	ハタケソイ	N	畑添
33	長瀨	ふかた	フカダ	N	深田
34	長瀨	ひわたし	ヒワタシ	N	日渡：荷渡しの転化か
35	長瀨	こしめぐり	コシメグリ	N	越巡
36	長瀨	北前	キタマエ	N	
37	長瀨	小貳百かり	コヒヤカガリ	N	小二百刈
38	長瀨	たんの水	タノミズ	N	段の水

1. 沖郷 (15) 法師柳の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	法師柳		ホシヤキ	ad,ae,ai,ak	
1	法師柳	(ほうしやなぎ在け)	ホシヤキサケ	C	法師柳在家
2	法師柳	歌小屋	ウタコヤ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ウタ：湿地+コヤ：開墾地名か
3	法師柳	漆房	ウルシボウ	ab,ad,ae,ai,ak,am	漆職人・工房の説がある。ウリ：湿地。漆：七の当て字の場合もある。(参考：「房」は律令時代に「郷」を構成する世帯の単位)
4	法師柳	大上	オホガミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区北端。大乘の転化の説あり(宮内熊野大社史)。また、六上(六条)の誤記の可能性はないか(9頁第6図では、6条にあっている)
5	法師柳	北ノ前	キタマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	福地・漆房の北。織機川左岸の自然堤防と後背湿地
6	法師柳	水田	ミズタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	福地の北西。織機川左岸の自然堤防と後背湿地
7	法師柳	千苺田	センガリタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
8	法師柳	天保田	テンボタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	天保年間に開拓か
9	法師柳	道六神	ドウロクジン	ab,ad,ae,ai,ak,am	道祖神か
10	法師柳	西田	ニシタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	砂塚村境。西田3に集落有
11	法師柳	福地	フチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落。肥沃な土地を意味する吉祥地名か或はフチ：水を含むと膨れる地か
12	法師柳	柳田	ヤナギタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区南東端。南辺は上無川右岸。ヤナギ：河川浸食地。又は柳のように細長い土地
13	法師柳	川久保	カクホ	ab,ad,ae,ai,ak	ホ：窪
14	法師柳	中坪	ナカノツボ	ab,ad,ae,ai,ak,am	条里地名
15	法師柳	高松	タカマツ	am	旧高松郷に由来
16	法師柳	昭和	シヨウワ	am	
17	法師柳	諏訪原	スワハラ	am	飛地
18	法師柳	林	ハヤシ	am	
19	法師柳	長割	ナガワリ	am	

1. 沖郷 (16) 中ノ目の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	中ノ目		ナカノメ	ai	中世の中麿郷に關係か
1	中ノ目	入生免	イリオメシ (am: イリオメシ)	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	井料免：用水管理用の共同水田、免田
2	中ノ目	入生免下	イリオメシタ (am: イリオメシタ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	// 。吉野川河道
3	中ノ目	卯之木浦	ウノキウラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ウノキの読みは内柵、内城に通じる。周辺に鍋田字鵜之木、字内城の小字あり。ウノキの裏の意
4	中ノ目	七拾刈	シチジ ヲカガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
5	中ノ目	壇ノ前	タノマエ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	壇は近世墓地
6	中ノ目	道六神	トウロクジン	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	元鍋田境。道祖神か
7	中ノ目	東道六神	ヒガシドウロクジン	ab,ad,ae,ai,ak,am	道六神の東
8	中ノ目	樋場 (ag: 塔場)	トヨハ	ab,ad,ag,ai,ak,am	水路分岐地
9	中ノ目	畑田	ハタタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	樋場の南東。組柳堤の西
10	中ノ目	東	ヒガシ	ad,ae,ai,ak,am	東屋敷の東。自然堤防
11	中ノ目	西	ニシ	ab,ad,ae,ai,am	西屋敷の西
12	中ノ目	北	キタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の北
13	中ノ目	東浦 (ad,ae,ai,ak: 東之浦)	ヒガシウラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東屋敷の北。浦は裏
14	中ノ目	南屋敷	ミナミヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落。南屋敷館跡 (近世館か)
15	中ノ目	西屋敷	ニシヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落。近世屋敷か
16	中ノ目	東屋敷	ヒガシヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	//
17	中ノ目	東ノ前田	ヒガシノマエタ	ab,ad,ae,ak,am	西屋敷の東。東屋敷の南
18	中ノ目	北ノ前田	キタノマエタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	南屋敷の東～北東。北を冠し前田と区別か
19	中ノ目	前田	マエタ	ab,ae,ak,am	南屋敷の南
20	中ノ目	中前田 (ad: 中ノ前田)	ナカノマエタ	ab,ad,ae,ak,am	南屋敷の南
21	中ノ目	的場	マハ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	下の北西。自然堤防。武芸の練習場
22	中ノ目	上井	ウイ (am: カミイ)	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	水路分岐点
23	中ノ目	地藏浦東	ヂゾウウラヒガシ	ag,ak,am	浦は裏
24	中ノ目	地藏浦西	ヂゾウウラニシ	ag,ak	//
25	中ノ目	地藏裏上	ヂゾウウラカミ	am	
26	中ノ目	南経塚	ミナミキヨツカ	ag,ak,am	経塚があったか
27	中ノ目	経塚	キヨツカ	am	経塚があったか
28	中ノ目	越中刈場	エツチウカリハ	ab,ad,ae,ai,ak,am	松田屋敷の西
29	中ノ目	城中川場		ag	越中刈場の誤記か
30	中ノ目	亀屋敷	カメノヤシ (am: カメヤシ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	亀に似た地形、屋敷跡
31	中ノ目	郡山前	コウヤママエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区北端。自然堤防
32	中ノ目	小深田	コフカダ	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	南屋敷の東。元鍋田境
33	中ノ目	佐吉作	サキツヅケ	ab,ad,ae,ai,ak,am	人名
34	中ノ目	三五免	サンゴメ (am: サンゴメシ)	ad,ae,ai,ak,am	地租率又は免税率等を冠した免租地か
35	中ノ目	下中ノ目	シモナカノメ	ak	
36	中ノ目	野屋敷	ノヤシ	ad,ae,ai,ak	
37	中ノ目	四百刈	シヤカガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	八百刈の東。刈は中世年貢上納に係る水田面積。
38	中ノ目	五百刈	ゴヒヤカガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積。観音堂有
39	中ノ目	八百刈	ハチヤカガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	七拾刈の北。刈は中世年貢上納に係る水田面積
40	中ノ目	西中里	ニシナカサト	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	吉野川右岸。自然堤防。
41	中ノ目	東中里	ヒガシナカサト	ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	条里関連地名か
42	中ノ目	西六百刈	ニシロウビヤカガリ	ab,ad,ae,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
43	中ノ目	東六百刈	ヒガシロウビヤカガリ	ab,ad,ae,ak,am	四百刈の北。刈は中世年貢上納に係る水田面積
44	中ノ目	六百刈	ロウビヤカガリ	ag,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積

1. 沖郷 (17) 鍋田の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	鍋田		ハバタ	ad,ae,ai,ak	ハバ：土壌が滑らかな所
1	鍋田	赤沢	アカサ	O,ab,ad,ae,ai,ak	赤沢2：裏門の東。赤澤3：野在家西。赤沢1, 2, 3は全て離れている
2	鍋田	赤沢ノ1	アカサノイチ	O,aa	クグ田の北。アカ：水気の多い湿地。水流堆積物が垢のように溜まった場所
3	鍋田	上赤沢※	カミアカサ	am	
4	鍋田	荒田	アラタ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	古い旧河道又は氾濫地
5	鍋田	大あらた	オオアラタ	O	
6	鍋田	イカ作 (aa: イガ作)	イカヅクリ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	伊賀作
7	鍋田	一ノ坪 (aa: 壺之坪)	イチノツボ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	三條院の北。条里地名
8	鍋田	的場	マハ	ab,ak,am	的場1。武芸の練習場
9	鍋田	まとはし	マトハシ	O	
10	鍋田	裏門	ウラモン	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	吉田の南。高梨村・沖田村境
11	鍋田	大石橋	オオイシハシ	O,aa,ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	石橋に由来。(板碑が石橋になることも多い)
12	鍋田	大田	オオタ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	鶴巻の北・ビヤクの南
13	鍋田	上之野 (aa,ad,ai,ak: 上ノ野)	カミノ (am: ウエノ)	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	三ケ口の南
14	鍋田	北野 (O: きたの)	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	的場の北。自然堤防	
15	鍋田	木戸橋	キドハシ	aa,ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	吉野川右岸。自然堤防。地区南端。橋に由来か
16	鍋田	幾内城 (ad: 畿内城)	キナヅヨ	aa,ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	畿内神社の西
17	鍋田	幾内田	キナデン	am	畿内神社に係る免租地か
18	鍋田	窪田尻	クバヅリ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	窪んだ土地
19	鍋田	荒神堂 (O: こふじんど)	コウジノド	O,aa,ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	荒神堂有。黒井堰跡有
20	鍋田	荒神野	コウジノ	aa,ad,ae,ai,ak	大野原の南西
21	鍋田	庚檀	カイヤン	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	庚申塔のある近世墓地か
22	鍋田	三ケ口	ミカケチ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	千屋敷の西。ミ：水か？
23	鍋田	三條院 (aa,ak: 三条院)	サンジヨウイン	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	条里の三条。条里地名。院：正倉(倉庫の周りに嚴重な垣をめぐらし、倉院または単に院と称される)、郡衙の別院
24	鍋田	三百野	サンヒヤクノ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	面積を示すか
25	鍋田	四歩一 (O,aa: 四分一)	シヨフイチ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	年貢減免に関わる地名か。シヨフ：すぼんだ地形。イチ：険しい
26	鍋田	新堤	シンツツミ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	新堤があった
27	鍋田	大符前	オオフマエ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	大符神社の南。※字名では「大」で、神社名では「太」を用いることもある
28	鍋田	檀前 (O: だん前)	ダンマエ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の東。北西角に墓地。檀：近世墓地
29	鍋田	鶴巻 (O: つるまき)	ツルマキ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	ツル：水流。マキ：河川が曲がる所
30	鍋田	寺田	テラダ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	寺に関わる免租田
31	鍋田	堂ノ前 (O: とふの前)	ドウマエ	O,aa,ad,ae,ai,ak,am	東屋敷の南。畿内神社有
32	鍋田	何國田	ナニクニダ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	寺田の南。トク：曲がりくねった場所。曲がった田
33	鍋田	西之浦	ニシウラ	aa,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の南西。浦は裏
34	鍋田	笱田 (O: ざる田)	ザルダ (ad,ae,ai: ナダ)	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	ザル：崩れやすい地
35	鍋田	西屋敷	ニシヤシキ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	集落。近世館か
36	鍋田	東屋敷	ヒガシヤシキ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
37	鍋田	ビヤク (O: びやくね、ad,ae,ai,ak: ビヤグ)	ビヤク	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	ビヤク：地崩れ地、豪雨で崖が崩れた地など。西側の古い自然堤防が抉られており、その地形を指すものか
38	鍋田	宝蔵檀	ホウゾウダン	aa,ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	壇：近世墓地。黒井堰跡有
39	鍋田	宝蔵田	ホウゾウデン	am	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
40	鍋田	坊田	ホウテン (am: ホウダ)	aa,ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	ホウ: 傾斜地。崩壊の崩
41	鍋田	クグ田	クグダ	aa,am	供具田(クグタ)。神仏に供える米をとる田
42	鍋田	千屋敷 (干屋敷)	センヤシ (am: ホヤシ)	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	三條院の西。※千とも干とも判断がつかない
43	鍋田	前小屋	マゴヤ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	大符神社有。集落。コヤ(江戸時代の開拓地名)
44	鍋田	前田	マダ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	坊田の西
45	鍋田	水上	ミスガミ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の北。水路分岐地点。墓地有。「庵寺アリ、武女ト云フニアリキ、…」(鍋田郷土史)
46	鍋田	味之助檀	ミノサダン	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	東屋敷の北西。墓地有。檀は近世墓地。人名
47	鍋田	屋敷前	ヤシマエ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	東屋敷の南
48	鍋田	屋敷合	ヤシアイ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	東屋敷・西屋敷の間の地
49	鍋田	屋妻 (aa: 屋つま)	ヤスマ (ノヤマ?)	O,ab,ad,ae,ai,ak,am	ヤカ だと砂礫堆積地
50	鍋田	屋島	ヤジマ	aa	
51	鍋田	のきつま	ノキツマ	O	
52	鍋田	柳田	ヤキダ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の南。柳の葉に似た形状の土地
53	鍋田	吉田	ヨシダ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	高梨村境。集落
54	鍋田	早稲田	ワセダ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	狭い埋没谷川につくられた田
55	鍋田	大野原	オノハラ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	大野原1: 荒神堂の西。自然堤防。大野原2: 吉野川右岸
56	鍋田	小田 (O: こ田)	コタ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak	タ: 泥地、湿地
57	鍋田	とうこ田	トウコダ	O	
58	鍋田	白干 (O: 白ふうし)	シラホシ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak	白干1は堂ノ前の南。白干2は盲作の北西とかなり離れている。白: 洪水の土砂で埋まった地か
59	鍋田	野在家	ノイ	aa,ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	吉野川右岸、自然堤防。野在家があったか
60	鍋田	野下	ノシタ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	水上の西
61	鍋田	平田	ヘイダ	aa,ab,ad,ae,ai,ak	平: 谷の中の平らな所
62	鍋田	棒橋	ボウシ	aa,ab,ad,ae,ai,ak	屋妻の西。橋に由来か
63	鍋田	松ノ木 (O: 松木、ab: 松之木)	マツキ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川右岸、自然堤防
64	鍋田	盲作 (O: 育作)	メクラヅク	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak	野下の北西
65	鍋田	六屋敷	ロクヤシ	O,aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	東屋敷の北。墓地有
66	鍋田	稲場 (O: いなば)	イナバ	O,aa,ab,ad,ae,ai,am	西屋敷の西
67	鍋田	野添 (O: 野孫)	ノエ	O,aa,ab	上之野の西。墓地有
68	鍋田	野きわ	ノキワ	O	野際
69	鍋田	あふ田	アブタ	O	虻田
70	鍋田	まつり田	マツリダ	O	
71	鍋田	畑中	ハタナカ	O	
72	鍋田	とふ六神	トウロクジン	O	道六神。道祖神か
73	鍋田	こんばハ	コンバハ	O	
74	鍋田	長松作	チョウサカツク	O	人名
75	鍋田	くいゆたか	クイユタカ	O	
76	鍋田	くちでん	クチデン	O	
77	鍋田	野中田	ノナカダ	O	
78	鍋田	野中	ノナカ	O	
79	鍋田	く手もへ	クテモヘ	O	
80	鍋田	くりけ	クリケ	O	厨家か。郡衙の出先機関である院(三條院)の厨の可能性も
81	鍋田	屋敷神	ウヤシガミ	O	
82	鍋田	たて廻り	タテマワリ	O	館廻り
83	鍋田	くたつま	クダツマ	O	
84	鍋田	野まい	ノマイ	O	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
85	鍋田	たんうら	タンウラ	0	壇裏
86	鍋田	つづ田	ツヅタ	0	
87	鍋田	野菜	ノエイ	0	
88	鍋田	だんの浦	ダンノウラ	0	壇の裏
89	鍋田	ふうでん	フウデン	0	
90	鍋田	まないのまい	マイノマイ	0	真名井ノ前か。赤湯の組柳に関連する地名か
91	鍋田	まないじょう	マイジヨウ	0	真名井城、或は真内城？字内城の由来か
92	鍋田	新八田	シンハチダ	0	人名か
93	鍋田	ふり田	フリタ	0	振田
94	鍋田	ふる田	フルタ	0	古田
95	鍋田	川原田	カワラダ	0	
96	鍋田	手不ふし	テフフシ	0	
97	鍋田	でりくひ	デリクヒ	0	
98	鍋田	かぞてん	カゾテン	0	
99	鍋田	なし屋敷	ナシヤシ	0	
100	鍋田	栄田	サカイダ	0	
101	鍋田	長畑	ナガハタ	0	
102	鍋田	長田	ナガタ	0	
103	鍋田	小野	オノ	0	
104	鍋田	なミ柳	ナミヤナギ	0	
105	鍋田	こんまい	コンマイ	0	
106	鍋田	からす作	カラスヅク	0	
107	鍋田	沖田境	オキタカイ	0	
108	鍋田	中ノ目境	ナカノメカイ	0	
109	鍋田	入生面	イユウメン	0	井料免：用水管理用の共同水田、免田
110	鍋田	大あし	オオアシ	0	
111	鍋田	太田	オオタ	0	
112	元鍋田①	内城 (O: うち城)	ウチジヨウ (am: ナイジヨウ)	O,aa,ab,ad,ag,ai,ak,am	内城館。ナイジヨウ、ウチノ等とも読める
113	元鍋田①	鶉ノ木 (aa,ak: 鶉ノ木)	ウジ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	ウジ：内柵や内城にならないか。鶉ノ木館跡。周辺には卯ノ木、内城の小字がある
114	元鍋田①	川前	カマエ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川左岸。飛牛壇の西
115	元鍋田①	熊之前 (aa: 熊の前)	クマノエ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	組柳の熊野神社前。みょう (享保の絵図)。組柳 No24 参照
116	元鍋田①	十二ノ木	ジユウニキ	aa,ab,ad,ae,ag,ai,ak,am	紀州熊野の12社を祀った地か
117	元鍋田①	大道 (aa,ad,ae,ai,ak,am: 大道端)	ダイドウ (ハタ)	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川右岸。墓地有
118	元鍋田①	中之坪	ナカノツボ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	中央が窪む地形。条里地名
119	元鍋田①	宿之浦 (aa: 宿ノ浦)	ヤドノウラ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	的場2の北。浦は裏か
120	元鍋田①	貞松作 (O: てい松作)	テイマツヅク	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	人名
121	元鍋田①	ていまつ在け	テイマツヅク	C	貞松在家
122	元鍋田①	飛牛檀	ヒギウタン	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	吉野川左岸。熊野十二所権現の第十一段「飛行夜叉」の名残か (市史上巻) 組柳 No42 関係
123	元鍋田①	ビヅ首	ビヅケ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	ビヅ：地崩れ
124	元鍋田①	的場	マハ	aa,ab,am	的場2。吉野川右岸 (飛牛檀の川向い)。武芸の練習場
125	元鍋田①	原	ハラ	aa,ab,ad,ae,ai,ak,am	十二ノ木の西～北東
126	元鍋田①	前田	マエダ	aa,ab,ad,am	前田2：熊之前の南 前田3：鶉ノ木の東
127	鍋田	豊田	トヨダ	am	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
128	鍋田	開	ヒキ	am	
129	鍋田	松田	マツダ	am	
130	鍋田	千刈田	センガリダ	am	
131	鍋田	鉄道東	テツトウヒガシ	am	
132	鍋田	南屋敷	ミナヤシキ	am	
133	鍋田	南経塚	ミナキヨヅカ	am	経塚があったか
134	鍋田	大野	オノ	am	
135	鍋田	(田中在家)	タナカノイ	D	田中在家

1. 沖郷 (18) その他の地名等

NO	地区名	地名	読み	出典	備考
1	高梨	伊豫	イヨ	沖郷村史 P39	現在の墓地は、高福寺の境内にあつまりたれども、昔は伊豫、土佐、将監、大角の四つに分かる
2	高梨	土佐	トサ	沖郷村史 P39	
3	高梨	土佐壇	トサダン	沖郷村史 P39	土佐壇に大乗妙典と刻した石塔あり
4	—	高松川	タカマツガリ	沖郷村史 P50	上無川(昔の高松川)
5	関根他	高松郷	タカマツゴウ	沖郷村史 P51	関根は昔は高松郷の一つにして、坂井、法師柳と同郷なり
6	—	沖中	オキナカ	沖郷村史 P186	「沖郷村の殆どは平野で通称沖中(オキナカ)と称し、金山、漆山方面は山手(ヤマテ)と唱え特に本村を含む本郡の北部は旧藩時代より北條郷と云う沖中の里から沖郷も出たものである」
				「山形県の地名」(昭和53年11月2日 安彦好重 高陽堂書店発行)	沖:沖積地で広い所が多い。川が洪水で土砂を運び沖積させることを土砂をオクということから、オキという語が起こった
7	—	ほその目	ホソメ	D (市史上巻 P721)	ほその目 太子堂在家
8	法師柳	ガランド	ガランド	宮内熊野大社史 P24	伽藍堂の転化か。字「大上」地内の地名という
9	法師柳 (漆山)	ツボカイ	ツボカイ	宮内熊野大社史 P24	壺戒か。ツボカイ清水。字「大上」の南端(漆山境)
10	若狭郷屋	笹淵	ササブチ	沖郷村史 P21	川跡。最も深く、ここまで鮭が遡上したという
11	郡山	桜壇	サクラダン	沖郷村史 P19	字長表の桜壇。青木玄仙の塔が立つという
12	法師柳	境川	サカイガリ	市史中巻 P311	織機川の別名。織機川は、「大里端川」(郡衙のある里の境、条里水田の端)の可能性はないか
13	法師柳	沢入川	サワイガリ	市史中巻 P311	織機川の別名

引用・参考文献

1. 安齋徹・西村眞次 1938『東置賜郡史』財団法人東置賜郡教育會
2. 山形県 1938『山形県地名録』
3. 山形県 1965『山形県史資料編九』山形県
4. 長井政太郎 1968『赤湯町史』赤湯町史編さん委員会発行
5. 沖郷村 1973『沖郷村史』沖郷村史編纂委員会
6. 黒江太郎 1976『宮内熊野大社史』熊野文化研究所発行
7. 山形県 1977『山形県史資料篇十五 上古代中世史料1』山形県
8. 小関清 1979『梨郷村史』梨郷村史編纂会
9. 「角川日本地名大辞典」編纂委員会 1981『角川日本地名大辞典』(株)角川書店
10. 吉野一郎 1984『郡山 矢ノ目館跡遺跡』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第 1 集) 南陽市教育委員会
11. 南陽市史編さん委員会 1990『南陽市史上巻』南陽市発行
12. 南陽市史編さん委員会 1991『南陽市史中巻』南陽市発行
13. 南陽市史編さん委員会 1992『南陽市史下巻』南陽市発行
14. 郷土史編纂委員会 1986『鍋田郷土史』南陽市鍋田部落会
15. 南陽市史編さん委員会 1988『南陽市史民俗編』南陽市発行
16. 米沢市史編さん委員会 1985『米沢市史資料篇 1』
伊達家関係資料「北条段銭帳」「晴宗公采地下賜録」外『米沢市史資料篇 1』
17. 布施明子ほか 1989『柳沢条里遺跡第 1 次調査報告書』(山形県埋蔵文化財調査報告書第 144 号)
山形県教育委員会
18. 吉田洋一ほか 1990『柳沢条里遺跡第 2 次調査報告書』(山形県埋蔵文化財調査報告書第 152 号)
山形県教育委員会
19. 南陽市史編さん委員会 1990『南陽市史編集資料 第 20 号』南陽市発行
20. 滝沢由美子 1995「地籍図による地域環境と景観の復元」『歴史地理学 172』歴史地理学会
21. 南陽市教育委員会 1996『市史編集資料第 26 号』南陽市教育委員会
22. 河西克造ほか 2000『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 10 川田条里遺跡』(長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 47) 長野県埋蔵文化財センター
23. 大谷弘幸 2005「市原条里に関する基礎的研究」『千葉県教育振興財団研究紀要 24』千葉県教育振興財団
24. 押切智紀ほか 2007『庚壇遺跡発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 161 集)
25. 氏家信行ほか 2008『中落合遺跡発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 168 集)
財団法人山形県埋蔵文化財センター
26. 日下和寿ほか 2009『白石条里制跡推定地ほか発掘調査報告書』(白石市文化財調査報告書第 35 集)
白石市教育委員会
27. 須貝龍男 2010『彰往考来—南陽市島貫の歴史』須貝龍男
28. 佐藤鎮雄 2010『平安初頭の南出羽考古学』山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館発行
29. 寺島孝典ほか 2014『生仁遺跡 6・更埴条里水田址油田地点 2』千曲市教育委員会
30. 角田朋行・吉田江美子 2014『南陽市遺跡分布調査報告書 (1)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第 8 集)
南陽市教育委員会
31. 永井智教ほか 2015『川曲地蔵前遺跡 No 3』前橋市教育委員会
32. 角田朋行・吉田江美子 2016『唐越遺跡発掘調査報告書』南陽市埋蔵文化財調査報告書第 12 集
南陽市教育委員会発行
33. 角田朋行 2016『南陽市遺跡分布調査報告書 (3)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第 11 集)
南陽市教育委員会
34. 角田朋行 2016『南陽市遺跡分布調査報告書 (4)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第 13 集)
南陽市教育委員会
35. 角田朋行 2017『南陽市遺跡分布調査報告書 (5)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第 15 集)
南陽市教育委員会
36. 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 2018『奈良文化財研究所紀要 2018』
37. 平林大樹 2018『更埴条里水田址 阿わら地点』千曲市教育委員会

南陽市文化財調査報告書第2集
南陽市字限区調査報告書(2)

— 沖郷 —

2022年3月31日

発行 南陽市教育委員会
〒999-2292 山形県南陽市三間通436番地の1
電話 0238-40-3211(代)

印刷 有限会社文進堂印刷
〒999-2221 山形県南陽市柵塚811-3
電話 0238-43-2116

